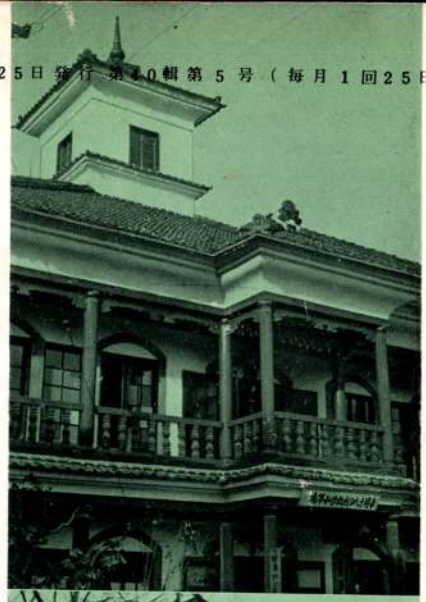
昭和24年4月19日第3種郵便物認可　昭和34年5月20日印刷　昭和34年5月25日発行　第40輯第5号（毎月1回25日発行）









学校建築特集



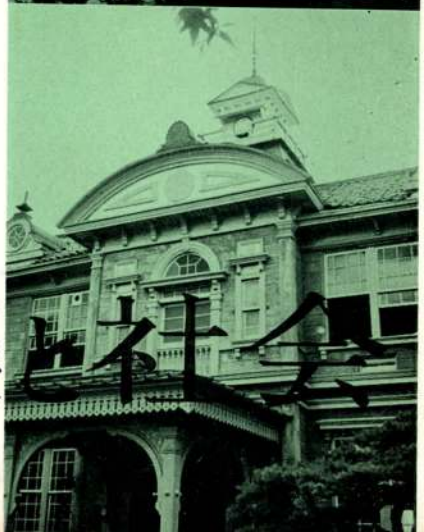








日本建築協会



5　1959

建築雑誌

明るい床材
三星プラスタイル



三星アスファルトタイル
三星Pタイル（2耗厚）
三星マチスタイル

規格　寸法　12"×12"　厚サ　1/8"
又ハ　9"×9"　又ハ3/16"
価格一面坪 2,300円 ～ 4,800円(材工共)

三星の弾性床タイルは何れも製法の専売特許品で、日本の多湿多雨の氣候でも優れた性能をもつ、舶来品の追随を許さない製品です。

●屋外には使用出来ません

●各製品毎のカタログ見本
技術報告書を御請求下さい

◆ 特　徴

施工後故障が少い・工期が早い
価格が手ごろである・手入掃除が簡単
色彩が自由に選択出来る・永持ちする

三星ルーフイングの

田島応用化工株式会社

東京・東京都足立区小台町633　TEL 王子(91)代表1181
大阪・大阪市西区京町堀上通1～14　TEL 土佐堀(44)代表0810

軽い
燃えない
腐らない

フェザーグラス

極細硝子繊維 3ミクロン

大手町ビル
新朝日ビル
丸の内東宝劇場
第二大手町ビル
千代田ビル

に使用された

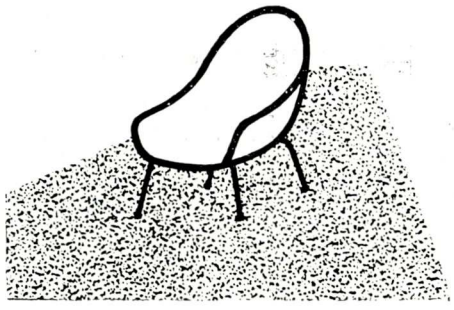
効果的な断熱・吸音材

PARA MOUNT GLASS MFG.

パラマウント硝子工業株式会社

本社・工場　福島県郡山市長者町225　電話(郡山)3451～4
東京出張所　東京都中央区八重洲6－1(日東紡)ビル　電話(東京)(28)7205～6
大阪出張所　大阪市東区北浜2－85北浜清友会館(日東紡績(株)大阪支店内)　電話(大阪)(23)0331～4

皆様の設計と施工に東洋の床材



リノリューム
リノタイル
ビニール系新製品
ビニラートタイル
ビニール製
スポンヂシート

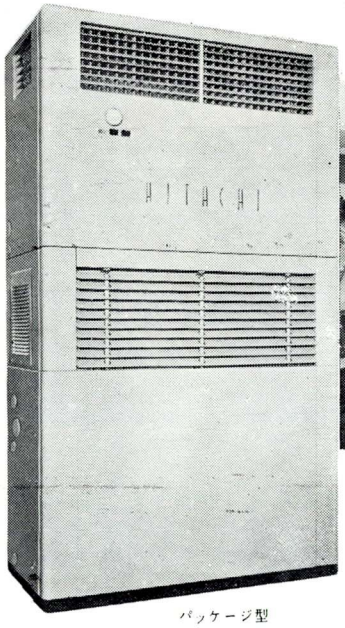
◇ソフトな感触
◇優秀な耐久力
◇美しい色彩

カタログ進呈

東洋リノリューム株式会社

本社工場　兵庫県伊丹市伊丹558
電話伊丹(代)3531・大阪(48)4490
東京支店　東京都中央区銀座4丁目三和ビル
電話京橋 (56) 1701・2564
大阪事務所　大阪市東区瓦町2丁目三和ビル
電話北浜 (23) 0375～0379

暮しに新鮮な空気を！



パッケージ型
エアーコンディショナー



日立エアーコンディショナー

特長

- すぐれた冷房効果
- すみずみまで行きわたる冷風
- 静かな運転
- 誰でも運転できる操作盤
- 運転状態がわかる表示灯
- 小型軽量で斬新なデザイン
- 冬は暖房に使える
- 全国に完備したサービス網

日立製作所

特許

平川-MPボイラ

煙管式ボイラの「革命兒」現る！

経費節減527万円の利益を生む

☆高性能・輻射型
☆石炭・オイル・ガス焚
☆1年間(7200時間)の燃料節約額

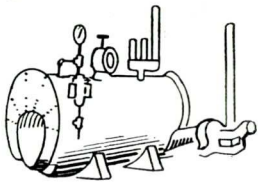
7′×30′ランカシヤボイラと比較して

527万円益

(但し E.E.2000kg/hr.
6000カロリー石炭6000円/屯
1日24時間1月25日として)

大阪府立工業奨励館
公式試験成績

汽缶効率 81.2%
石炭焚にて
排ガス温度 197℃



◁営業科目▷ 平川～水管ボイラ、平川～機関車型ボイラ
平川～竪型ボイラ、外ボイラ全般・輸送機械

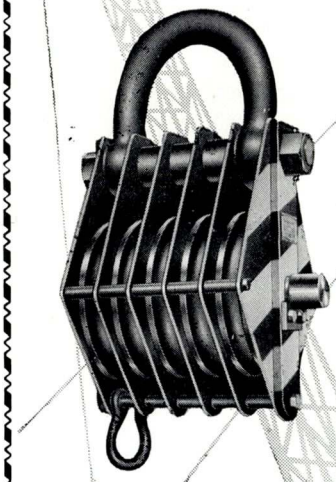
株式會社 平川鉄工所

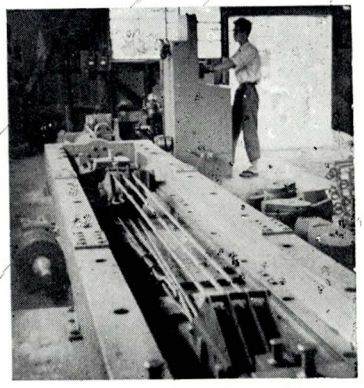
本社・工場 大阪市大淀区大仁西2の1 電話福島㊸1975－8
東京営業所 東京都中央区八重州6の7 電話㉘5883・7787－8
九州出張所 福岡県小倉市富野545 電話 小倉⑤1362

強力型 重荷用 鉄ブロック スナッチ

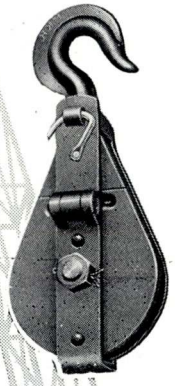
MKK

技術・性能・信用を誇る
安全度の高い





アムスラー油圧式横型引張試験機
（日本海事協会検定No. 3788）
製品は本機によって試験す



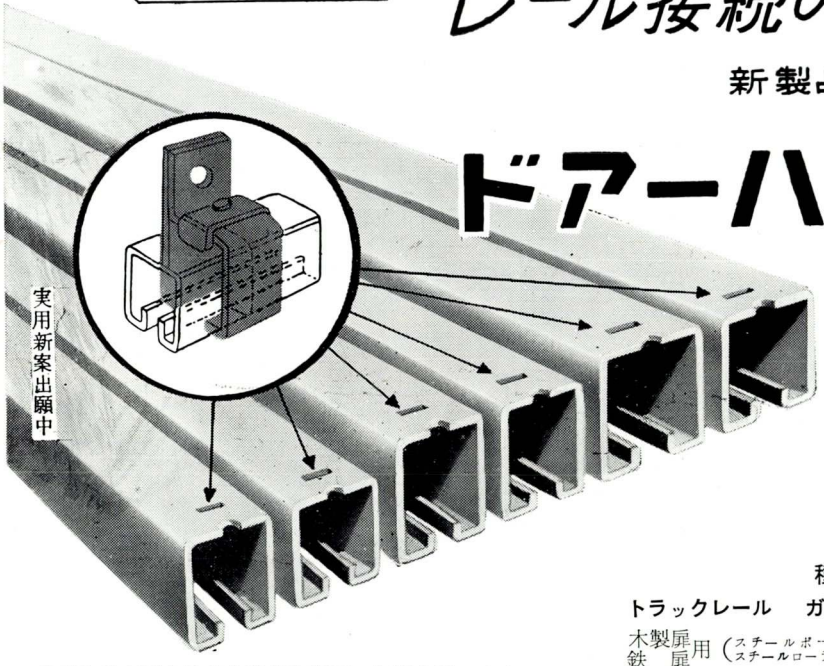
御用命は全国有名土木機械工具
金物店へ御照会願います

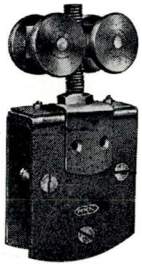
MKK

レール接続の革命！

新製品 完全防錆

ドアーハンガー





御用命は全国各地有名建築金物店へ御照会願います

種　目

トラックレール　ガイドレール　カーブレール

木製扉用（スチールボール スチールローラー入）複車・単車ハンガー
鉄　扉

軽 50㎜，60㎜，70㎜

その他ブラケット附属品一切

株式会社 三谷製作所
東京都足立区高野町二一八番地
TEL　足立(88) 4048・4239

S S S

仕上りの早い
燃えない

石膏ボード
ボード用プラスター（略称 SB）
ラスボード
吸音ボード

混合石膏プラスター
純石膏プラスター
キーンスセメント
各種焼石膏

カタログ贈呈

サンエス石膏株式会社

本社　姫路市神屋町4－77　TEL姫路1220・134
大阪営業所　浪速区北日東町145　TEL㊻6695 ㊺2142
東京営業所　新宿区東大久保1－340　TEL㉟0396
名古屋営業所　名古屋市東区駿河町1－18　TEL⑨4675
福岡営業所　福岡市下名島町29　TEL④8358

工場　姫路市神屋町4－77　電話姫路134・1220
工場　姫路市御国野町国分寺474　電話御着324
工場　姫路市四郷町見野
工場　瀬戸市苗場町113

驚異的近代感覚の吸音壁貼材料

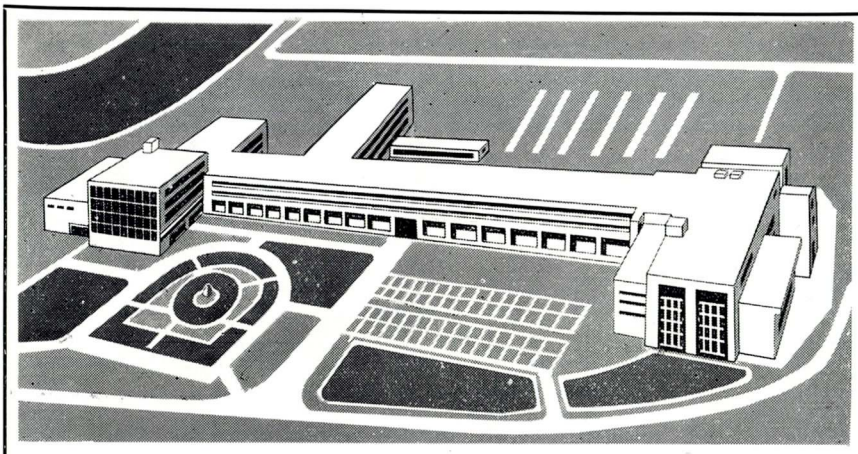
新製品
カラドクロース
原紙に着色せる優秀製品

ニッポンクロース
壁

オリエンタルクロース
壁

製造発売元
河津装飾株式会社
本社　大阪市北区堂島上ノ二四　TEL大阪㉞1351－3

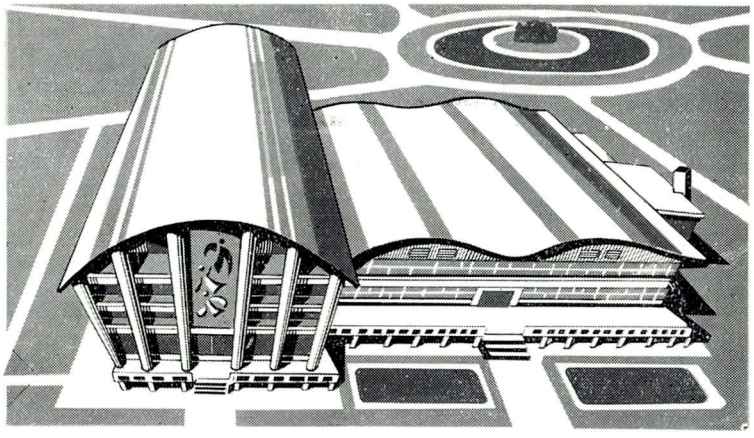
東京営業所
東京都千代田区神田猿楽町2の7
TEL㉙9375
出張所　名古屋・広島・福岡



軽量、緩勾配屋根に
軽快な近代建築材

日泝スーパーアルソイド
日泝ゴールデンルーフイング

伸縮目地材　エキスパンタイト
　　セロタイト
コーギング材　シールセメント



日泝化学工業株式会社

本　　社　東京都中央区八重洲1—3
　　TEL（27）7000・5463～5
営業所及東京工場　東京都荒川区尾久町6—101
　　TEL（807）代表016 1～5

大阪営業所及大阪工場
大阪市東淀川区堀上通り3—39
TEL(39)0924～5・2045・2079

最も進歩した建築には最も進歩した床材

ビニアスタイル（2粍厚）

新製品



K－タイル（1.5粍厚）

アスタイル

藤森建材株式会社

本　　社　東京都中央区日本橋通1ノ2（大倉ビル）
電　　話　東京　㉗　6　4　3　2　～　5
大阪出張所　大阪市西区土佐堀通1－1（大同生命ビル内）
電　　話　大阪　㊹　1623・3798・8461～4
九州出張所　福岡市薬院大通2－73　電話福岡④1945

権威者もびつくりした

ダイケン・吸音板

DAIKEN BOARD

☆　高音は勿論，低音もよく吸収
☆　正確なカット
☆　軽くて丈夫
☆　施工が簡単
☆　値段が安い

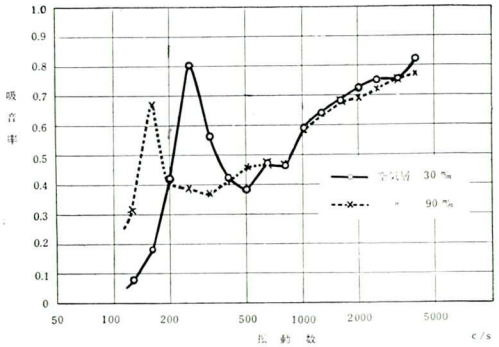
最高級と折紙付

9㍉, 12㍉	30.3cm角　面取り
12㍉	30.3cm角　さねはぎ付

残響室法吸音率

No. 590064

ダイケン吸音板　昭和34年2月11日測定



昭和34年2月20日　財団法人小林理学研究所

大建ウォールボード工業株式会社

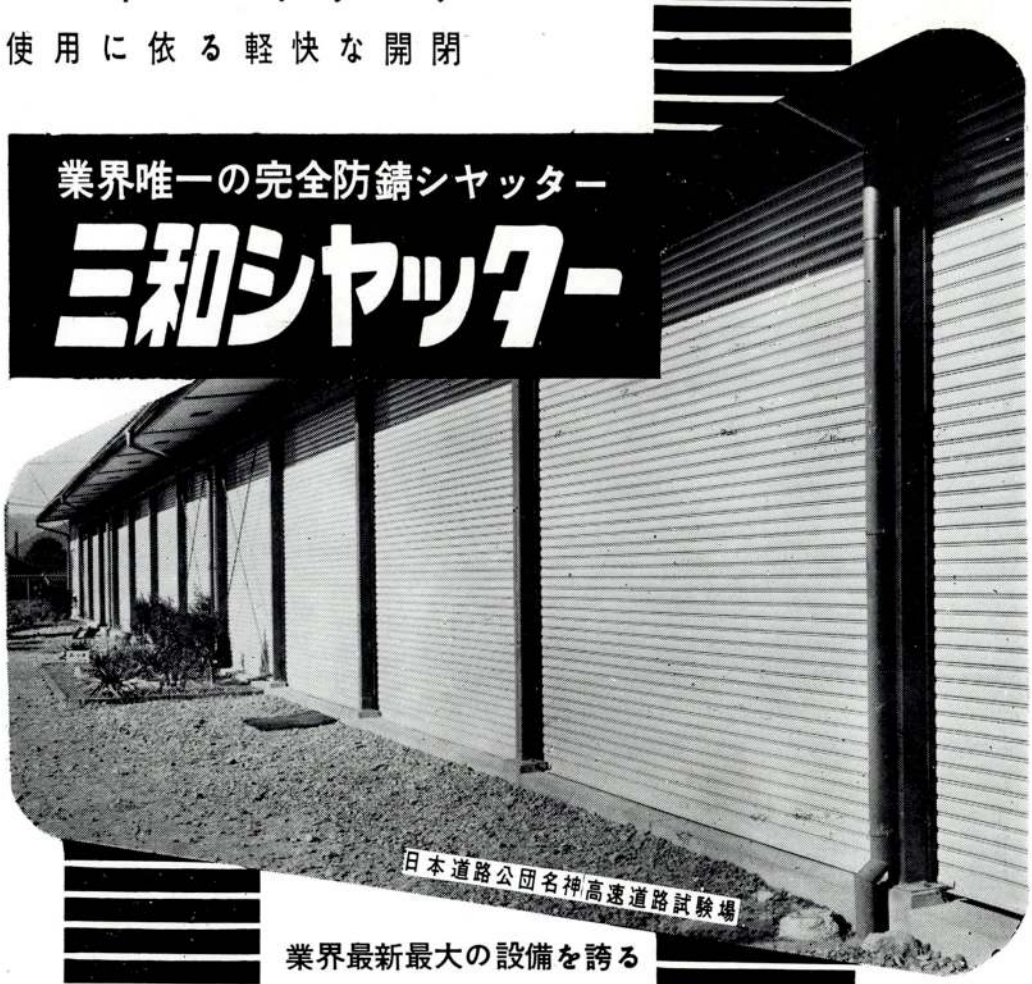
本　　社　大阪市北区中之島2ノ22（新朝日ビル9階）
電　話　大阪（26）代表5102
東京支社　東京都中央区日本橋小舟町2ノ1（小倉ビル）
電　話　東京（66）9000・7000

パーカライジング
下地に赤外線焼付加工

ニードルベアリング
使用に依る軽快な開閉

業界唯一の完全防錆シヤッター

三和シヤッター



業界最新最大の設備を誇る

株式会社 三和シヤッター製作所

本社	尼崎市久々知字コエ二三 電話大阪㊽2959・9748
東京	東京都新宿区西大久保一丁目三七〇 電話東京㉞2478・9678
札幌	札幌市南九条西六丁目 電話札幌③1368④4878
仙台	仙台市土樋一一二 電話 仙台 ③ 3296
名古屋	名古屋市中村区広井町二丁目四五 電話 名古屋 54 2846
代行店	稚内．網走．留朋．名寄．帯広．士別．北見．釧路．旭川．函館．室蘭．弘前．秋田．盛岡．山形．福島．宇都宮．長岡．松本．甲府 千葉．横浜．焼津．富山．金沢．舞鶴．岐阜．四日市．京都．岡山 高松．広島．米子．小倉．福岡．別府．佐世保．長崎．伊万里．熊本

（カタログ進呈）

東陶の衛生陶器と付属金具

L-92 に代る

L-220

オパール



ビル・アパートはもとより一般住宅

にも御採用頂けるよう寸法や価格の点では従来最もよく

Toyotoki 御愛用頂いていた製品L－92を基準として考慮いたしました。

定　価

陶　器(1級)L 220 ¥ 2,750

金　具（Toyotoki印）

立水栓 T205Y
@¥ 600 (2個) ¥ 1,200

止水栓 T4AY
@¥ 670 (2個) ¥ 1,340

排水金具 T6P ¥ 1,210

バックハンガ
取付木ネジTL220D ¥ 200

計 ¥ 6,700

参考定価

陶　器(並級)L 220 ¥ 2,200

金　具（TTK印）

立水栓 K205Y
@¥ 510 (2個) ¥ 1,020

止水栓 K4AY
@¥ 570 (2個) ¥ 1,140

排水金具 K6PC ¥ 1,030

東洋陶器株式会社

本　社
小倉市篠崎町458
TEL ⑤2481～5

大阪営業所　大阪市東区伏見町5の3　TEL ㉓4518～9
各地営業所　東京・名古屋・小倉・広島・高松・札幌

茅ケ崎工場
神奈川県茅ケ崎市
TEL 2105～8

いつも新しい感覚で清潔感のある

川口ゴムのビニール建材

硬質塩化ビニールの波板・平板

ロンプレート

丈夫で美しい壁・襖貼材料

ロンフイックス

採光屋根・間仕切・壁体・天井・装飾用等に好適な近代建材です。
明るく美しい，軽くて強い，燃えない，安い

透明・不透明・艶消し・畳り
型押・網入・模様板各種

厚さ：1，1.5，2，3，4，5mm
平板：巾91cm（3尺）×長182cm（6尺）
波板：巾72cm（2.4尺）×長182cm（6尺）
エンドレス：巾121cm（4尺）
（長尺波板） 140cm（4.6尺）×長10m（33尺）

「ビニールが簡単に貼れたら」……
これを解決したのがロンフイックスです。
どんな糊でも誰にでも容易に貼れ（特殊加工）、どんな汚れも石鹸水か、揮発油できれいにとれて変質せず半永久的に新鮮で、優雅な新製品です。（実用新案登録第469550号）
単色・二色・フラノ：巾96cm（3.17尺）×18m（5坪巻）

床材料の決定版！

ロンリウム ←ロンタイル

6尺巾長尺の床材
標準寸法　厚さ2.5mm×巾183cm（6尺）×長27.45m（15坪巻）

踏心地がよく疲れない、耐磨耗性は極めて優秀、色彩優美、手入れは水拭きでよく清潔・経済的、暑気・寒気・薬品・油脂等に変質しない。

最高級ビニールタイル
（尺角）30.3cm×30.3cm×2mm
ジヤスペ12色

川口ゴム工業株式会社

東京都葛飾区木田四ッ木町54　電話葛飾（69）1946～9

全国有名内装工事店に御照会下さい。

カタログ進呈

日本建築協会細則一部変更の件

去る3月24日開会の定時評議員会におきまして下記の通り細則一部変更を4月1日より実施のことに承認可決されましたので，ここに会告致します。

記

第　10　条　　1口の会費は次の通りとし，これを年3回以内に分納することができる。

1．　正会員　定款第9条第1号による者（個人会員）
　　年額金　　1,200円
　　但し遠隔の地で且つ支部のない地方の正会員は前記の10分の8とする。
　　定款第9条第2号による者（団体会員）
　　年額金　　3,000円

以下省略

参考

旧　　定款第9条第2号によるもの（団体会員）年額金 2,000円

昭和34年度　理事会務分掌

昭和34年4月8日の第1回理事会に於て下記の通り理事の会務分掌を決定致しましたので会告致します。

記

	主　記	主　計	編　集
技術部門	伊東　五郎君	岩崎甚太郎君	塚本　猛次君
	河東　義方君		深尾　実郎君
	越田　正勝君		奥島　正一君
	小林　清周君		諫早　信夫君
	田中良太郎君		
綜合部門	浅沼猪之吉君	大林　芳郎君	銭高　輝之君
	松村　雄吉君		竹中　錬一君
	小栗　賛吾君		
	藤木　正一君		
電気部門	栗原　信虎君	山本竜太郎君	佐藤　　太君
管工部門	菅谷　三郎君	菅野　　栄君	知見　義夫君
建材部門	金光　五郎君	向井　保晴君	青木　友一君
支　部	設楽　貞三君		佐々木米太郎君
	13名	5名	10名

昭和34年度収支予算

社団法人　日本建築協会

去る3月24日開会の定時評議員会におきまして下記の通り昭和34年度収支予算が承認されましたので，ここに会告致します。

一般勘定

収入ノ部

科目	金額	費目	金額
会費収入	7,799,000	正会員	3,240,000
		団体会員	4,230,000
		地方会員	144,000
		准会員	185,000
事業収入	12,710,000	雑誌収入	8,630,000
		講演講習会収入	590,000
		集会収入	400,000
		建材審査料	100,000
		約款売上収入	240,000
		出版収入	2,700,000
		雑	50,000
雑収入	371,000	雑収入	371,000
合計	20,880,000		

支出ノ部

科目	金額	費目	金額
事業費	13,330,000	会議費	100,000
		部会費	50,000
		委員会費	120,000
		雑誌費	8,880,000
		講演講習会費	630,000
		集会費	500,000
		出版費	2,400,000
		調査費	200,000
		雑	450,000
支部費	410,000	支部交付金	260,000
		支部補助金	150,000
事務費	1,202,400	電話料	180,000
		通信費	26,400
		旅費交通費	144,000
		集金費	600,000
		印刷物費	90,000
		文房具費	42,000
		雑費	120,000
給与	3,892,000	給料	3,097,000
		超勤手当	150,000
		賞与	645,000
厚生費	245,000	健康保険料	142,000
		厚生年金保険料	45,000
		失業保険料	32,000
		労災保険料	6,000
		職員福利費	20,000
賦課金	30,000	賦課金	30,000
会館勘定繰入金	960,000	会館勘定繰入金	960,000
退職手当積立金	250,000	退職手当積立金	250,000
予備費	560,600	予備費	560,600
合計	20,880,000		

会館特別勘定

科目	費目	金額
収入ノ部		
貸室料	貸室料	1,020,000
繰入金	第二一般会計繰入金	960,000
雑収入	雑収入	100,000
	計	2,080,000
支出ノ部		
支払利息	借入金利子	817,750
経費	電気料	102,000
	瓦斯代	171,000
	水道料	8,400
	借地料	97,700
	火災保険料	21,000
	公課	134,400
	修理費	50,000
	人件費	128,500
	雑費	96,000
	計	1,626,750
差引剰余金		453,250

5月 会と催

花屋敷ゴルフクラブ見学会

花屋敷ゴルフクラブハウス見学会

1. と　き　5月20日（水）午後2時（集合）—4時（解散）
1. 集合所　阪急電車宝塚線花屋敷駅出口附近
1. 申　込　電話で15日までにお申込み下さい。
1. 集合所よりクラブハウスまでは徒歩で約25分です。
1. 建物概要

設　計	株式会社大阪建築事務所
施　工	株式会社戸田組大阪支店
位　置	宝塚市切畑字長尾山1—16
工　期	昭和33年6月～34年4月
規　模	地階　56.37坪　1階　274.31坪 2階　236.37坪　ピロテイ部分　48.17坪 計　615.22坪
構　造	鉄筋コンクリート造　1部地階　地上2階
高　さ	軒高　GL から 8m

松下電工KK工場見学会

第9回工場見学会（パネライトその他を見る会）

松下電工株式会社工場見学会

1. と　き　5月23日（土）午後1時（集合）—5時（解散）
1. 集合所　本会前
1. 申　込　往復ハガキで15日までにお申込み下さい，抽せんにより参加者（60名）を決定お知らせします。
1. 行　程　本会前（13時）発—（松下電工KKご提供の貸切バスを利用）→松下電工門真工場—（工場見学・懇談）→（貸切バス）→大阪駅西口（17時）解散予定。

松下電工KK……松下電器製作所（昭和10年）の配線器具，合成樹脂製品および電線管の製造販売部門を分離独立した。昭和20年に現在の社名に改称した。。昭和32年で資本金16億円である。事業内容は配線器具，螢光灯器具，電気器具，電線管および附属品，合成樹脂・成型品およびそれに附帯する事業等多方面にわたる生産を行っている。

建築材料としては次の製品がある。

ナショナルパネライト……米国セントレギス社との技術提携により生産された最高品質を誇る熱硬化性高圧積層メラミンプラスチック化粧板である。耐薬品性，耐熱性，耐水性に優れた特性を持ち，家具・調理台・壁面・カウンターおよび車輌・船舶の内張りなどには理想的な表面構造材料であります。

その他の製品としては……ナショナルプラスチック雨とい，ナショナルポリエステル板，ナショナルビニールパイプ，ナショナルライト，ナショナルポリエチパイプ……などがある。

近刊予告の図書

「鉄骨構造計算と実例」について

先月号で近刊予告いたしました標記図書は，予定よりも内容が増えて印刷にも日数が要することになり，現在印刷中であります。6月中には出版の目途に進捗を図っておりますからご期待下さい。



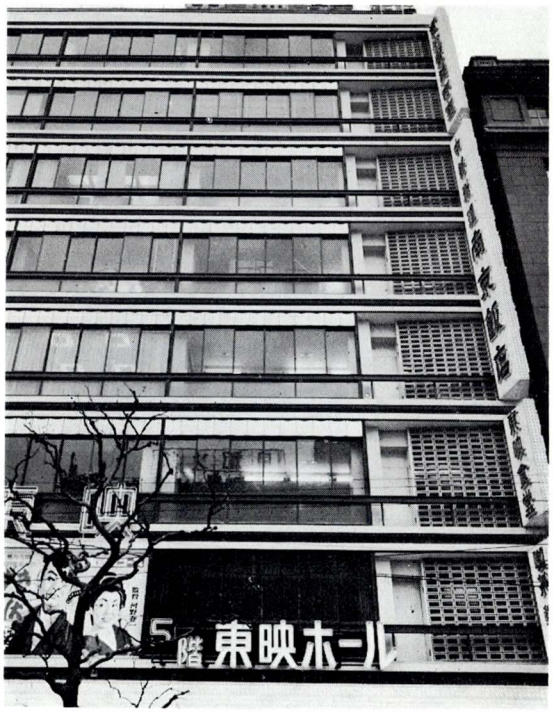
大　阪　東　映　会　館

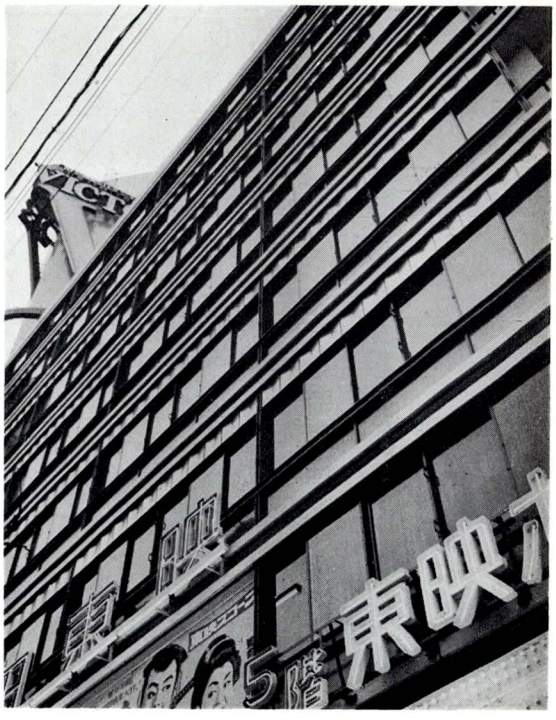
設　計　施　工

清　水　建　設　株　式　会　社

大　阪　東　映　会　館

鋼製建具　　大　阪　建　材　工　業　株　式　会　社





アサノセメント　　日　本　セ　メ　ン　ト　株　式　会　社

生コンクリート　　大　阪　ア　サ　ノ　コ　ン　ク　リ　ー　ト　株　式　会　社

大　阪　東　映　会　館



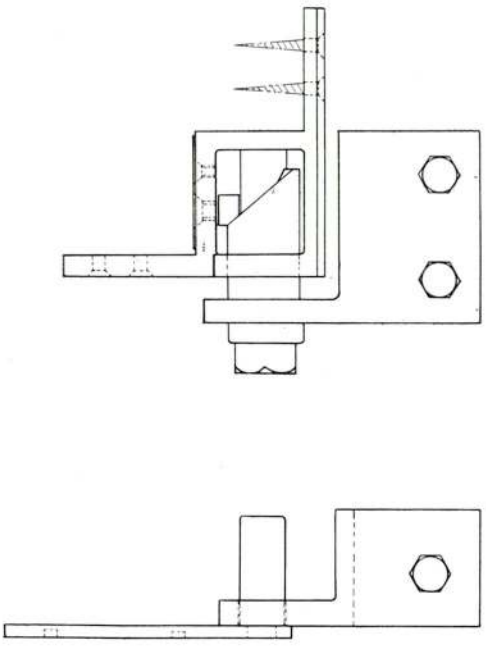
東　映　ホ　ー　ル・空　気　吹　出　口

高　砂　熱　学　工　業　株　式　会　社

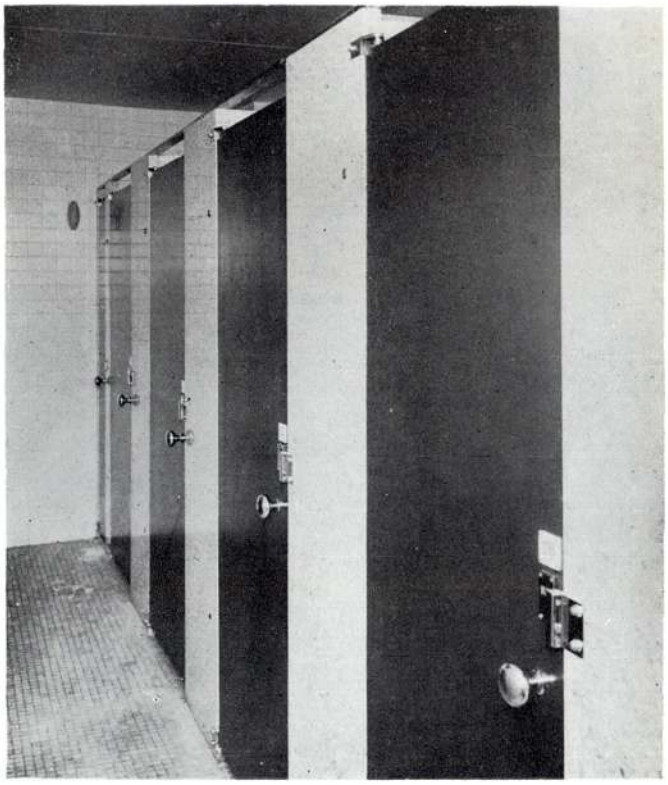
衛　生　設　備　工　事

西　原　衛　生　工　業　所　大　阪　店





グレビテイヒンヂ詳細図



建具金物　　鳥居金属興業株式会社現場部



大阪府警察本部庁舎

設計　大阪府建築部営繕課

施工　株式会社　奥村組



6 階 会 議 室　　床：プラスタイル〝P〟色番号P－1

田　島　応　用　化　工　株　式　会　社

2 階 事 務 室　　床：プラスタイル〝P〟色番号P－8



大阪府警察本部庁舎



暖房・衛生・給排水設備工事

株式会社　栄　興　商　会

アスファルト防水工事
アスファルト舗装工事

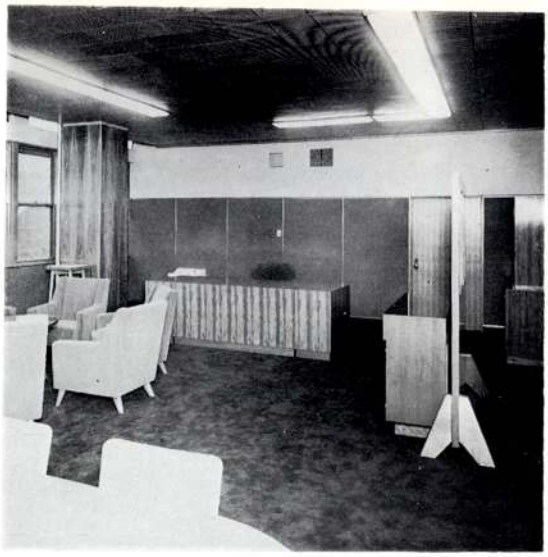
旭化建工業株式会社



電気工事

江東電気株式会社





本部長室

天井：アルミパールタイル
床　：東洋リノタイル

施工　第一建材株式会社



公安委員室

天井：味の素アコーステックス
床　：東洋リノタイル



事務室

天井：アサヒトーン

鋼製建具　大阪建材工業株式会社

大阪府警察本部庁舎





大　阪　交　通　学　園

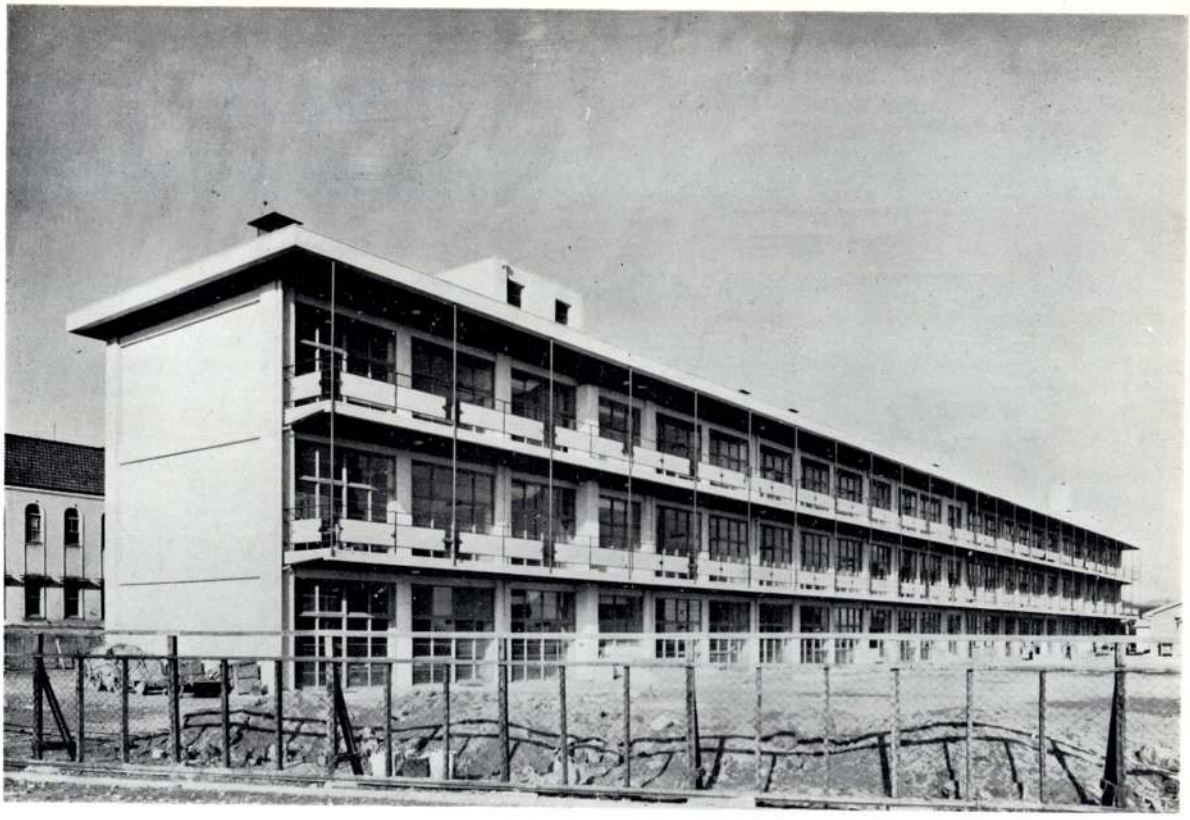
設　計　海　上　静　一　建　築　事　務　所

施　工　株式会社　藤　田　組　大　阪　支　店

シヤッター　K K　共　立　工　業　所

衛生工事　大　和　設　備　工　業　株　式　会　社

電　気　近　畿　電　気　工　事　株式会社大阪支店



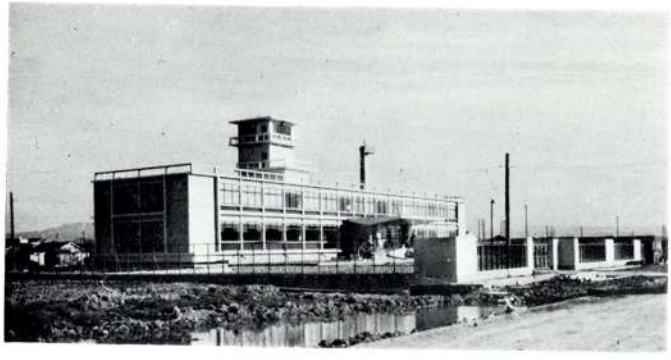
大阪市立すみれ小学校

設　計　大阪市建築局学校建設課
　　久米建築事務所

施　工　株式会社　大末組

松原市庁舎

設　計　建財設計工務株式会社

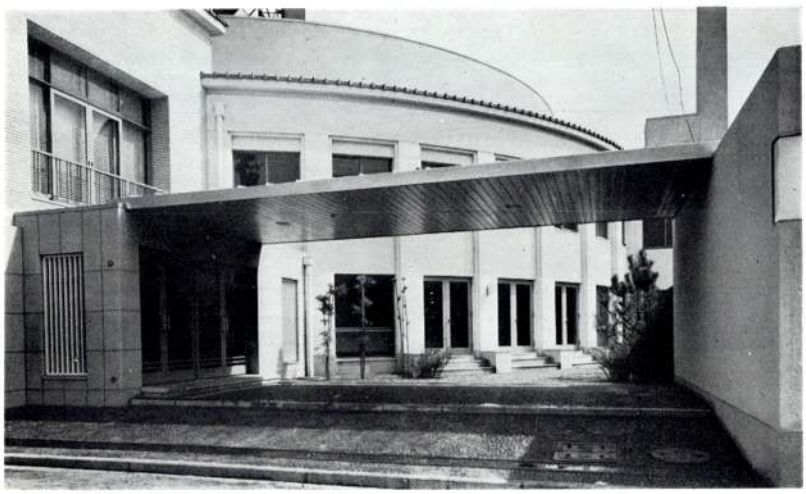




衛生・暖房工事　　日本熱学工業株式会社

大阪能楽会館　　設計：双星社竹腰建築事務所　施工：KK 大林組

鋼製建具　　大阪建材工業株式会社



塗装工事

竹林塗装工業株式会社

誰れもが認めて下さるプラスチック床材料の最高峰

桂のビニールタイル

規格	厚サ	4 ㎜	5 ㎜	6 ㎜
	寸法	303 ㎜角 1尺×1尺	303 ㎜角 1尺×1尺	303 ㎜角 1尺×1尺

特徴
- ○ 曲げても、叩いても破損しない
- ○ 耐薬、耐油、耐燃性
- ○ 耐磨耗性にて優れた耐久力
- ○ 色調優美で程良い弾力性

KATURA VINYL TILE

新床材料販売並施工
桂のビニールタイル
（責任施工）

発売元

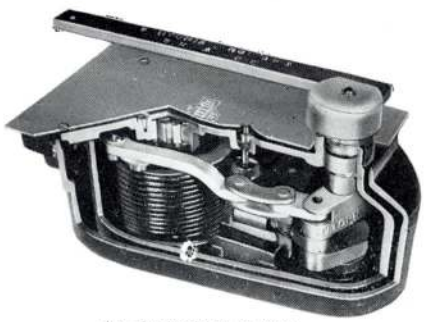
株式会社 桂商会

大阪市大淀区天満橋筋6—12　電話大阪㊱6625番

S.K ユートピア

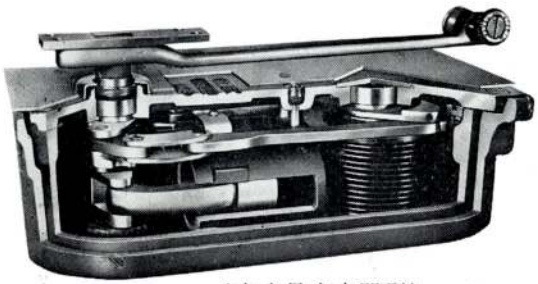
近代人の感覚にマッチする

ユートピア印



（片開持出吊り型）

フロアーヒンヂ　ピボットヒンヂ



（中心吊自由開型）



（ピボット・ヒンヂ持出し吊り型）

（カタログ御入用の節は御申込下さい）

製造元

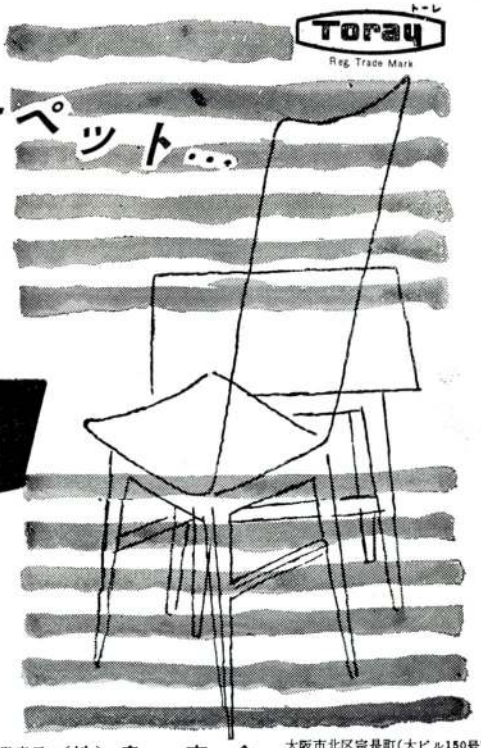
敷島金物株式会社

布施市横沼町1丁目46番地　電話　布施（72）7713・839番
東京都千代田区神田和泉町1ノ11　電話　東京（866）3051～2番

絶讃！ナイロンカーペット…

Toray トーレ
Reg. Trade Mark

東レナイロン絨氈 ・緞通は100%スパンナイロン糸を使用したもので・摩擦に強く
・弾力性に富み・吸塵性が少なく
・虫の害を全く受けません



東レ ナイロン

絨氈・緞通

このほか価格低廉な 100%レーヨンによる
東レカーペットも好評を博しております

東洋レーヨン株式会社

発売元 (株)泉 商 会
大阪市北区宗是町(大ビル150号)
電 (44) 2736～9

耐火・断熱・軽量骨材

新製品 三井パーライト

パーライトは真珠岩を急速に加熱、膨脹せしめたもので主成分は硅酸であり小さな真空状のガラス質の巣の集りで形成されて居ります。
パーライトは非常に軽く耐火的であるのでプラスターに混じ耐火、断熱用壁仕上に又、コンクリートとしては砂の代りに使って断熱、軽量コンクリートとして使用されます。

用途の一例

(1) 軽量コンクリート用細骨材
(2) 左官材料（セメント・プラスター骨材）
(3) 保温断熱材
(4) 油 井 用
(5) 濾 過 助 材



（パーライトを使用した国連ビル）

特 性

軽いセメントモルタルの1/3以下（嵩比重0.04～0.20、砂の重量の1/10～1/20）
耐火性が大である セメントモルタルの4倍の効力がある（熔融温度1000℃以上）
断熱効果が大である セメントモルタルの2倍以上（伝熱係数 λ =0.03～0.05kcal/mh℃）
亀裂予防になる 殆んど亀裂が出ない
遮音吸音効果が大 セメントモルタルの2倍以上
施工が容易である 他の軽量骨材に比し施工が容易である
化学成分 SiO_2=75.5、Al_2O_3=15.3、Fe_2O_3=0.9 CaO=0.12、K_2O=4 Na_2O=3.5
有機不純物揮発分なく、長期保存するも変質しない

パーライトセメントモルタル調合その他・パーライトプラスターの配合説明書贈呈

三井金属鉱業株式会社

本 店	東京都中央区日本橋室町2の1	日本橋 (24) 4101～9・2371～9
大阪支店	大阪市北区中之島3の5	土佐堀 (44) 3731・3751
東京営業所	東京都中央区日本橋室町2の1	日本橋 (24) 4101～9・2371～5
名古屋営業所	名古屋市中村区広小路西通2の26	笹 島 (54) 3171～5
福岡営業所	福岡市天神町3 9	中 局 (4) 9336～9

建築と社会

5

学　校　建　築　特　集

1　9　5　9　年　5　月　号　目　次

表紙　デザイン：村尾　栄
写真は学校建築：右段は明治時代の学校建築（詳細は本文参照）

巻　頭　の　言……学校建築の思い出……河東　義方…20

作　品　作　風

大阪市立すみれ小学校……　設計監理：大阪市建築局学校建設部…21
　久米建築事務所
　施　工：株式会社大末組

名古屋市立金城小学校分校　設計監理：名古屋市建築局技術部…24
　学校建築課
　施　工：小原建設株式会社

浪花学園東校舎……　設　計：株式会社大林組…26
　施　工：同　上

大阪交通学園……　設　計：KK海上静一建築事務所…28
　施　工：株式会社藤田組

東筑高校図書館……　設　計：海野　三蔵・佐藤　四郎…30
　施　工：村上工務店

大阪府警察本部庁舎……　設計監理：大阪府建築部営繕課…32
　施　工：株式会社奥村組

大阪東映会館……　設　計：清水建設株式会社…34
　施　工：同　上

大阪能楽会館……　設　計：双星社竹腰建築事務所…40
　施　工：株式会社大林組

建　築　の　眼……42

本　文

学校建築の流れ……菅野　誠…43
教室の採光・色彩・通風について……渡辺　久雄…47
住宅団地の建築と学校施設について……籔内　幸雄…52
小学校の配置形式とその動向……大阪市大鈴木研究室…57
モスクワのテレビ塔……エヌ・ニキーチン……青柳　司訳…63

会　員　の　声

本誌4月号の座談会「日本の現代建築の形成過程をめぐって」を読んで……青山　正義…64
昭和34年度常設委員会委員氏名……68
会　合（3月分）……66

建　築　と　社　会
第40集・第5号
売　価　1部180円・送料共
昭和34年5月20日印刷
昭和34年5月25日発行
発行所　社団法人　日本建築協会
大阪市東区北浜3丁目37
電話　北浜㉙9648・9649・9640番
振替口座大阪39975番
発行人　神田誠一
編集人　松井昭光
印刷所　株式会社研文社
大阪市北区堂山町66
電話　㉚2091～3番
印刷者　網野栄

学校建築の思い出

河東義方

新緑の5月といえば新入の子供達にとっては，新しい学校に若葉の薫りを吸って将来の夢をほしいままにする最も快い季節である。

昭和10年5月，私は江田島に海軍兵学校の門をくぐって，葉桜となった並木路を奥深く通り抜け，古風な煉瓦造の建物に，兵学校長閣下を訪ねた。私はまだ学校を出て3年目で，流石に堅くなって，「本校の増築工事を担当することになり打合せに参りました」と挨拶すると，6尺豊なO校長閣下は，「まづ現在の学校を知ってもらおう」と，この若輩の私をみずから案内して下さった。そして歩きながらぽつぽつと，設計に対する希望を話されたことを今でも肝銘深く覚えている。

「本校は，この校庭，歴史あるこの建物から受ける生徒達の精神的な面が非常に大切で，これを壊さないように増築計画を立ててもらいたい」と強くやさしくいわれた。なるほど，この緑の若葉に包まれた，英国風の煉瓦造，このすばらしい雰囲気は，若き青年軍人の卵にとっては，将来の海軍大将の夢をつくるに充分なものを持っていると感じた。

ここでは生徒館と称する建物が，軍人精神の道場であり生徒の生活の中心となっていた。いわゆる教室はその廻りに離れていて，それぞれ何々講堂と称し，兵学術とか，普通学科の講義を受けるところであるが，講堂での学習以外は総て自治的に上級生が週番生徒の名を以て，指導に当っていた。校長閣下は私を運動場の一隅にある小高い丘の上に案内した。ここは楠の森で建物は何もない。登ってみるとそこには，大きな円形の大理石が据えられてある。

それには宮城の方角とか各府県の地名と方角が刻まれてあった。生徒は朝晩この丘に登って宮城と故郷に向って礼拝するのだそうである。こんなことからも忠孝の精神教育がなされているのかと感じ入った。校内の北，西の二方は小高い丘になっていて，多くの教官の官舎があって，それぞれ広い部屋を一つは持っていた。日曜日には生徒達は自分の家に帰ったような気持で，担任の教官の家を訪ね，大福餅を腹一ぱいご馳走になってくるのを楽しみとしていた。しかし内助の教官夫人は兵学校に転勤を命ぜられると，相当の覚悟を以てお里からの応援を求めねばならなかったということであるが，この校内で家庭の親しみを味わい郷愁を吹き飛ばす，誠に暖い思いやりもまたここでは教育の一つであった。運動場の南側は江田内湾に面していて，これぞ本職の「面舵とれ」の練習の場所である。校長閣下は一応校内を一巡の後，教育参考館と称する古い建物の中に案内した。そこには薄暗い中に東郷元帥の遺髪とネルソンの毛などが祭られてあった。生徒は自由にここにも出入して先人を偲ぶようにできていた。元の校長室に帰って最後に，閣下は私に設計の関係者を連れて，一週間ばかり生徒と一緒に生活してみてほしいといわれた。突然のことで返事に困り，関係の者とも相談してと，引き下った。その後三人で二日間生徒と起床ラッパに起き，消灯ラッパに寝て生徒の生活振りを見聞した。それによって想像していたことと違ったいろいろな設計上の資料を得ることができた。

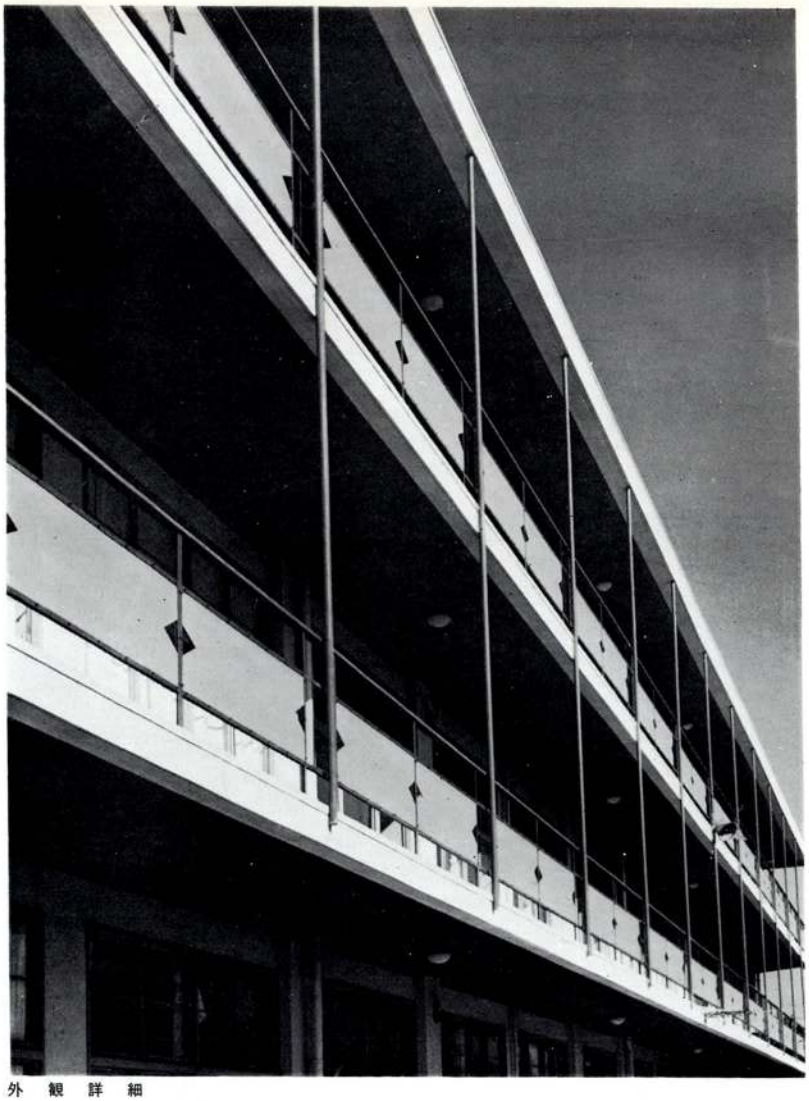
生徒の一日の生活は全く時間的に少しの余裕もない日課が組まれていた。朝の顔を洗うにも洗面器などは使わず，水道のコックより直接洗面するため洗面場は深いカーブにして水の散らないようにするとか，階段は昇るときは駈足で一つ飛ばしに登るため，ノンスリップなどは相当強力なものにする必要があるとか，常識では考えられない行き過ぎもないではなかった。

その後設計も完了して現場の監督官として戦争前の5年間をこの兵学校で学校建築に暮した。これが私の学校建築についてのささやかな経験にすぎない。終戦と同時に旧制の教育制度にメスが入れられ，新制度の教育方針によって，学校建築も民主的に変ってきた。最近では，学校は子供の知能と体質の研究所であり，上級学校への予備校的な傾向もないとはいい難い。それにともない，学校全体の将来計画が巨視的な立場から考慮されないままに，空いている場所に思い思いの様式のものを不統一に建てるといったケースもないではない。

しかし，江田島以後，制度や教育の目的は変ったが，よしそれらがどう変ろうとも，校舎や設備だけにでなく子供の精神面にこそ留意するという全体的な計画を樹て，放課後には校庭のクローバーの上に寝そべって夢を描けるような，子供の心にゆとりを与え得る学校が建設されることを衷心から期待している。

大阪市立すみれ小学校

設　計　大阪市建築局学校建設部設計課
　　担当　第二設計係
　　久米建築事務所
工事監理　大阪市建築局学校建設部工事課
　　担当　北工事係
施　工　株式会社大末組



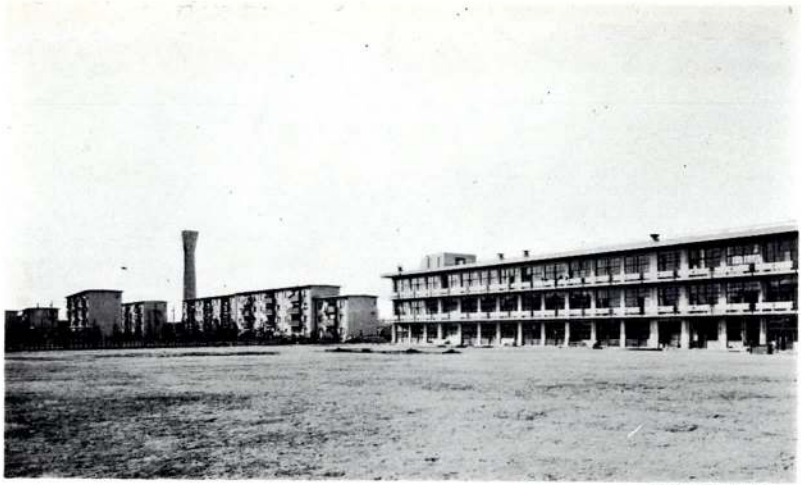
外観詳細



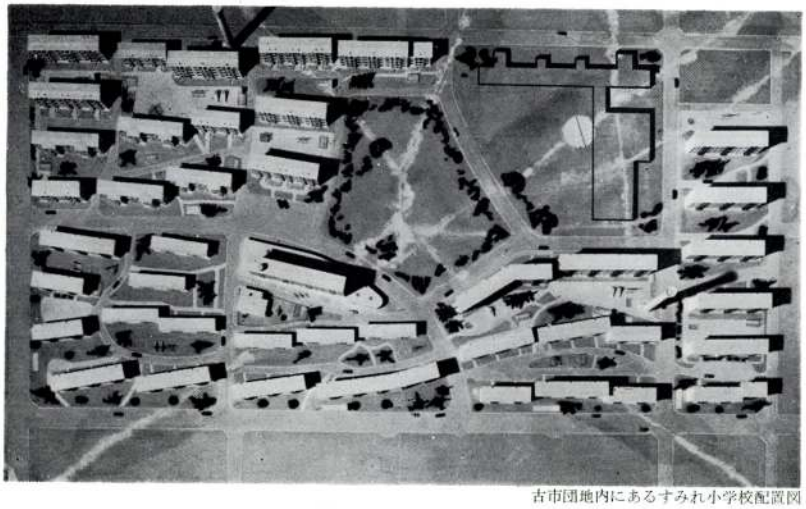
全景

大阪市立すみれ小学校

設　計　大阪市建築局学校建設部設計課
　　担当第二設計係
　　久米建築事務所
工事監理　大阪市建築局学校建設部工事課
　　担当北工事係
施　工　株式会社大末組



運動場側よりみる。



古市団地内にあるすみれ小学校配置図

大阪市立すみれ小学校計画について

この学校は大阪市の新しい住宅区として，すでに数年前久米建築事務所によって設計監理された，大阪市共同住宅古市団地計画の一部である学校敷地に建つ小学校として計画されたものである。

この計画に当っては，"在来の基準設計にとらわれることなく，団地にマッチした設計をしたい"と考え，大阪の地方性を十二分に考慮に入れ，新しい集団住宅区コミュニティの一部として有機的な調和を試みた。

プロットはこの小学校に収容される児童が団地内児童のみでなく，周辺の一般住宅の児童をも収容することと，この敷地が団地内のレクリエーションの中心となる公園緑地に隣接することとをあわせ考えて，運動場，および校舎ブロックの配置計画を行った。

教室数は30教室をもち，1学年5教室単位である。

したがって教室数は5教室単位の組合わせを1ユニットとして構成された。これは一般併列型の教室プランに比較して約10%の床面積の節約を行うことができた。

この5教室ユニットプランの特徴として桁行4教室の他に，北側に東西両面採光となる1教室をもつことである。これについては計画当初より日照，採光，通風等の影響を慎重に検討し，日照，採光については開口部を大きくし庇の出を少くすることによって南面する教室と同程度の条件を得ることができた。通風についても通風を最も必要とする6～8月にかけて，大阪地方では東西方向の風向となる特異性から解決した。

教室南面の約2mのバルコニーは教室間の平面的な連結，給食配膳，南側日照の調節，および各階児童間の休憩時に最大限に利用されて，従来の学校建築の観念を破る新しいデッキの在り方を示すものである。

南面のバルコニー



大阪市立すみれ小学校

建物位置　大阪市城東区古市中通

構　造　鉄筋コンクリート造，3階建

軒　高　10.700m

階　高　1階　3.500m

2階　3.500m

3階　3.500m

敷地面積　9,880m²

床面積　1　階　939.22m²

2　階　939.22m²

3　階　939.22m²

塔　屋　50.04m²

合　計　2,867.70m²

（教室棟のみ完成）

建築面積　1,051.34m²

仕上概要

○教　室　床　アスファルトフロアー

壁　モルタル塗合成樹脂塗料仕上，一部蛭石プラスター仕上

天井　細毛木毛板打入，水性ペイント吹付

○階段室　床　カラクリート塗

壁　モルタル塗合成樹脂塗料仕上

天井　プラスター塗

○便　所　床　カラクリート塗

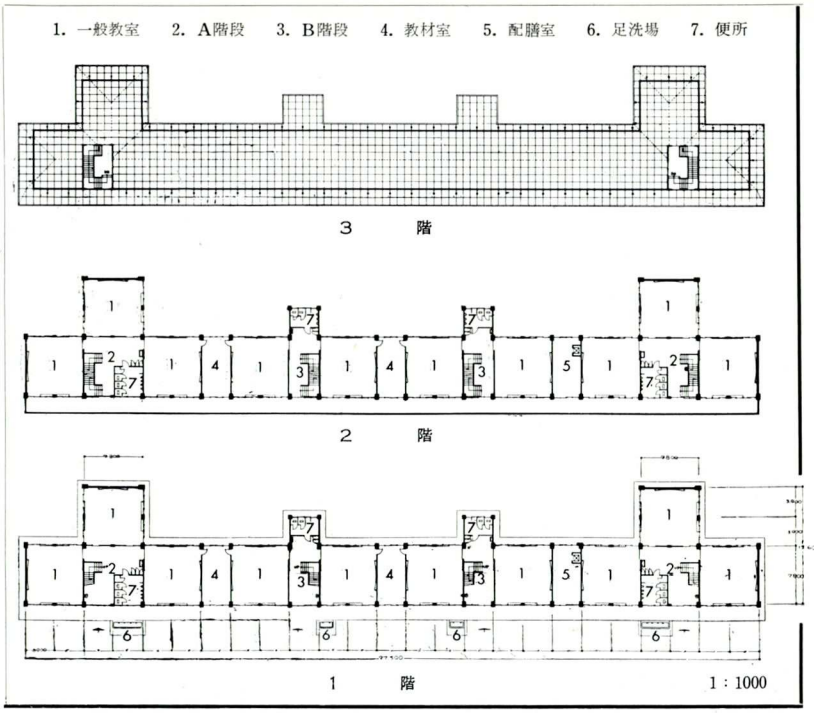
壁　モザイックタイル貼及びモルタル塗合成樹脂塗料仕上

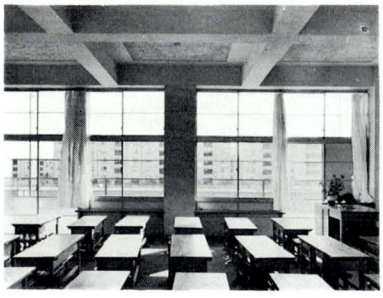
天井　石綿板目透貼

外部仕上

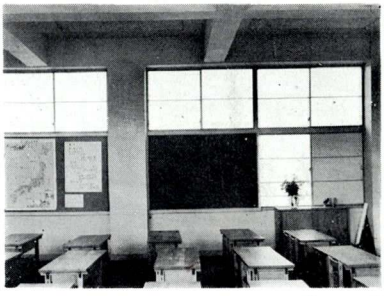
○犬走り　モルタル塗目地切

○壁　モルタル塗，ソリジットスタイン吹付仕上

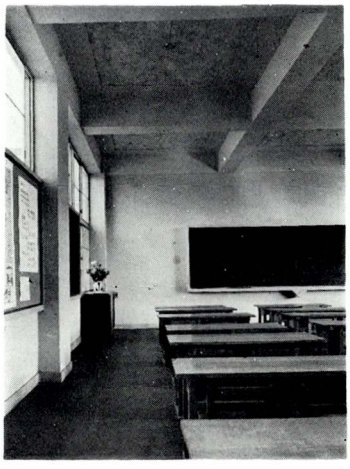




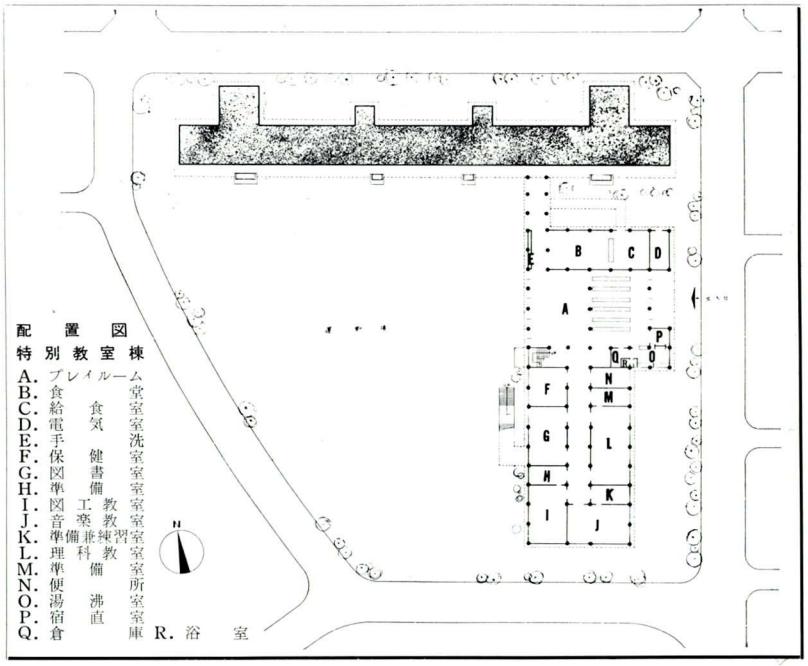
教　室



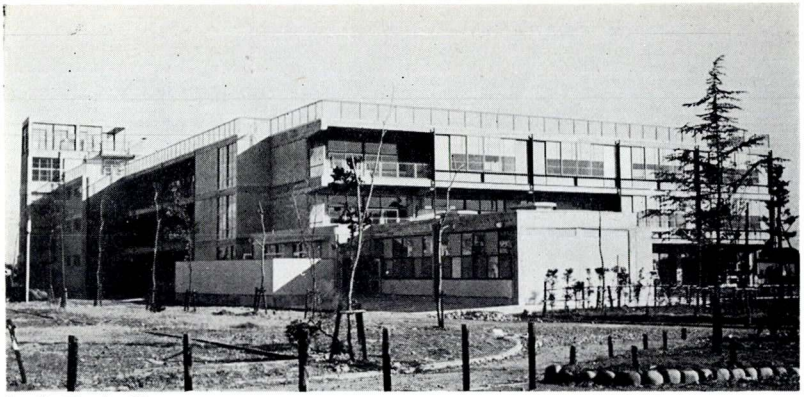
教　室



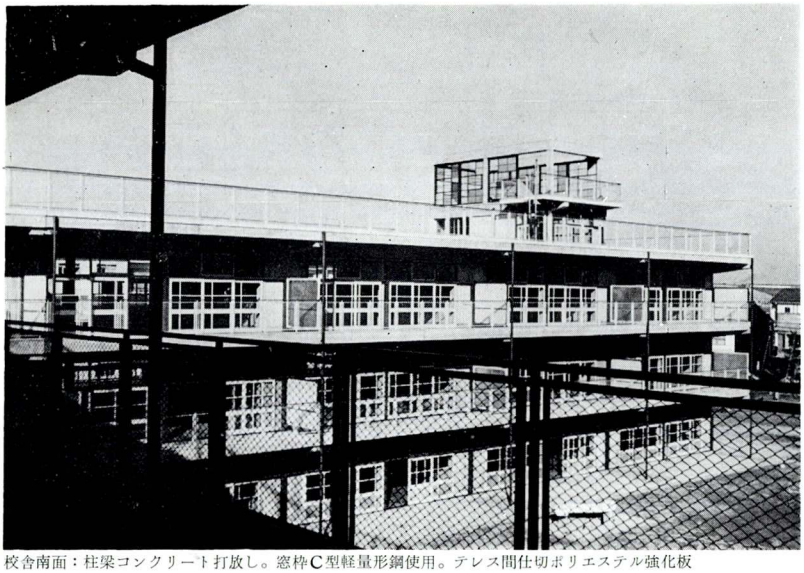
教　室



名古屋市立金城小学校分校

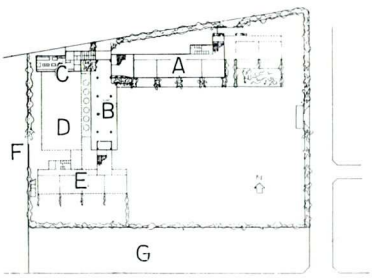


全　景：西　北　面



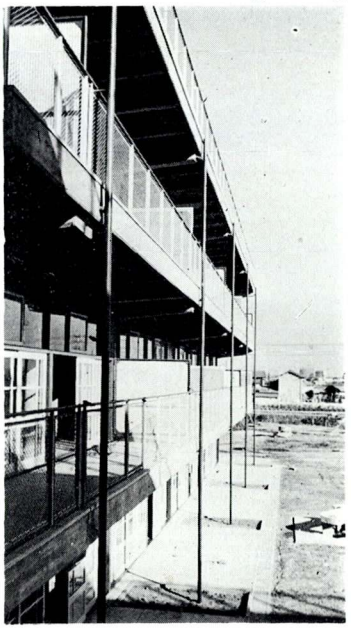
校舎南面：柱梁コンクリート打放し。窓枠C型軽量形鋼使用。テレス間仕切ポリエステル強化板

設計監理	名古屋市建築局技術部学校建築課 （技術部長：一円　俊郎）
施　工	小原建設株式会社名古屋出張所
所在地	名古屋市北区志賀町4の60
延面積	2，495．43 m² （754.87坪）
構　造	鉄筋コンクリート造3階建一部本家建
外　装	柱，梁：コンクリート打放しシリコン防水 壁　：モルタリ塗り　エマルリシン吹付 腰　：モルタル塗り　鏝仕上
内　装	床　：レキセリウム（階段室広間） 三井ボード（T）貼ワックス拭（C．R職員室） 腰，壁：ラワン穴明き合板張り・エマルジョンペンキ塗り 天　井：プラスター塗り 柱，梁：コンクリート打放し
防　水	アスファルト防水　一部モルタル防水（テレス，吹抜廊下床）
工　期	32．4．1～32．10．25



配　置　図　A．3，4，5，6年棟（3階建）　B．管理・特別教室棟（3階建）　C．給食調理所・小使室棟（1階建）　D．体育場・講堂（予定）　E．1，2年棟（2階建）（予定）　F．公　園　G．隣　地
（点線は増築予定）

南　　面



金　城　小　学　校　計　画　に　つ　い　て

学校建築の計画として小，中学校においてわれわれに与えられる範囲は，一般に配置計画がその総てであるといっても過言でないほどの状態で，その他のより重要な事柄は，一般建築家，教育者の手のとどかないところにえてして委ねられているのが実状でなかろうか。

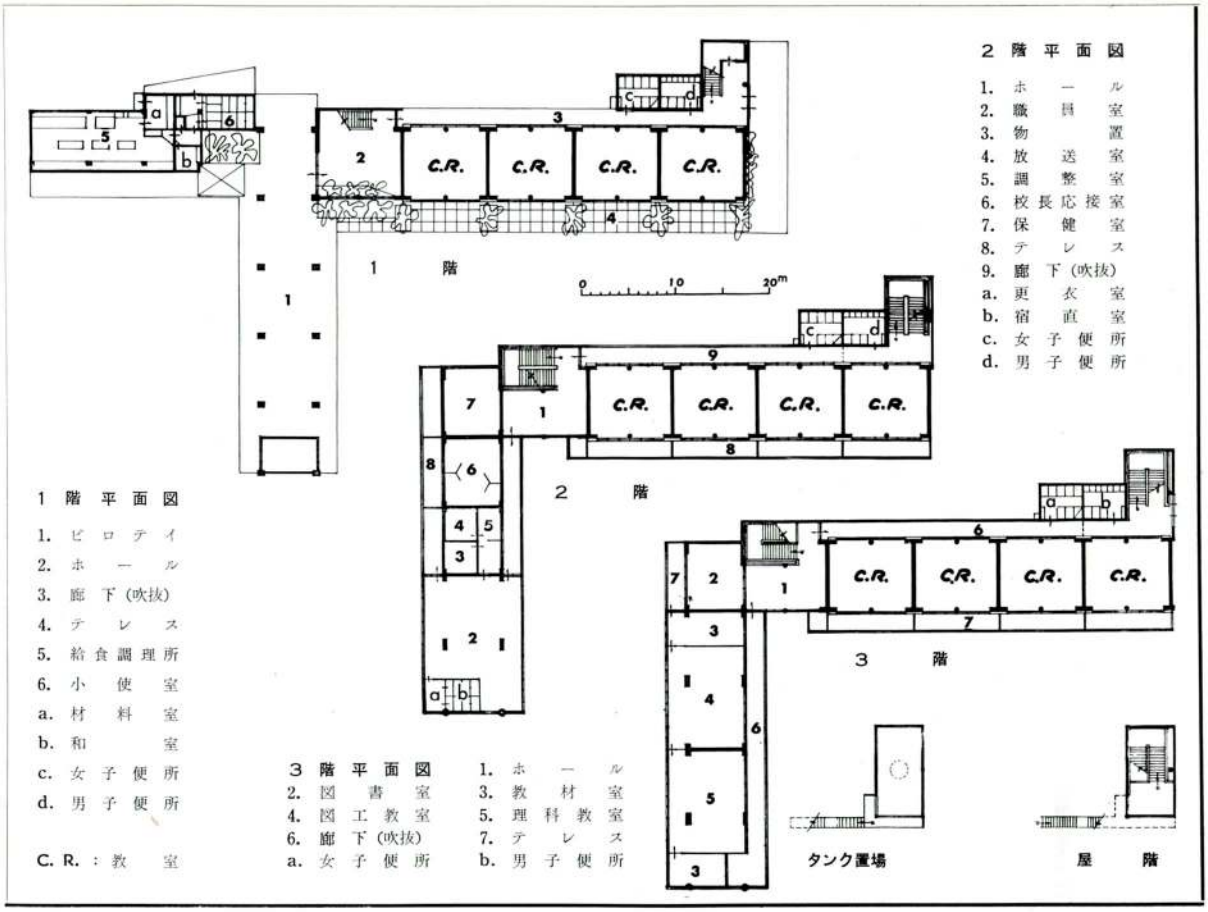
もし，六・三制教育に充分な理解をして，その目的に忠実であったとすれば，その実施を契機として，今日に至る十余年間に，その建物の内容にあるいは生産の方法等に種々な試みがなされて，実が結ばれておったであろう。そのうちでも教室が第一に採りあげられておらねばならぬのに，各方面の努力はあったにもせよ，明治以来の教室と結果においては，大差のないものが今日もなお新設されつつあるのが現状だ。もちろん旧態のすべてを否定する訳ではないが。

現在の学校は，収容する人員の割に狭い教室に，その面積の巧にも相当する立派な廊下を附属させているが，一日のうちで利用率が25%にも達していない。このように，教育的には直接得るところのない廊下を考慮の外において，極度にきりつめられた学校建物の建築費を現在以上に削減するのは困難である。この利用度の低い，単価の高い（床面積に比して，壁面積が多い）部分を積極的に利用するか。あるいは騒音源となり，通風，採光等の点でもまた障害となっている廊下をとり除いて，その余剰分を教室なりまた必要としている他の部分にふりむけて，新らしい教育の学習方法に応ずる施設とすることができるはずだ。

この金城分校では，一般の廊下を吹抜として，反対側の南面には各C．Rとも北側廊下と同じ巾のテレスを設けて，以下に列記するような意図のもとに設計を進めた。・教室面積の不足をテレスによって補う。・テレスがつくる庇によって日照調節をする。・室奥の不足がちな照度を上げるため開放型の北側廊下から採光する。・開放型の廊下から夏季にも快よい換気を得る。・構造的には荷重の配分を均等ならしめる。しかし利点と欠点とは常に隣り合わせに存在するものであるから取扱について充分考慮検討したい。

階高について，いま10m×10m（廊下巾共）の教室を例にとり，階高を4mとするならば，床，天井：壁の面積の比が同じであり，単位当りの単価を同率として，階高を10%減らすことによって直ちに5%以上の建築費を削減できるので，ここでは
（巾木のせい）＋（合板のせい）＋（梁のせい）＋（α）を階高とし，各種の条件とも照らして不都合がなかったので3.4mを以て階高とした。

最後に学校施設は教育の現実を正しくつかんで，実情にそった，常に教育とともに生きるものとして，また教育者および地域社会の支援を得て，まっすぐに成長することを念じてやみません。

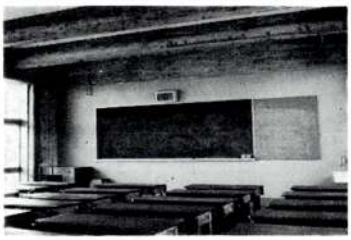


名古屋市立金城小学校分校

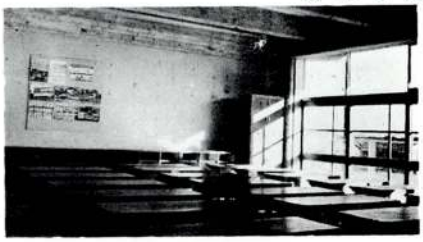
階段室広間よりピロテイを見る



教室正面・黒板脇の移動黒板，流しがある。



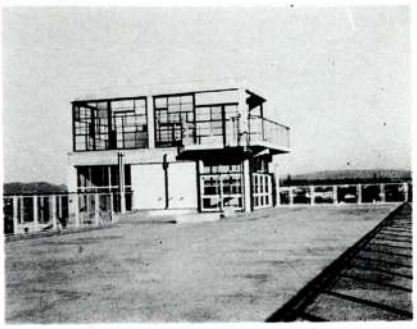
教 室 背 面



ピロテイより階段広間入口をみる



塔 屋



浪花学園東校舎

設計施工　株式会社　大林組



1



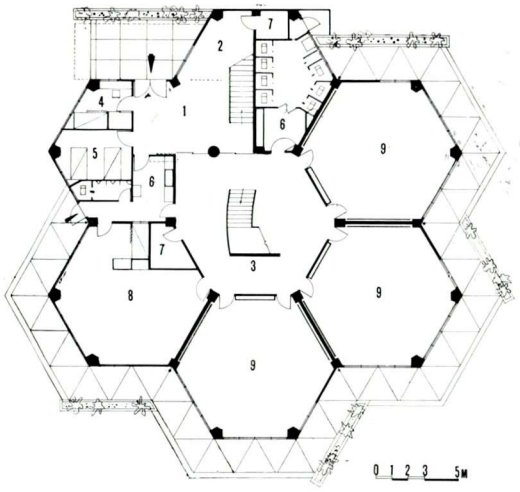
2



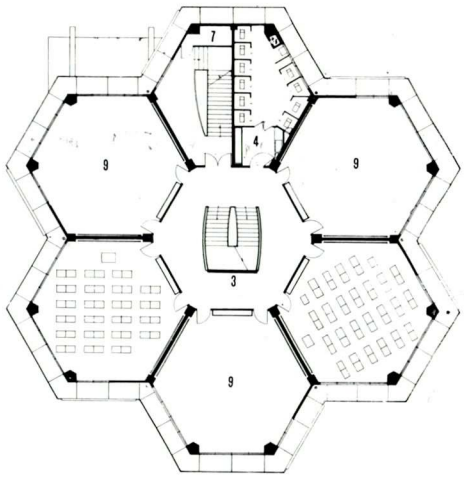
3

1. 外観全景
2. 2階ローカ
3. 玄関詳細
4. 中央ホール
5. 教室

所在地	大阪市生野区大友町2丁目50
規模	鉄筋コンクリート造4階建(塔屋付)
坪数	建坪　473.06平方米
	延坪　1963.55平方米
工期	自昭和33年6月1日　至12月末日
主要仕上	
外部	防水剤入色モルタル吹付
内部	教室　壁，天井プラスター
	腰モルタルペンキ塗
	巾木木製ペンキ塗
	ホール　天井鉱石プラスター
	梁型プラスター
	壁テックス貼の上木製リブ
	打クリヤーラッカー



1 階 平 面 図



2，3，4 階 平 面 図

（ただし 4 階の教室の一部の壁は取はずし可能の可動間仕切となっている）

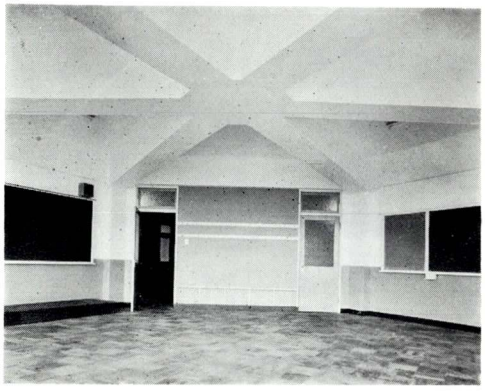
1. 玄関ホール　2. 応接室　3. 中央ホール　4. 小使室　5. 休養室　6. 湯沸室
7. 倉庫　8. 教員室　9. 教室

4



浪花学園東校舎

5



設計について

大林組設計部　担当　**宮崎君治**

市街地の真中で四方を道路に囲まれ，そこをバスが通るといった環境なので，広々とした平家建の校舎は望めなかった。学園から出された条件は，①2,000人 の生徒を収容できること。②この校舎は分校であって本校が 100 米程離れたところにあるから 教員室の他は教室のみでよいこと，といったようなことであった。初めは面積を縮少できるという意味から円型で計画されていたが，坂本氏の実用新案登録の問題もあり，いろいろと案を練った結果この蜂の巣型の平面となった。これにより当初の条件を満たしただけでなく，各教室とも左採光とすることができ，室内の照度の分布も均等になり，正面黒板の大きさ，予備黒板の位置も適当となった。限られた予算内でバルコニーをつけることは難かしかったが，非常時の生徒の避難の問題，高層校舎の問題等の解決策としてバルコニーを各階にめぐらせることとした。中央ホールについては，できる限り騒音を吸収するよう設計したが，目下のところ教室は3しか使用していないので全教室を使用した時の結果は出ていない。新教室を使用された先生方の感想としては，全部の生徒が一度に視野に入り視覚的に無理がなく，音響的にも非常によく，疲労も半分であると喜こんで頂いている。教室内は落着いた沈んだピンクを主調色とし，ホールは各階とも色を変えてある。

増築できない点や，教室の条件が方位によって異なる点や，ホールの混雑等まだ解決されていない根本的な問題もあるが，クローズな建物にまとめるやり方としては一つの解決案であると思う。なお構造的に，また，防火区画の処理の点において，今一段の研究の余地があると思われる。

施工について

工事主任　**原田常介**

近代産業の成果をとり入れたプレファブ形式の建築が次々に建設されている一面，非常に個性のある建築が建設されている。後者の場合，施工者はその個性的な特異性のため非常に難かしい仕事を要求される。今度の場合も設計者と連絡を密にし，その設計の意図を十二分に表現したつもりである。基礎は地盤が非常に軟弱なため，浅野式のコンクリート杭（径25cm～30cm，長さ9m）を 238本も打つという大工事となった。今までの四角型または円型の建物と違い，すべてが正三角型を規準とした平面なので，型枠の組立その他の点で従来の知識はほとんど役に立たなかった。当初はスライド式の型枠等を用いるアイデアもあったが実施しなかった。日本で最初というわけで，コンクリート打までは何かとやりにくい面が多かった。出隅，入隅が多く複雑なため，仕上は大部分塗り物で納めるという設計であった。このため左官工事には大分気を使った。女学校であるのでとくに色彩も注文が難かしかったが，苦労の甲斐があって非常に喜んで頂いている。

大阪交通学園

設　計　KK海上静一建築事務所
施　工　株式会社藤田組



正面入口

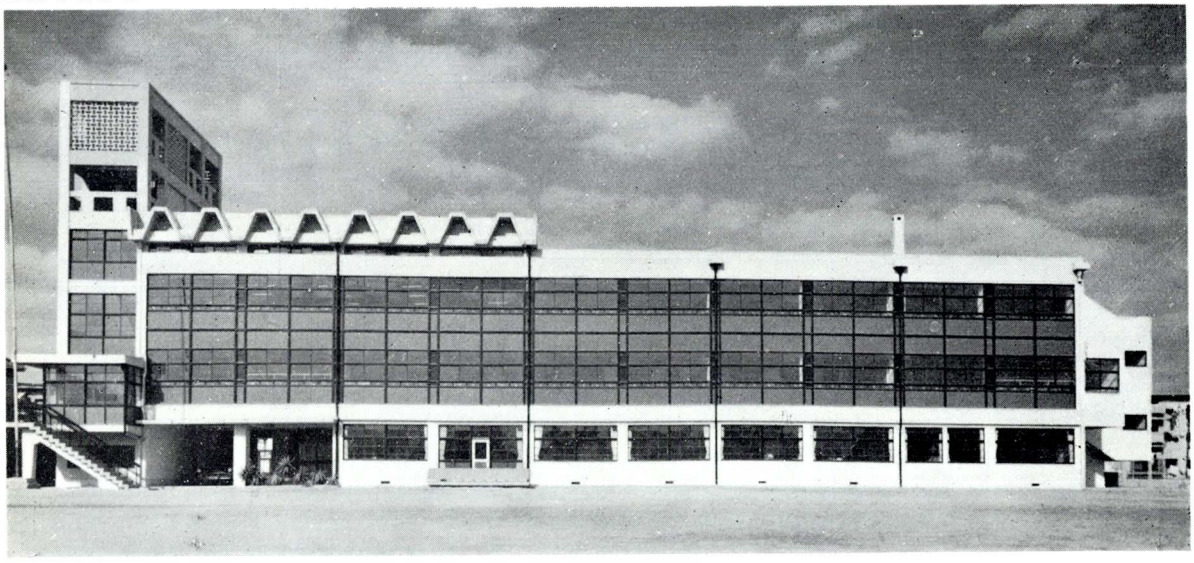
設計者のことば　海上静一

大阪交通学園は，東大阪の住宅古市団地の南に東と北の二方道路に接する私立の学園であって，中学・高等学校・短期大学を包含した鉄道学校である。

新築した校舎はこの学園の本館であって旧校舎と別棟に独立して建築された，中廊下式の東西に長い鉄筋コンクリート造3階建時計塔付延2,650m²の建物である。1階にはピロティをもつ玄関に，校長室，その他管理関係室，実験室その他が配置され，2階は普通教室8，階段教室2，準備室，放送室その他，3階は普通教室3，研究室2，図書室，合同教室その他に区分されている。合同教室は4教室と中廊下の合計面積がその広さで隅取りに教壇と映写室が設置されている。

この建物の2階と3階の床には山型コンクリート薄版を使用した。この山型薄版は主体の節減を目的に設計した床構造で，この学校ともすでに4つの学校々舎に実施したものである。合同教室の屋根には17.1mのオープニングをスパンとする折版屋根を載せたものであるが，構造そのままの型が外観上の特徴ともなっている。これらの構造設計による主体コンクリートの節減から，鉄筋量も坪当り120kg程度に引下げ得たので，その節減量を内外装の仕上面に置き替えてこの学校も完成した。

運動場側全景



大阪交通学園

設計　KK海上静一建築事務所
施工　株式会社藤田組

所在地　大阪市城東区古市中通3丁目
規模　鉄筋コンクリート造3階建塔屋付
建築面積
1階　253.07坪
2階　262.11坪
3階　258.71坪
中4階　2.91坪
塔屋1階　10.74坪
塔屋2階　2.29坪
塔屋3階　11.72坪
延面積　801.55坪
工期　昭和33年5月～33年12月

玄関

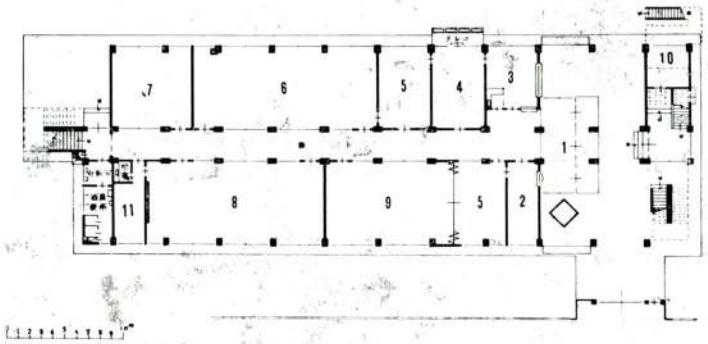


会議室

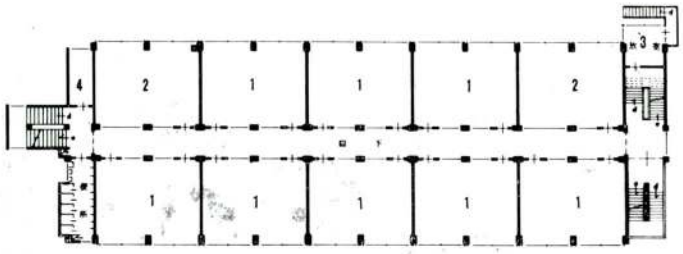


階段教室





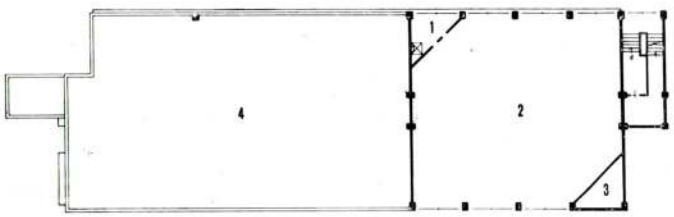
1階平面図　1. 玄関　2. 事務室　3. 会議室　4. 園長室　5. 応接室　6. 職員室　7. 教員室　8. 実験室　9. 会議室　10. 標本室　11. 準備室



2階平面図　1. 普通教室　2. 階段教室　3. 放送室　4. 準備室



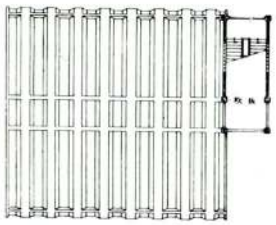
3階平面図　1. 普通教室　2. 合同教室　3. 図書室　4. 研究室　5. 準備室



中4階・屋階・塔1階平面図　1. 映写室　2. 合同教室上部　3. 準備室上部



塔3階



塔2階

東筑高校図書館

設　計：海野三蔵・佐藤四郎
施　工：村上工務店



東南よりみた全景



出入口と植込



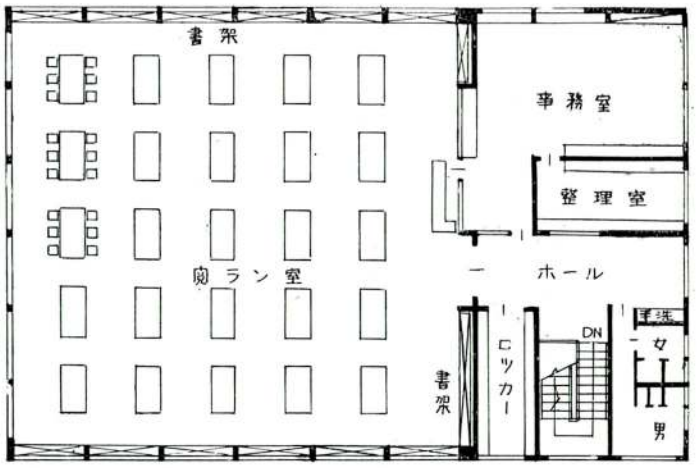
1階南側テレス

設計者のことば

福岡県立東筑高等学校の同窓会が母校の創立六十周年を記念して図書館を寄贈することになり，設計の相談をうけたのが丁度昨年の今頃だった。施主側より示された原案は鉄筋コンクリートの平家建て特別視聴覚室のみ2階になっていたが予算の都合でライトゲーチ造に変更になった。平面計画は閲覧室，整理室，事務室などのグループと特別視覚室，職員閲覧室，茶話室などのグループに大別し，面積の小さい後者を1階に収めることにより，1階の壁面を後退させ，外壁柱列を裸にすることによってブレースの取付を容易にし，1階の壁がオサマリよいようにした。更にこのことによって，2階閲覧室は柱のない大空間が得られ，同時に図書館の近くを通る生徒の話声や視聴覚室で行わなるレコードコンサートの騒音をさけることが出来ることになったほか，閲覧室の南側の窓より筑豊の山々を望む四季の景色を楽しむことを可能にした。また平面全体を2.7m×2.7mのモジュロールで統一し，架構形式を単純化することにより材料費や工費の節減をはかった。色彩は薄黄緑で図書館の性格を代表させ鉄骨とサッシュの濃いコゲ茶でアクセントをつけながら，一部鮮明なオレンヂで若い人達の溌ラツさに応えることにした。最後に施主側の終始一貫した理解ある態度と，この工事に当った村上工務店の献身的な態度に対し深謝します。　（佐藤記）

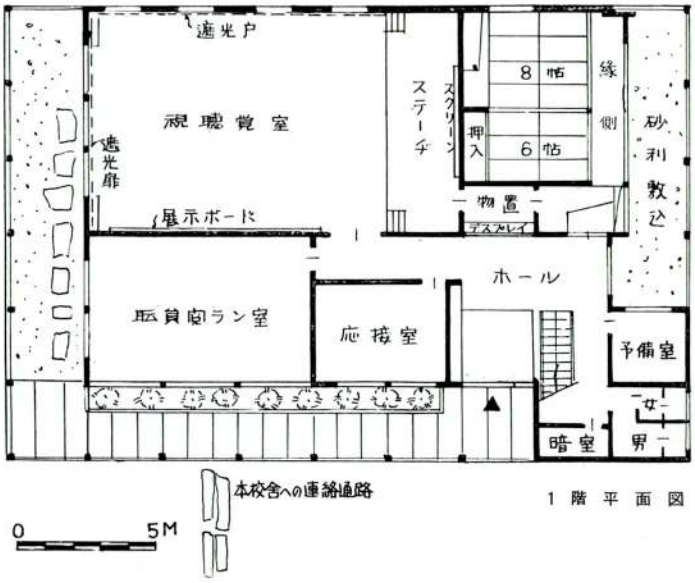
東筑高校図書館

設　計：海野三蔵・佐藤四郎
施　工：村上工務店



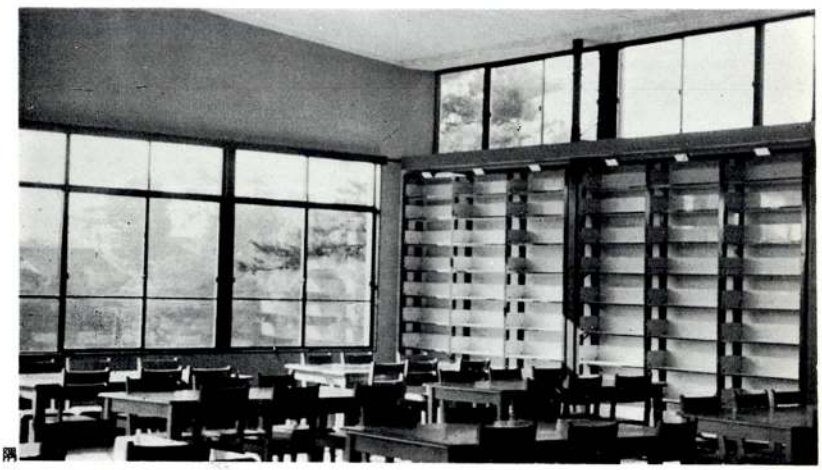
2階平面図

N



1階平面図

所在地	福島県八幡市折尾
建築面積	119坪（延238坪）
所要鋼材量	22屯（L.G.S.プレート，バー）93kg/坪
工期	昭和33年8月～10月
工費	40,500円/坪（附帯設備を除く）
仕上	
屋根	朝日コーサイ大波スレート葺
外壁	1階 コンクリートブロック練瓦化粧積
	2〃 ラス下地モルタル塗
内壁	1階 モルタルコテ仕上 ペイント塗
	2〃 プラスターボード，三井ボード，ホモトーン張
天井	有孔プラスターボード張ペイント吹付
床	ビニタイル貼



2階閲覧室南西隅

大阪府警察本部庁舎

設計監理：大阪府建築部営繕課
施　工：株式会社奥村組



正　面（東面）



東南より望む。モザイクタイル貼（庇鼻先ラスモザイクタイル貼）柱型テラカッタおよび万成石貼。
背面色モルタル吹付仕上。地階部分色モルタル掻落し仕上。

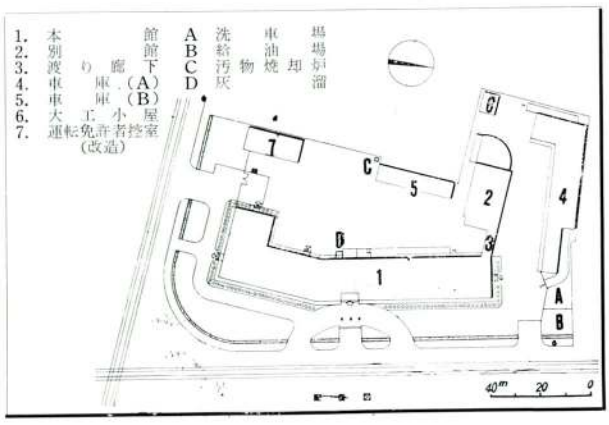
所在地	大阪市東区大手前之町9～13番地			
敷地面積	12,731.40 m²			
建物面積	（単位　平方米）			
	本館	別館	渡り廊下	
地1階	1,954.487	266.623	38.460	
1　階	2,008.373	479.633	34.614	
2　階	2,058.486	484.633	47.135	
3　階	2,058.486	347.362	47.135	
4　階	2,058.486	347.362	47.135	
5　階	2,058.486	347.362	47.135	
6　階		347.362		
塔　屋	138.644			

車庫（A）	車庫（B）	大工小屋	火薬庫
1階 713.350	195.00	48.00	地階32.975
2階 703.750			

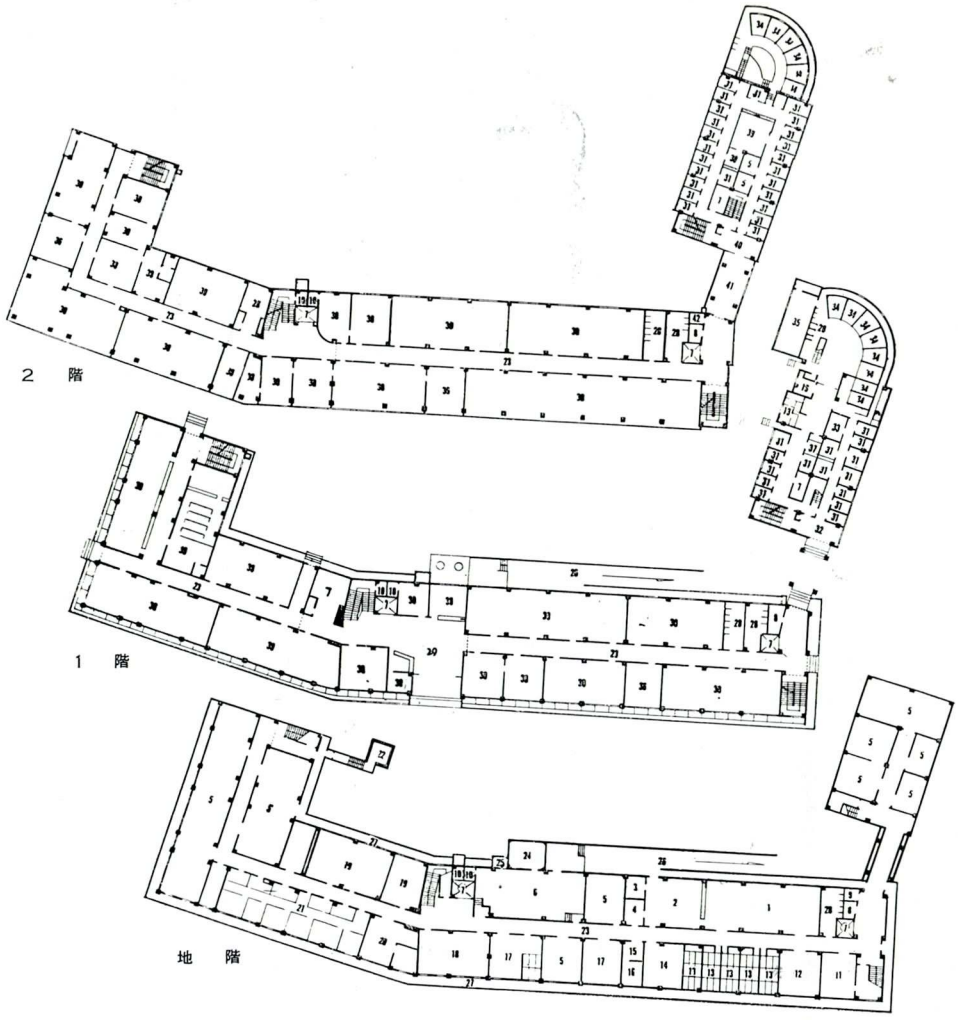
建築面積	3,478.970 m²	
延面積	16,910.474 m²	
軒高	本館	パラペット天端まで 20.340m
	別館	〃 23.940m
	車庫(A)	〃 8.025m
	車庫(B)	軒高 2.800m
	大工小屋	〃 3.250m
主体構造	本館	R.C.造 地下1，地上5階 塔屋2階
	別館	R.C.造 1部地下1 地上6階
	車庫(A)	R.C.造 一部鉄骨造 地上2階
	車庫(B)	鉄骨造 地上1階
	大工小屋	軽量型鋼造 地上1階
	火薬庫	R.C.造 地下1階

東北より望む。渡り廊下は連窓サッシオイルペンキ仕上。





1. 食堂
2. 厨房
3. 食品庫
4. 更衣室
5. 倉庫
6. ボイラー室
7. エレベーター
8. 端子盤室
9. ポンプ室
10. ダクト
11. 理髪室
12. 売店
13. 宿直室
14. 使丁室
15. 脱衣室
16. 浴室
17. ポンプ室
18. 電気室
19. 診療所
20. レントゲン室
21. 記者ボックス室
22. 弾薬庫
23. 廊下
24. 石炭庫
25. アッシュリフト
26. スロープ
27. ドライエリヤ
28. 便所
29. 玄関
30. 事務室
31. 取調室
32. 管理室
33. 写真暗室
34. 留置室
35. 運動場
36. 部長室
37. 接見室
38. 機械室
39. 会議室
40. 待合室
41. 渡り廊下
42. 湯沸室



大阪府警察本部庁舎について

大阪府建築部営繕課　内藤一真

この建物は大阪中央放送局の斜め前，大阪城を正面とした上町台地の，一団の官公庁センター（合同庁舎。府庁舎。調達局。入国管理事務所）が，更に西に向って家庭裁判所，営林局と連なる曲り角に位置しています。

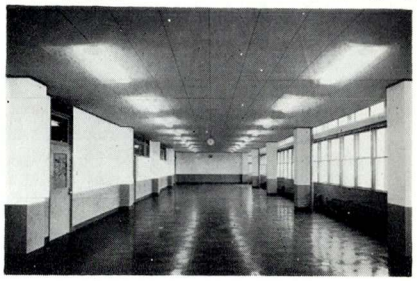
計画に当ってはこういった立地条件から都市計画的な考慮が必要だった。本館の両翼をそれぞれの道路に平行に配置し，従って水平線を強調した北翼の壁面をゆるい角度で曲げ南翼の壁面へと連続せしめたのも歩行者の視線を遮ることなく，歩行と共に自然な見透しが得られるよう，また本館前面のパーキングエリアの確保を可能なものとすべく配慮された結果に外ならない。

実施に当っては，大体三つのブロック，すなわち正面東面は事務室ブロック，北側に捜査関係，留置場，鑑識，理化学関係のブロック，南側は交通及110番 等の通信関係のブロックから成り，エクスパンションは北ブロックに連絡する渡廊下でとり，その下を通り中庭南へ抜ける通路は建物配置の機能性を高める一つの動線を形成しています。

地階ボイラー室，厨房等は中庭よりのスロープにより外部と直接連絡しています。別館一，二階は扇型留置場と調室より成り，外部に面しない調室は機械換気によった。四，五階は鑑識課の写真室と理化学検査室があり，六階は映写設備を備えた会議室がある。北側車庫は鉄筋コンクリート二階建でスロープにより地上と連絡し，洗車場，注油場と附属しています。

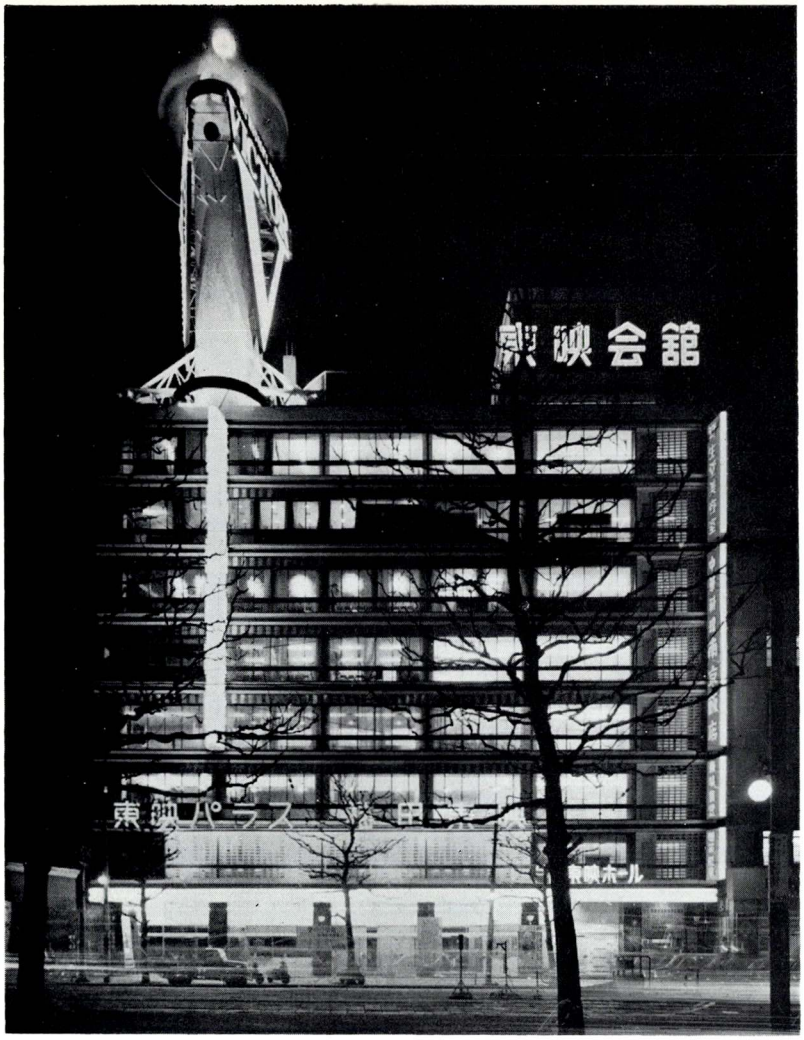


上：本部長室　　下：事務室



大阪東映会館

設計施工　清水建設株式会社



「1000人劇場を二つ重ねて」

吉田　勇

1000人劇場を二つ重ねて「半階下ってA劇場へ，半階上ってB劇場へ行けるようなもの」を設計してくれ，というのが施主からの最初の課題でした。

1000人劇場の総高は12～15mになるのが普通ですので，これは一般建物のほぼ4階分に相当します。根切を浅くする必要もあるから，「A劇場はワンスロープ式でなければならない，かつワンスロープの最高部から入らねばならない。B劇場の入口は劇場の最低部であるべきだ」といったプランニングの必須条件が生まれてきます。このような条件を骨子として，大阪東映会館のプランニングができ上りました。

道頓堀の大阪東映劇場の設計当時は，与えられた敷地に対して「最大の収容力」というのが大きな必要条件でした。当時「この条件を満足させたものができた」と思ったのですが，さて実際に使って見た劇場の支配人から「案外詰込みがきかない」と評されました。

客席は下から順番に詰って，順次上におよびますが，必ずしもスムースに上におよぶわけではなく，上がまだ空いているのに下が超満員になることがわかりました。

客の動線を無視したための失敗であります。大阪東映会館ではこの点を大いに考慮しまして，B劇場もワンスロープ式とし，ほぼ中央部にA・B劇場いづれも横通路を設け，この通路より後部を一段高くし映写中腰をかがめないでも通れる通路としました。この結果，客さばきもよく，かつ理想的な立見席ができる結果となり「詰込みのきく映画館だ」といわれるようになりました。

最後にわれわれのスタッフから，山本俊介，木村康彦，青木繁，を列記して結びとします。



建築地　大阪市北区永楽町六番地
構　造　鉄骨鉄筋コンクリート造
階　数　地下一階地上八階塔屋三階
敷地面積　1,734.8m²
建築面積

階　数	床面積 m²	劇場客席面積 m²
地　階	608.1	梅田東映劇場
1　階	1665.9	定員：1018名
中2階	581.2	580.2
2　階	1602.3	東映パラス劇場
3　階	819.4	定員：914名
4　階	637.1	537.8
5　階	863.5	東映ホール
6　階	636.9	定員：298名 175.5
7　階	586.3	
8　階	586.3	
R1階	132.9	
R2階	76.8	
R3階	48.5	
合　計	8845.4	客席合計 2230名

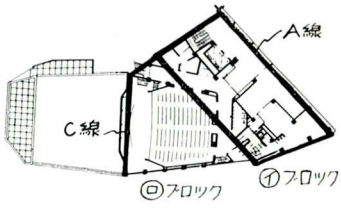
軒　高　30.45m
最高部　40.65m
着　工　昭和32年11月26日
竣　工　昭和34年3月18日



東映会館の Structural Skeleton について

陶浪貞彦・光安　明・力武利夫・西田芳弘

3箇の劇場と8階の貸室を持つこの建物は，敷地の不整形，建物用途の外岐性と平面立体ともに無駄な空間を極度に切り詰めたために，非常に複雑であって解析も絶対に正確は期し得なかったが，計画は概念的安全側を想定することとした。すなわち構造計画の根本は水平剪断力の分布条件であるが，構造2軸の撰定は全平面を①前面貸ビル ②劇場部③附属機械室の3分割をなし，各部に2軸を想定し，各ブロック毎の軸と軸とは角度を持ったままとした。しかして建物剛性は，各部かなり異なった物であり，振動学的な精解は困難な問題であるが，外力と剛心を平面軸と立体構成の剛度の考慮より skeleton を決定した。コンクリートが完成したとき振動の測定を行ったが，建物全体の振動を自然微動より見た結果は次のとおりであった。すなわち建物全体の卓越した主要振動数は4.8～/S及び11～12～/Sであって，この程度の階高の建物としては大きい値だと思われるが，またその振動加速度は小であって，R階～5階のA線は東西および南北ともに完全に同位相であった。さらにC線は東西に対し同位相であり，A線とC線の動きは波形が異るので，その相対的動きは明白でないが，振動は同程度でありかつ主要振動数はいづれにおいても出現しているので，建物の①㊁ブロックは複雑であるが，一体としての動きであると見られる。以上の結果より45°軸あるいは各部がある角度を持った各ブロックの剛性は余力を持っていて，まだ逓減の余地の有ることの立証となった。



次に鉄骨工事には摩擦ボルトを採用したことは大阪での先鞭であり，騒音防止，施工の簡単化，工程の短縮化を得て好評であった（本誌2月号参照）。しかし，曲げ角度の多い鉄骨は同一梁柱は1ケ所として無く，現寸は延1000人以上を要した。（参考に構造計算製図延人員としても，2回の設計変更を含めて延1000人強であった。）

地盤はGL−5m～−16mまでがシルト，−16m以下はN=30以上の洪積層なることと，平面的剛性のアンバランスより17″ペデスタルパイルを採用した。地中で構成するこの種の杭として，上部シルトの圧力と外管内管の間に真空を作ることより，コンクリートにシルトの混入するおそれがあるが，これを極度に注意して行なった。また耐力推定はテルツアギーの先端土壌の局部破壊より見た考えによったのであるが，いくらか不完全な杭にもかかわらず，静荷重試験の結果はその推定計算値より大なるものであった。

設計荷重　50t/本（長期）　100t/本（短期）

以上この建築より3問題すなわち ①建物剛性と固有振動 ②摩擦ボルト ③ペデスタルパイルの諸問題を勉強することができた。（陶浪記）

施　工　者　の　こ　と　ば

工事主任 高橋久治

大阪で一番の目抜き通りで，しかも変形的な敷地を相手の建築で，直接施工面の労苦以上に間接的な事項で苦しめられた印象が強く残った建築でした。

われわれ直接施工の任に当る者は，御施主に満足して貰うために，与えられた工期間に，設計図書に忠実に，しかも自分自身の良心に訴えて満足のできるもの，その上に合理的な施工により営業成績も上げたいと，大変欲張った気持で働き，しかも苦しみの中で人様に味えない喜びを得たいと思っていますが，今度の場合は前述のごとくそれ以外の面で，技術者としてのわれわれの精力を消耗させられた結果が，完成した建物の隅々にまで表われていることが今となっては大変残念であり，心残りな点です。

複雑な形の敷地に，しかも建物の性質が前面は8階建の食堂ビル，背面は大小映画館が三館もあるという取合わせで，墨出しの間違を起さないよう，取合わせに空間ができないようにと一番苦労致しましたが，幸にその点ではわれわれの取越苦労に終ったことが，最後の短期間に追込みの利いた極め手だったと思っています。

大阪北の魔の地盤にも相当苦しめられました。地下水位が非常に高く，肝心のウエルポイントも100%働かないとあっては，従来の水中ポンプに力を借りなければならないことは，将来われわれもまだまだ研究すべき余地があると思います。最後にご迷惑を掛けた近隣の皆様に御詫び申上げますとともに，ご協力下さった下請業者の方々に御礼を申上げます。



客　　席
天　井：木毛セメント板リブ打ペンキ塗
壁　　：裂　　地　　貼
腰　　：繰型付縁甲板貼ステイン着色クリヤラッカー
通　路：アスファルトタイル

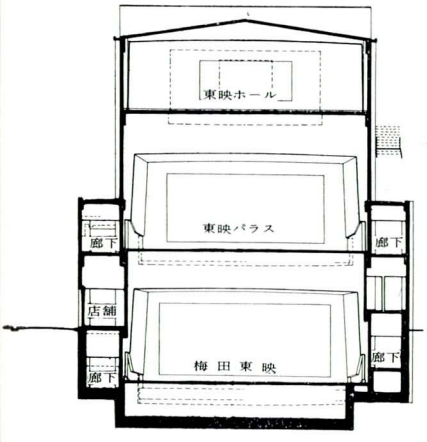
梅　田　東　映



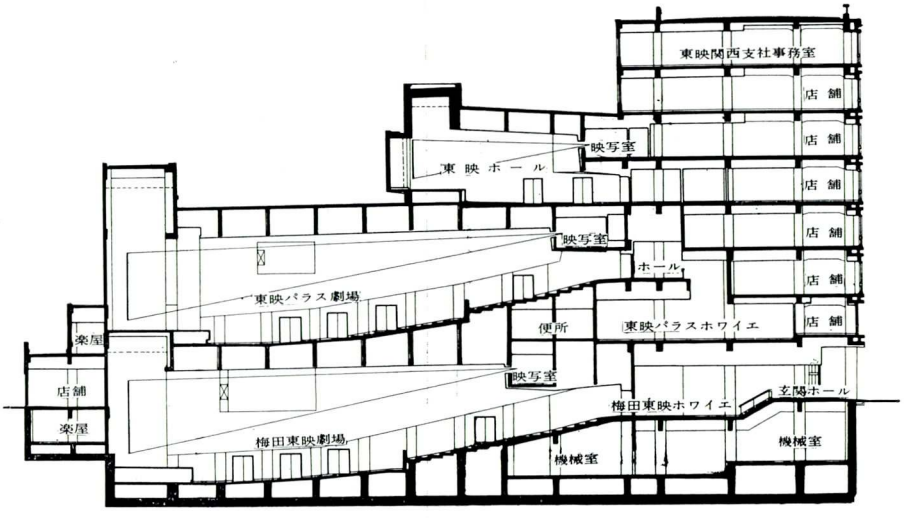


左　　：**玄　関　ホ　ー　ル**
天　井：ハニールーバーおよび裂地貼
扉　　：ブルーペーン・タフライトドア
独立柱：外　国　産　大　理　石
床　　：ナ　イ　ア　ン　貼

右　　：**ホ　ワ　イ　エ**
天　井：裂　　地　　貼
壁　　：繰型付縁甲板貼ステイン着色クリヤラッカー
床　　：ナ　イ　ア　ン　貼



A　ブ　ロ　ッ　ク



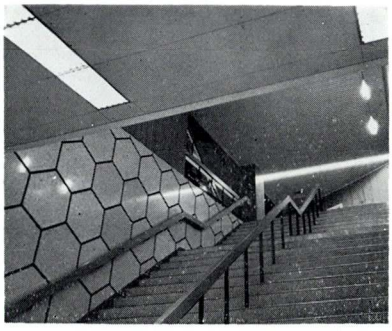
A　ブ　ロ　ッ　ク　　B　ブ　ロ　ッ　ク

大阪東映会館の三つの劇場



東　映　ホ　ー　ル

壁　　：A.C ベニヤ板貼ステイン着色クリヤラッカー
オブジエ：木製ラッカーヌリ





東　映　パ　ラ　ス

右：**2　階　ホ　ワ　イ　エ**
天　井：コ　ー　ラ　イ　紙　貼
独立柱：カ　シ　ュ　ー　塗
床　　：ナ　イ　ア　ン　貼

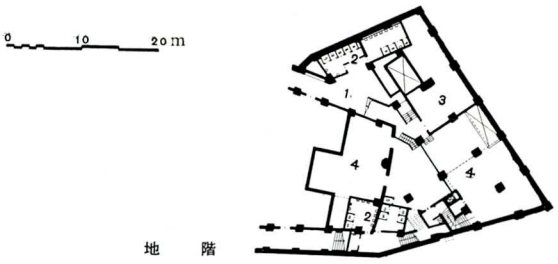
左：**階段からホワイエをみる**
壁　　：亀甲型テラゾーブロック貼
蹴　込：テ　ラ　ゾ　ー　ブ　ロ　ッ　ク



下：**客　　席**
天　井：ホモトーンペンキ塗一部
A.Cベニヤ板ペンキ塗
壁　　：裂　　地　　貼
腰　　：繰型付縁甲板貼 ステイン
着色クリヤラッカー
通　路：アスファルトタイル

大阪東映会館

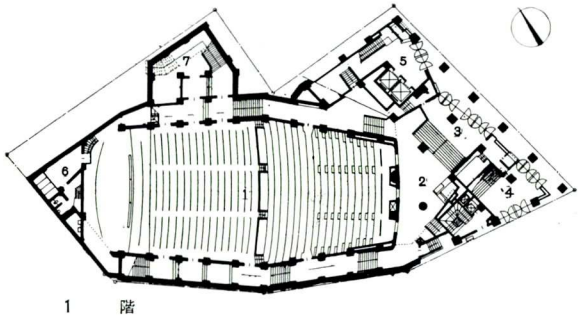
設計施工　清水建設株式会社



地　階

地　階

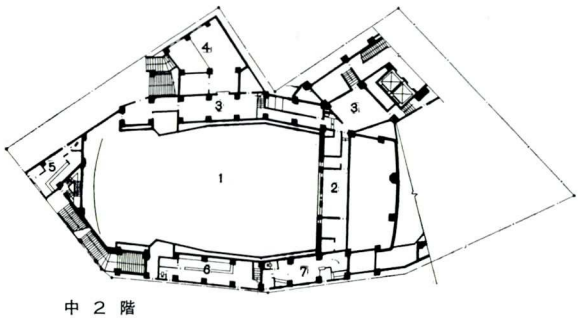
1. 梅田東映喫煙室
2. 客用便所
3. 電気室
4. 機械室



1　階

1　階

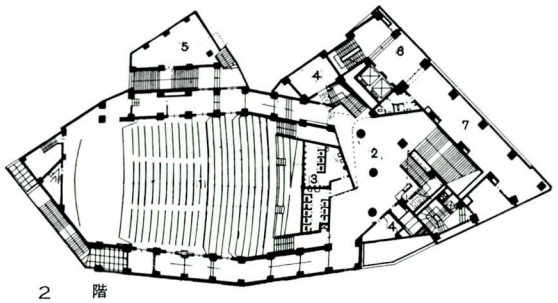
1. 梅田東映劇場
2. ホワイエ
3. 梅田東映入口
4. 東映パラス入口
5. 東映ホール店舗入口
6. 楽屋
7. 機械室



中２階

中２階

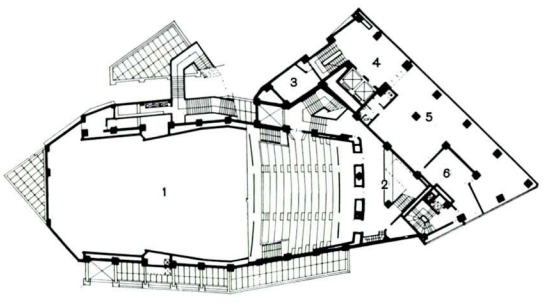
1. 場劇客席上部
2. 映写関係諸室
3. 劇場事務室
4. 機械室
5. 酒亭菊正宗
6. 天ぷらひろ木
7. 喫茶アルス



2　階

2　階

1. 東映パラス客席
2. ホワイエ
3. 客用便所
4. 劇場事務室
5. 機械室
6. エレベーターロビイ
7. 東映パーラー



3　階

3　階

1. 劇場客席上部
2. ホワイエ
3. 機械室
4. エレベーターホール
5. レストラン
6. 厨房

ひろ木（中２階店舗）



２階東映パーラー内観



菊正宗本蔵の外観



喫茶アルスの内観



大阪東映会館

設計施工　清水建設株式会社

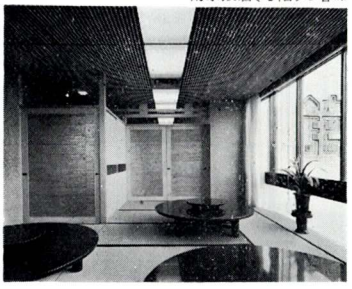
エレベータホール



南京飯店(4階)の玄関ホール



南京飯店(4階)の客席



資生堂美容室ロビー



資生堂美容室・ヘアーブース



4　階

1. 劇場客席上部
2. 映写関係諸室
3. 機　械　室
4. エレベーター ホール
5. 南京飯店
6. 厨　房

5　階

1. 東映ホール
2. 玄関ロビイ
3. 客用便所
4. 劇場事務室
5. エレベーター ホール
6. 南京飯店
7. 厨　房

6　階

1. 劇場客席上部
2. 映写関係諸室
3. 試　写　室
4. エレベーター ホール
5. 南京飯店
6. 厨　房

7　階

1. エレベーター ホール
2. ラウンヂ(資生堂)
3. セッティング
4. フェイシャル
5. ボディマッサージ
6. ヘヤダイブース
7. オフイシーズ

8　階

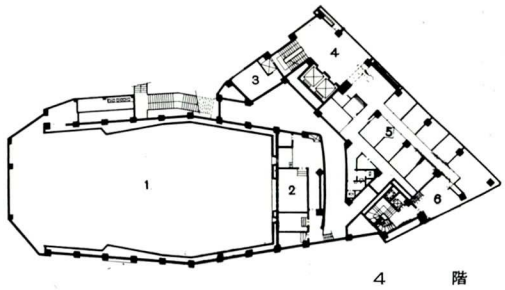
1. エレベーター ホール
2. 東映関西支社
3. 支社長室
4. 社　長　室
5. 電話交換室
6. 便　所

R　1　階

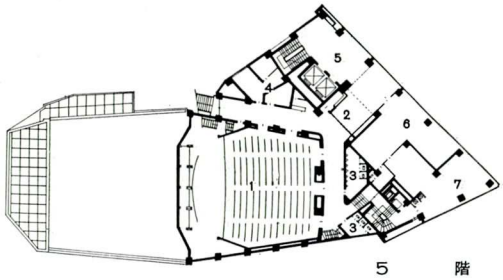
1. エレベーター ホール
2. アサヒビヤ ガーデン
3. ネオン塔下部
4. 高置水槽
5. エヤワッシャー
6. クーリング タワー

R 2 : R 3 階

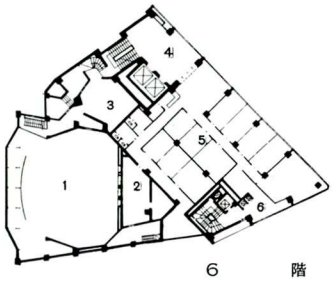
1. 機　械　室
2. エレベータ 機械室



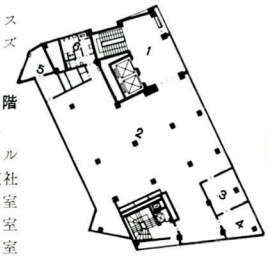
4　階



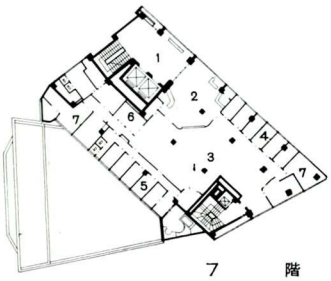
5　階



6　階



8　階



7　階

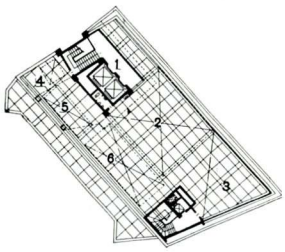




R3階



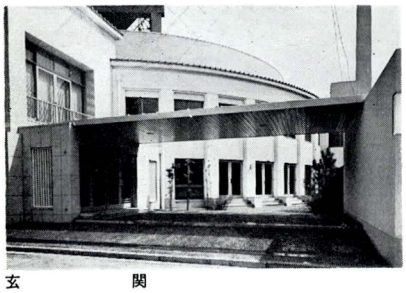
R 2 階



R 1 階

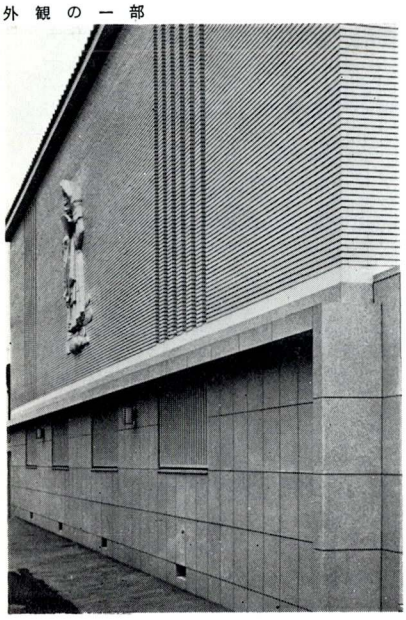


内　部　全　景



玄　　関

外観の一部



大　阪　能　楽　会　館

設計監理　双星社竹腰建築事務所
施　　工　株式会社大林組
舞台施工　株式会社山田組

設　計　者　の　こ　と　ば　　竹腰健造

能楽堂は能舞台と見所との関係が設計の中心となります。また大夫は鏡の間でまづ面を拝し面の持つ気持を取って舞台に立つのでありますから，面がすべての中心となります。面は俯すれば泣き，仰げば微笑するようになっております。これがため舞台を見下す形をとりますと，見所から舞台は見よくはなりますが，面がいつも曇って見え，悲しんでいるように見えます。本建物の設計ではこれを避け，二階席もなるべく低くして面が泣くことを少くしました。

舞台の目付柱もワキ柱も除去できるようにして見ました。目付柱はその名のように大夫が舞の目標とするのですが，見所からは非常に邪魔になります。大夫も慣れれば舞うのに不自由はないと思われますし，またどうしても舞えぬという大夫の場合には随時取付けられるようにしてあります。

イエッツのいったように，劇は大劇場よりも小劇場の方が鑑賞に適します。とくに能楽堂の場合はそうであります。見所が割合に狭い能楽堂では舞台，とくにその屋根が見所の割に大きくて不体裁に見えます。そのためここでは屋根を入母屋にして見ました。

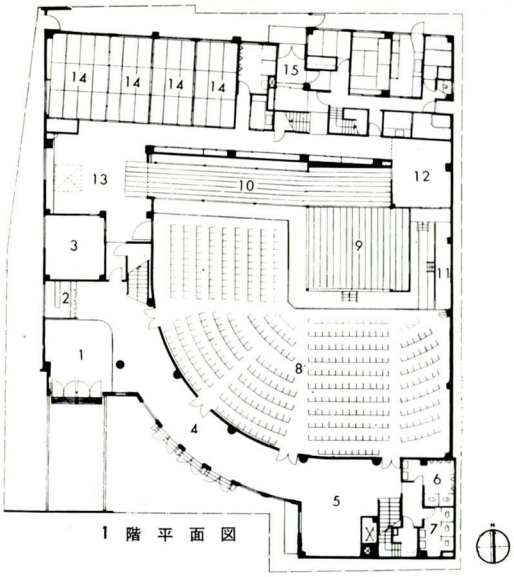
つぎに大きな問題は舞台および橋懸りの床板，それに足拍子と音響のため従来床下に入れていた瓶の問題です。

床板については，昔と違って今日は数年間乾燥させたような板は入手不可能で，従って完成ののち板がすいたり反ったりします。

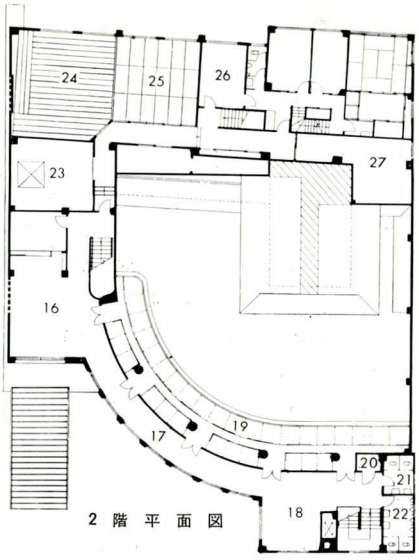
そこでこの舞台では一寸厚の合板を使い，板の継目にもプラスチック糊を入れ，舞台一面が太鼓の皮のようになるようにし，途中所々を強いスプリングで支えることにしました。こうして瓶を用いるような原始的な方法を避け瓶を用いた場合よりもよい成果を収めるよう，また同時に床の狂いも避けるよう工夫しました。

敷地が割合に狭い上にこのような能楽堂にまで，何千人も入る大劇場と同じような建築の諸法規を適用されますのでいろいろ困難もありましたが最善の方法を講ずるよう努力しました。

最後にこの建物は，設計は宝生流の私，施工は大林組ですが相談役の喜多流中村寅之助氏が全責任を負い，舞台橋懸りなどは山田組の社長で観世流の浜田豊太郎氏が全力をつくされ，いわば三流三者の最善をつくした合作であり，またこの三者がいづれも能を舞うほど永年この道を嗜んで来たのです。この能楽堂が永く大阪の能楽界から愛されるよう祈ります。



1 階 平 面 図



2 階 平 面 図

1. 玄関　2. 携帯品預所　3. 事務室兼楽屋　4. 歩廊　5. 休憩室　6. 客用男子便所　7. 客用女子便所
8. 見所　9. 舞台　10. 橋懸　11. 雛壇　12. 溜り　13. 鏡の間　14. 楽屋
15. 内玄関　16. 食堂　17. 歩廊　18. 休憩室　19. 座席　20. 録音室　21. 客用女子便所
22. 客用男子便所　23. 道具庫　24. 敷舞台　25. 見所　26. 客室　27. 衣裳庫

大阪能楽会館

設計監理　双星社竹腰建築事務所
施工　株式会社大林組
舞台施工　株式会社山田組

所在地　大阪市北区道本町12番地
敷地　1,114平方米
規模　鉄筋コンクリート2階建
延面積　1,471平方米
収容人員　1階404名　2階128名　計532名
補助席共　700名
工期　昭和33年7月19日　昭和34年3月20日

施工者のことば　大林組　山下恭次

古典芸術としての能楽会館という特殊建築物の施工に当りまして，まず設計者の最も意図される点が何といいましても舞台廻りでありますので，新しい時代に生きる古典建築として従来よりの古い殻をぬぎ捨てて，種々新しい技法を取り入れてあるだけに，その趣旨に副うべく施工者側といたしましては大いに研究努力を重ねた次第です。そのうち，とくに舞台見付柱，脇柱を観客の見地から取り外すということになりました結果，天井より釣り下げた舞台屋根の鉄骨の垂れ下りを非常に心配し，当初大梁と合掌鉄骨の継手をプレートにて固定されておりましたが，二つを切り離し，補強の鉄骨を取付けボールト締めにし，アジヤストのできるよう慎重なる方法を取りました。のち屋根組いたしましたところ，木部の相当な重量にもかかわりませず釣り下りも見ず，これにより柱の抜き差しも何等支障なく簡単にでき，一番の難問も解決いたしましたことは一同意を強くした次第です。その他床板のベニヤ板使用による音響効果，舞台と見所の色の調和等に重点をおかれました。

何分にも仕上期間が季節的に最悪の時期でありましたので，外部テラカッタ取付けに際し，窯の出が工期の切迫とにらみ合わせて非常に心配しましたが，期限に納り，無事完成致しましてご満足して頂きましたことは感慨無量です。これも設計者竹腰先生のご熱心なご指導によりましたことと，関係者各位のご協力の賜と深くお礼申上げる次第であります。

正面よりみた舞台：柱を入れたところ。



器　用　貧　乏

日本の職人達は実に器用である。丸太足場の立派さは世界一だといわれているが，これは全く職人の器用さに依存したもので，技術者と称する人の与り知らぬ所である。そして，このために安全で組立容易な枠組足場を考案する光栄の担い手は日本人の中から生れなかった。

器用な人間が立派な仕事をする。無器用な者でもそれと同程度の仕事が楽に仕上げられるような材料や機械が考案される。器用な人間がそれらを駆使して，さらに立派な仕事をする。材料，機械の改良がこれを追いかける。こうしたイタチごっこが技術を絶えず進歩向上させるのであるが，わが国の施工技術界は職人の器用さに溺れてしまった観がある。従って器用貧乏の域から脱しきれなかったのだ。建設業界の生産性を世界的水準にするためにはどうしても徹底的な合理化の上に器用さを積み重ねるようにしなければならない。　(TH)

× × ×

× × ×

コンクリートの住宅

鉄筋コンクリートの住宅が随分増えた。公営民営を問わず公団住宅・府営・市営・社宅・ゲタバキ・中高層・等々いろいろの略称で呼ばれているが，耐震・耐火・土地利用・高層化のためには誠に喜ばしいことである。

しかし問題は複雑であり，一回毎にテストケースの域をまだ出ていない状態であり，それでこそ老練・青年を問わず建築家が腕によりをかける熱情を持ち得るのでもだろう。

ところがどうもマクロ的な方面に流れが行きすぎてはいないだろうか，素価の研究と経験の累積整理が足りないといいたいのである。

例を結露の問題にとってみる。種々の事情で一時非常に騒がれたが，また，そのため研究者仲間によって一度結露物理現象ならびにその対策を考察されたが（実は筆者もその仲間の一人），依然として全面解決の域には至っていない。ある人はいう。

「学者に研究してもらっても実用的な対策が生まれないじゃないか」と。もっともなことと思う。

研究から実際的な解決にいきつくまでには相当の労苦，（時間×労力×費用×etc×etc）が必要である。これを惜しまないで建築技術の進歩に寄与してもらいたいものである。　(TR)



対　話　（1）

A　ミナミの繁華街、Sビル、σ_{28}=180 kg/cm²、C=300kg/m³、スランプ=22cm、見積ってくれ

B　立米当り 4,300 円にお願します

A　高い、現場打では 4,000 円以下であがる、安く請けたので予算がない、もっと値引しろ

B　むずかしうございます

それから数日後：—

A　Sビルの話、σ_{28}= 150 kg/cm²、スランプ= 22cm と設計変更、監理事務所了解、C=280kg/m³でよい——責任をもつ

B　——

また 4 ～ 5 週間経過した日：——

A　試験体強度が足りない、困るではないか

B　σ_{28}=165kg/cm²>150kg/cm²でご指定以上です

A　C=280kg/m³ で σ_{28}=180kg/cm²出る筈だ、この節のCなら　(YK)

対　話　（2）

A　キタのNビル、調合強度 σ_{28}=(180+25)kg/cm²、スランプ=22cmで値段は何程か

B　+25kg/cm² は生コンの施工級別標準偏差ですか

A　そうだ、学会仕様書できめてある

B　今日の生コンで+ 25kg/cm² の偏差は一般の現場練りの+ 35kg/cm² と比較して大きすぎるという意見があるんですが

A　そうかも知れない、値段の方は+（プラス）なしにしよう。　(YK)

× × ×

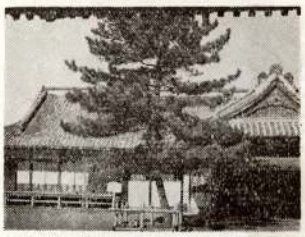
× × ×

× × ×

× × ×

学　校　建　築　の　流　れ

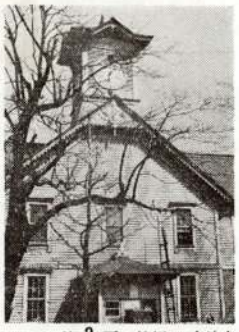
菅　野　誠



第1図　弘道館の正庁，表御門から玄関を見たところ（天保12年、1841年建築）



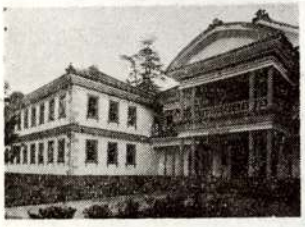
第2図　山梨県睦沢学校（明治8年建築，藤村式学校建築の一例）



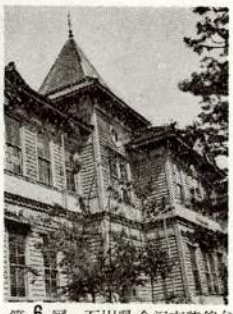
第3図　札幌の時計台の現景（明治11年建築後年原形のまま移築）



第4図　茨城県水海道学校（明治14年建築，後年原形のまま移築）



第5図　鳥取県倉吉市成徳小学校（明治20年建築）



第6図　石川県金沢市紫錦台中学校（旧石川県立第二中学校，明治32建築）



第7図　山形大学教育学部本館の正面玄関と時計台（明治34年建築）

1．過去の学校建築

古い泉から湧き出た学校建築の流れがどのようなみちをたどってきたか，をまずふりかえってみよう。歴史はこれからの流れの方向を見極める上に，大きな示唆をもっているように思われるから。

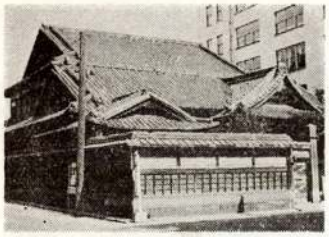
庶民の子弟をも教育した公立学校としてのわが国の最初のものとされている岡山県閑谷（シズタニ）学校の木造の建物が，約250年余を経て，今もなお岡山県立和気高等学校の分校の建物として使用されていることはおどろくべきことである。この開放的な，庶民的な，古典的な様式は，どこか現代の様式に近似している。物静かな環境のなかに，火除（ヒヨケ）山を距てて教師や生徒たちの居住部分と学習部分とを分離した配置計画は，設計者の意図のとおり，居住部分の火災焼失にもかかわらず，学習棟の古建築を保存している。

水戸学の源，水戸弘道館の古図をこまかにしらべてみると，古人の遠大な計画は，これからの新しい綜合大学の配置計画をもしのばせるものがある（**第1図**）。

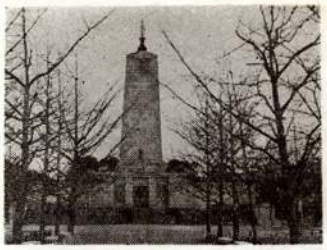
明治5年，学制発布直後のものは，当時の流行語「文明開化」の先端をゆくもので，太鼓楼，鐘楼，あるいは時計台などをとりつけた西洋式のものが最新式として大いに流行したようである。

長野県中込学校（現在，町役場に使用），松本市開智学校（明治9年建築），山梨県睦沢小学校（明治8年建築，**第2図**），同県御坂小学校（旧名錦生学校，明治12年建築），静岡県磐田市見付小学校（明治8年建築）などは，その実例である。山梨県ではその頃，西洋式学校建築を奨励した県令の名をとって藤村（フジムラ）式あるいは県令式の学校と呼んでいる。

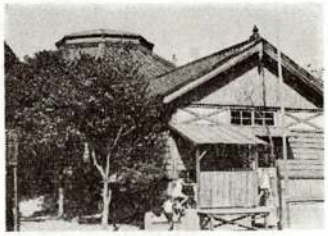
次の時期には，若干の日本的な改良が加えられてくるが，この西洋式の系統のものには茨城県水海道学校（明治14年，**第4図**），兵庫県西宮市今津小学校（明治15年），鳥取県倉吉市成徳小学校（明治20年，**第5図**），石川県金沢市紫錦台中学校（旧石川県立第二中学校，明治32年，**第6図**），山形大学学芸学部本館（明治34年，**第7図**）などがある。いずれも特殊なポーチの形態に特徴が見られる。



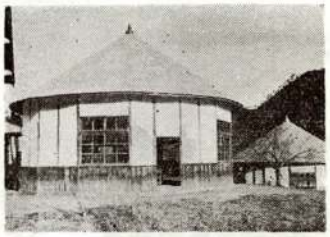
第 8 図　大阪市立愛珠幼稚園
（明治34年建築）



第 10 図　昭和9年室戸台風のあとに大阪市に建てられた教育塔



第 9 図　岡山市旭東幼稚園
（遊戯室の四方に保育室を設けたもの，明治41年建築）



第 11 図　岡山県赤磐郡赤石中学校（いわゆる日輪校舎，旧青年学校，昭和18年ごろ建築，渡辺久雄氏撮影）

明治中期から後期にかけては，洋式の反動として日本古来の様式に帰る傾向が盛んとなって，京都学芸大学学芸学部本館（明治18年），京都市立柳池小学校（明治26年），大阪市立愛珠幼稚園（明治34年，**第 8 図**）などの純和風のものや，和洋折衷の類型化した学校が建てられるようになった。

そのころ，学校の建物について，建築衛生学的な研究からの検討が加えられ，片側教室がよいことがわかってきたが，その場合，廊下を教室の南側に配置すべきか，北側に設けるべきかについて大論争が行なわれた。この論争は，三島通良氏の「校舎衛生上の利害調査」（明治34年4月8日，官報第532号）の報告で，北廊下説に軍配があげられた。ともあれ，この報告によって学校建築の類型化はますます促進されることとなって，4間×5間の教室が片側廊下に連続している。古い学校にいま普通に見られるような平面形のものが全国いたるところに建てられるようになった。

大正から昭和の初期にかけては，たびたび来襲した地震や風水害による被害が大きかったため，構造方面が大いに発達した。大正12年の関東大震災前は，鉄筋コンクリート造りの校舎はまだぽつぽつ試作的に建築されていたに過ぎず，木造の校舎が大部分であって，耐火造としては煉瓦造のものが若干あったにすぎなかった。ところが震災の結果，煉瓦造は非常に弱く，鉄筋コンクリート造が耐震・耐火的にきわめてすぐれていることが明らかになったため，それから近代的な鉄筋コンクリート造の校舎が盛んに建てられるようになってきた。

昭和9年の室戸台風による被害は，建物のみならず多くの教師と児童・生徒たちの生命をも犠牲にしたので，学校建築の防災に関する世論が急に高まってきて（**第10図**）「学校営繕ならびに保全に関する訓令」が発せられ「学校営繕技師制度」が設けられることとなった。

このように学校営繕の指導に対する制度が確立し，また視力保健の研究などが進んできて，いよいよ学校の震災復旧や風水害の復旧，その他本格的な整備に移ろうとしていたとき，突如，満州事変がぼっ発し，それが支那事変ひいては世界第2次戦争にまで発展していったため，経済界の活動はすべて戦争目的だけにしぼられ，学校建築は資金・資材の統制を受けて，ついには，ほとんど停頓せざるを得ないようなこととなった。（**第11図**）

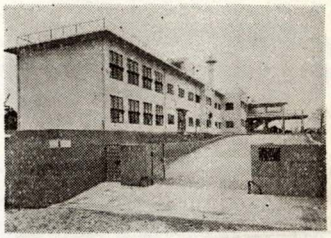
2．近代の学校建築

終戦後，教育の方法が全面的に変ったことによって学校建築も直ちに大きく転換すべきであった。しかし，資金・資材の貧困と，とくに終戦後間もない昭和22年に学制改革をおこなって義務教育の年限を延長し，中学校を義務制にしたことによって，ともかく生徒たちをいれる校舎をバラック建ででも大量に建てなければ間に合わないことになった。その当時は資材も十分ではなかったし，構造的に丈夫で，資材を有効に使い，あわせて新しい教育の実施にも応じようとして研究されたものが，昭和22年制定された日本標準規格木造小学校建物および木造中学校建物である。この規格の教室の形は6メートル×10メートルのやや細長い教室であった。

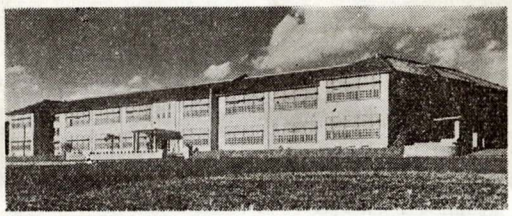
しかし，しばらくすると画一的に教室の形を定めることは面白くないということになって，工業標準化法によって日本標準規格（JES）が日本工業規格（JIS）に切りかえられる機会にいろいろな教室の形にも応用できる自由度の高い構造規格に改められた（昭和31年）。したがって現在では自由な形の教室をつくってさしつかえない



第12図　二部授業のあとの組の児童が雨の日に登校したときの様子（昭和22年頃）



第14図　名古屋市立円上中学校（昭和26年度建築，初期の鉄筋モデルスクールの一例）



第13図　静岡県富士根村立第一中学校（昭和27年度優良施設表彰校の一例）

ことになっている。

耐震・耐火などの防災的な見地から，鉄筋コンクリート造や鉄骨造などの不燃構造，難燃構造の要望も次第に高くなってきた。たびたびの災害で水害や蟻害にもこれらの構造のものがすぐれていることが明らかになってくると，ますますその希望のものが増してきた。鉄筋コンクリート造は，一度建築されると半永久的に使用されるものであり，あとから模様替えを行なうことも容易でないので，木造のものよりも慎重に設計されなければならないし，構造設計その他高度の技術が要求される。それで，日本建築学会と文部省との協同研究の結果，鉄筋コンクリート造校舎の標準設計（A型，B型，C型およびD型）が造られた（**第14図**）。鉄骨造については数例の試作（たとえば東京都目黒区宮前小学校（**第16図**）など）を経て，近く日本建築学会の答申をまって，鉄骨校舎の規格案がつくられようとしている。

これらのほか最近数多くの新しい提案や試みがなされている。このような研究が盛んであることは学校建築の進歩のため，誠に喜ばしいことである。が，この場合，設計する方々に望みたいことは，常にその利害得失を十分に研究したうえで使用していただきたいことである。気象の条件とか周囲の環境，予算の都合，あるいはその学校の規模，将来の発展性などを十分に考慮したうえで応用してほしいと思う。

奇抜と思われる着想のなかにも，実はずっと以前に，あるいは外国で試みられたものなどもある。それらが，その後どうのびているか，のびなやんだものはどんな短所があったのか，というようなことを研究してその短所を補うように改良が加えられるならば，その場合に初めて発展性が期待できるであろうと思われる。

まず，平面計画の上からこのような新らしい傾向を見ると，教育活動が直接行なわれる部分の有効面積をできるだけ広くとって，通路部分などの二次的な部分を極力圧縮しようとする工夫がなされている。そのようにして節約し，生みだされた面積をワーク・スペースに利用しようとする試みが数多くなされている。すなわち，このワーク・スペースを前室として設けたり，教室を若干広くとってその一部を区劃したり，あるいはこの前室と教室とを可動間仕切で区劃して，ある場合には広く，ある場合には仕切った別室として使用できるように工夫されているものもある。

そのほか，室の用途，さらには空間の，共用兼用を行なって，できるだけ多目的に使用する方法が研究されている。たとえば，廊下とワーク・スペースあるいは生徒控室との兼用，マルティ・ユーズ・ルームの研究，壁面を多目的に利用する方法の提案などは大いに注目されてよい問題である。

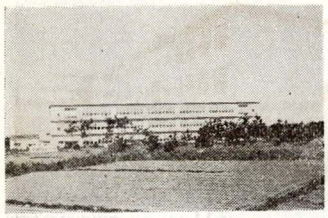
最近の実施例から従来の教室配置の型式と違った新しい型式のものの数例をひろってみると次のようなものがある（その評価は後世の人々にゆだねたい）。

① 円型校舎・半円型校舎と呼ばれる型式のもの，多角型のもの，およびそれらの組合せや，はちの巣型校舎など。これらのものは平面の形をコンパクトなものとして通路部分の面積の節約を計っている。

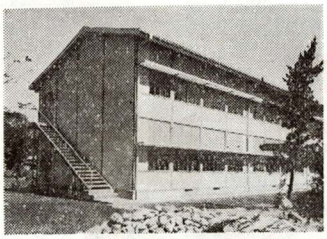
② バルコニー型式。南側バルコニーと廊下スペースを兼用にして通路部分の面積を節約したものである。

③ アパート型式。各階2教室ごとに階段を設けて，上階の廊下等の部分の面積を節約するとともに前室（ワーク・スペース）を設けて教育活動をたすけている。

次に構造の面から最近の傾向をみると，



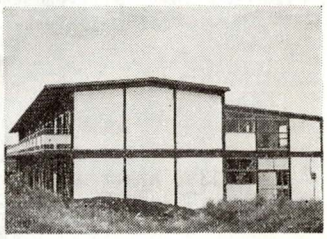
第 15 図　茨城県波崎中学校第一校舎（昭和29年建築）



第 16 図　東京都目黒区立宮前小学校（旧名八雲小学校分校）（昭和30年建築，鉄骨造校舎試作第一号）



第 17 図　鳥取県米子市立米子一中（昭和30年，円形鉄骨体育館）



第 18 図　福井県東藤島小学校（昭和31年建築，鉄骨二階建校舎）

① 鉄筋コンクリート造では，コンクリート量と鉄筋量をできるだけ節約しようとするいろいろな提案，構造設計を合理化して構造物全体としての節約をはかる研究がなされており，教室が連続している普通の校舎の場合には形態が単純なので，いろいろな構造の試作がなされている。その主なものに，逆スラヴ型，シャーレン型，バランスドラーメン式，K構造方式などと呼ばれているものがある。

② 鉄筋コンクリート構造と，木造との間の構造として，いわゆる中間構造の出現が要望されてきた。必ずしも3階建を必要としないで（世界的な傾向として学校建築の低層化が流行しているが），木造よりは，もっと耐久力のある防災的なもの，鉄筋コンクリート造よりは安くて丈夫なもの，蟻害の心配がないもの，ということで，いろいろな試みがなされている。前述の鉄筋コンクリート造の軽量化の方向もその一つの表われであるが，鉄骨構造を中核とする各種の研究が進められている。鉄骨校舎建築に関する従来の研究結果は近く一括して発表される予定になっている。その他，補強ブロック造，補強煉瓦造，プレコン造あるいは軸部が鉄骨造であるか鉄筋コンクリート造であるものに対してこれらの構造を部分的に組合せて構造する方法などが試みられている。

昭和34年度の国の予算の編成にあたって，公立文教施設整備5ヵ年計画がとりあげられ，いろいろな面から検討された結果，ともかく，その基本的な考え方が了承されて実を結ぶこととなった。この5ヵ年計画は，昭和34年度から昭和38年までの5ヵ年間に，すし詰教室の解消，統合学校の校舎等の整備，危険建物の改築などを重点として，公立文教施設の整備をはかることを基本目標としており，なお，この間における校舎等の整備坪数の約50%は鉄筋コンクリート造または鉄骨造で行うものとなっている。

この構造比率の上昇は，まさに劃期的なものであって，昭和34年度と前年の昭和33年度とを，国の負担または補助を行なう事業について構造別に比較してみると，昭和34年度はその総量で，木造245千坪，鉄筋コンクリート造154千坪，鉄骨造78千坪となるのに対し，前年度は木造274千坪，鉄筋コンクリート造93千坪，鉄骨造29千坪であったから，木造は29千坪減じ，鉄筋コンクリート造は1.7倍となり，鉄骨造は実に2.7倍に上昇するはずである。ここにおいて学校の鉄骨・鉄筋化は急速に進展するであろうことが期待される。

（筆者　文部省管理局教育施設部助成課長補佐）

× × × ×

× × × ×

× × × ×

× × × ×

伊奈のタイル 衛生陶器

良質と量産を誇る

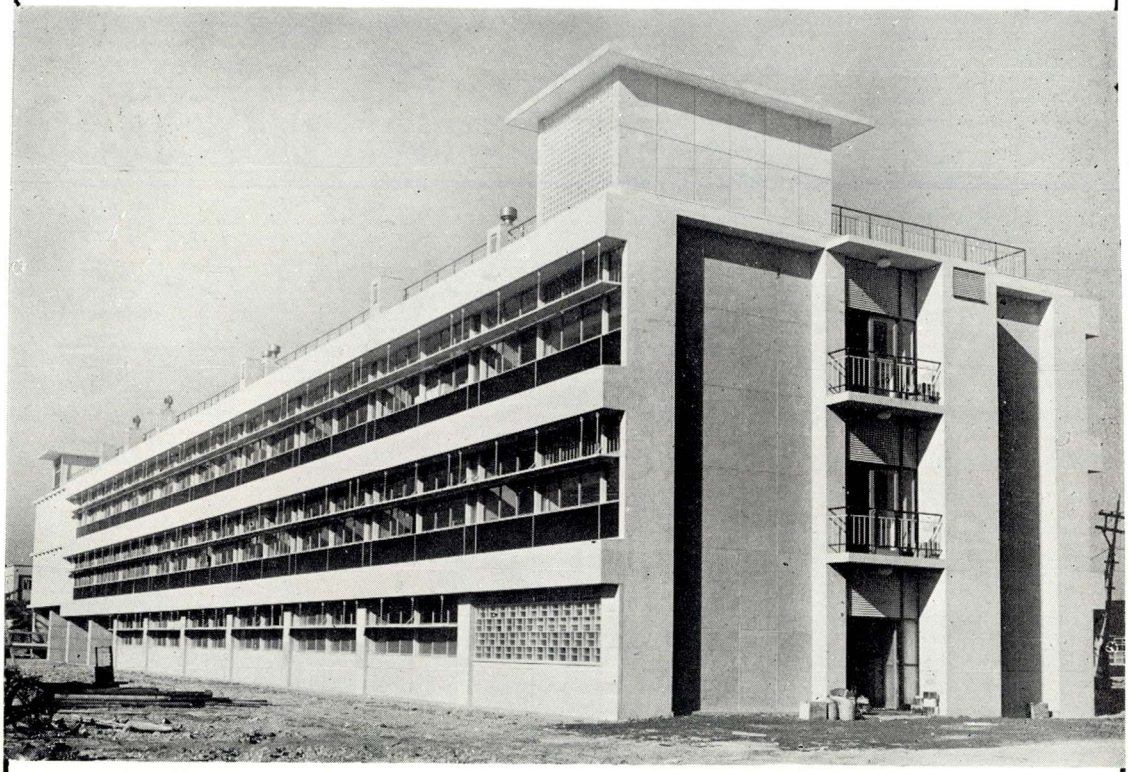
衛陶マーク

カタログ送呈

許可番号　第6428号

タイルマーク

衛生陶器はJIS表示の伊奈の製品を



名古屋市大基礎医学教室
設計・市営繕課
施工・大成建設
納品・CC130

伊奈製陶株式會社

本社及工場　愛知県常滑市扇面新田　電（代）700
東京事務所　東京都中央区西八丁堀2—8　電㊺5261—2・5921

錆びない

岩住の

サッシ・ドアー

弊社製品の総てに

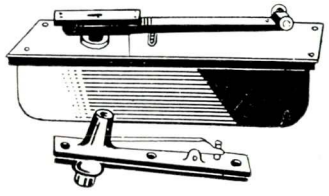
オートメーションに依る　ボンデライトを
錆止メ塗装は　焼付塗装を
実施致しまして　完全防錆を
期しています　是非御採用の程願上ます

株式会社 岩住鐵工所

大阪市西淀川区千舟東二丁目三一番地　電話 淀川 (47) 代表 5123・3000

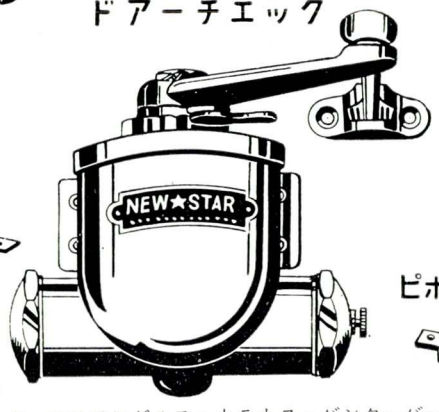
NEW★STAR

創業大正八年

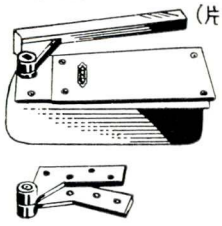


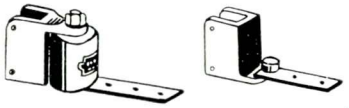
フロアーヒンヂ（両開キ）

ドアーチエック



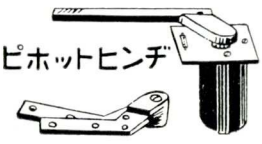
フロアーヒンヂ（片開キ）





ラバトリーヒンヂ

ピホットヒンヂ



輸出　本邦唯一

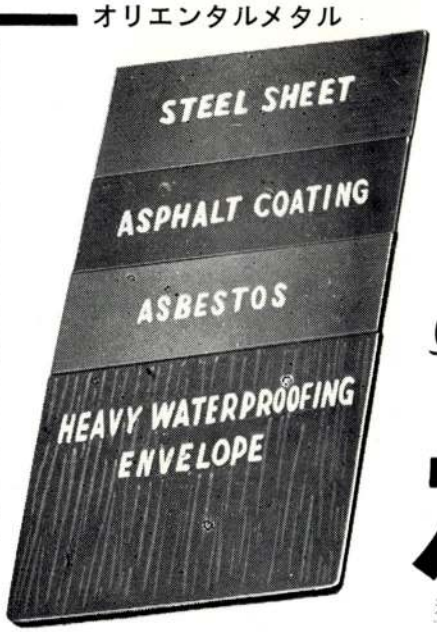
ニューヨーク・ロスアンゼルス・カラカス・バンクーバー・ロッテルダム・マニラ・シンガポール・香港等へ毎月輸出致しております。

日本ドアーチエック製造株式会社

取締役社長　出向井啓蔵

本社工場　布施市横沼町3丁目11番地　電話大阪(72)代表6666－9
東京支店　東京都千代田区神田錦町1丁目23　電話東京 (29) 1920・4920
福岡出張所　福岡市舟津町1番地　電話福岡 (4) 2372・3312
名古屋出張所　名古屋市中区下園町1丁目5番地　電話名古屋 (23) 7361

オリエンタルメタル



営業品目
特許　スーパーオリエンタルメタル製
特許　オリエンタルメタル製
屋根板・谷樋・軒樋・竪樋・呼樋
棟包・雨押類・ダクト並臭突類
特許　オリエンタル　スカイライト
特許　特殊屋根材「セラクタイト」
特許　オリエンタル・アスファルトブロック

製設計販施売工

asbestos protected metal

耐酸，耐アルカリ性被覆鋼板

オリエンタル メタル

着色カラー，不燃性，超耐酸被覆鋼鉄板

スーパーオリエンタルメタル

オリエンタルメタル製造株式会社

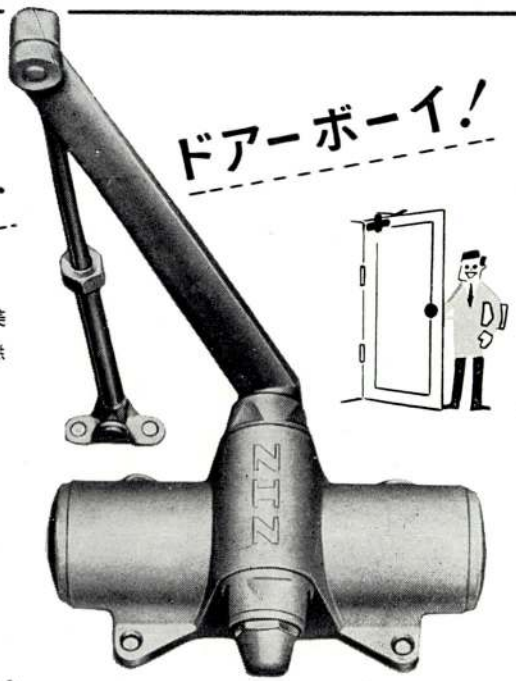
本社及工場	尼崎市長州字稲川新田44	TEL 大阪（48）4947～9・5920
東京支店及工場	埼玉県北足郡蕨町塚越	TEL 蕨（0889）3252～4
九州支店及工場	福岡県八幡市東浜町16の2	TEL（八幡）723・2512
東北支店及工場	福島県郡山市外富久山町久保田142	TEL（郡山）267
名古屋営業所	名古屋市熱田区三本松町2の35	TEL 名古屋（88）7674

NHN

あなたの忠実な…

型状優美
故障絶無

日・米・英・独、各国特許



ドアーボーイ！

ニッカナ
ドアーチエック

日本金具製作所

製造元　ダイハツ工業株式會社

ABCの建材

ABCコーキング

凡ゆる間隙から永久に漏水の心配を根絶する
永久に気密を保持する
廉価で耐久性のある コーキング剤

18リッター罐		8,500円（現場渡）
1cm×1cm×1m	材料費	48円
コーキングガン		3,000円（現場渡）

カラクリート

美しく，磨耗せず，滑らず，かつ耐水性に富んだ床材床，廊下，階段，ロビー，バルコニー，ガソリンスタンド等美しい色彩と耐磨耗性を必要とする場所や，防水力があるので戸外にも使用出来る。

価格　42kg袋入（6坪分）　現場渡｛緑 7,080円（坪当り￥1,180）／その他 5,880円（〃 ￥980）

フェロコン

工場，倉庫用コンクリート床仕上材コンクリート床の金属性硬化材で，フェロコンの施工によって床は恰も鋼板を張ったような効果をあげる。

価格　49kg袋入（7坪分）　現場渡｛色物 6,200円／ナチュラル 5,400円

コルキート

近代人の部屋には疲れをいやし，いらいらを取る壁材合成ゴムとコルクから製造されたコルクシートで落着いた上品な感覚で，老化せず水洗出来る

価格　坪当り　東京渡　2,200円　　寸法　3尺×6尺×0.7mm

ロビンスコンダクティブタイル

麻酔ガスの爆発を防止する手術室用電導ビニールタイル

- 常に一定の電導性を保証出来る
- 施工翌日から使用出来る
- 掃除、補修が容易である

K.K. ABC商会
東京都中央区八重洲5～5
TEL (28) 7687～8・2765～6・0760
大阪出張所
大阪市西区京町堀通1～18(日新ビル)
TEL (44) 3915・0500

教室の採光・色彩・通風について

渡辺久雄

1. 窓硝子はスリがよいか，透明がよいか

もう数年も前の話で恐縮であるが，アメリカ，コネチカット州の教育委員長がつぎのような話をしてくれた。照明，換気，気温，音響などの点で，教室の最もよい状態は，窓のない教室で実現できそうに思われたので，実験的につくってみた。照明は螢光灯で室の隅々まで十分に明るく，また陰の生じない照明学的には絶好の状態とすることができた。通風は人工換気で絶えず新鮮な空気を送ることにした。外部の騒音は完全に遮断され，教室はすこぶる静かで，そのうえ窓がないから，子供たちは外を見たり，聞き耳を立てたりすることもなく，もっぱら学習に心を向けられるはづであった。また当然，保温も経済的にすることが可能であった。

このように学習環境としては，窓のある教室よりも人工的にすぐれた状態にすることができたので，子供たちがどんな反応を示すか，学習能率が向上するかどうかを注目したのであったが，結果は意外に悪く，子供たちの不満は結局，窓のないためであるとわかったが，これは心理学的な問題であるから，学習環境には科学的な理論のほかに，心理学的要素も多分に考慮しなければならぬという，まことにもっともな話であったが，こういうことから教室の窓を透明にするか，あるいはスリのような拡散性のものにするかということに，ひとつの示唆があると思う。

スリ硝子の教室は，窓のない教室と似たり寄ったりである。スリ硝子にすれば，なるほど教室を外界から隔離するように見えるから，子供たちの注意力を散らさないようにできそうだ。しかし，エンゲルハルトの実験報告によれば，子供たちの学習への集中力を阻むものは，外界が見える見えないということと，ほとんど関係がない。たとえば教師のほうに顔を向けながら，心では何かほかのことを思い浮べただけでも，学習への注意力が損われるではないかというのである。とすれば，むしろ外界の見えるほうが気分転換に役立って，いわば目のレクリエーションとなってよいのではないか。スリ硝子の教室と透明硝子の教室が並んでいて，その外側の道路をスピーカーつきの宣伝車が通過したとする。スリ硝子の教室の子供たちは窓を通して聞えてくる声を，あれは一体何の宣伝であろうか。今朝通った街角の雑貨店が大売出しをしていたが，その宣伝に廻ってきたのだろうか，赤い自動車が四つ角に止まっていたのがあれだろうかと，見えない彼方に向ってそれからそれへと連想をかきたてる。その間，先生のしゃべっていることは上の空である。ところが，透明硝子の教室の子供たちは声が聞えてくると，ちょっと外を見るが，それが雑貨店の宣伝とわかると，大抵それなりに気にもとめずに教師のほうに向きなおる。大体そんなものだというのである。

また，われわれが汽車に乗って書物を読む場合，ときに窓外の景色に目を休めながら読むほうが，ブラインドを下して脇目もふらずに読むのよりも，気持よく読めることは誰しも経験するところであろう。図書館の窓なども同様といえる。

もっとも透明硝子があらゆる場合にスリ硝子に勝っているというのではない。実際は後述するように使い分けをするのがよいと思うが，外側が美しければ教室から見えるようにし，外側が汚ければスリ硝子にしなければならぬとすると，これは学校の全体計画にさかのぼる問題である。窓外の風景が学習のためのレクリエーションのためとすれば，なるだけ静かで美しいほうがよい。芝生，花壇，低い木立，噴水等はこういう点から申しぶんないが，交通頻繁な街路や，動きが激しくて騒がしい運動場に面するのは，なるべく避けたほうがよい。

ところで，こういうふうに考えてくると，校舎の配置計画に際しても慎重な考慮を要することがわかる。校舎の隣棟間隔はなるだけ広くして，中庭にアトラクチブな造園計画，ときにはそこを屋外教室として活用する。また運動場は教室から見えないように側面に配置するとか，また管理棟や木立などで遮ぎるようにする。

学校の設計にあたって，建築家は建物の外観にはなかなか気を配るようであるが，内から外を見る風景もこれに劣らず重要なものであることをよく認識して，プランニングに気を配ってほしいと思ってこの項を加えた。

2. ルーバーとガラスブロック

スリ硝子の窓は光線を乱反射するから，室の奥深くまで明るくなるが，透明硝子の窓だと，水平照度の照明曲線が窓際から急カーブに下る。つまり照明条件としてはスリに劣るわけである。

それで窓全部を透明にするのは考えもので，上半分を

スリ，下半分を透明とするか，上3分の2をスリ，下3分の1を透明とし，その境目の中鴨居のところに水平ルーバーをつけるのがよい。

ルーバーは日光を遮蔽するだけではなく，外光を効率的に室内に分散し，教室内のすべての机の位置からルーバーを通して天空光が入らないように，光の量および質を調節するものであるから，方位および視角によって割を定めねばならぬが，ときどき，ルーバーの影が黒板のあたりに縞模様をつくっているのを見かけることがある。またルーバーを外観の飾りだとしか思えないような取扱いかたをしているのも，たまに見かける。

窓全部をスリにしてルーバーをつけるのは，硝子にいつも暗いかげがさしていて効果が悪いようである。また窓全部を透明にして，中鴨居にルーバーをつけるときは，中鴨居から上の部分にヴネシアンブラインドや日除けカーテンなどを設けねばならぬ。

縦型ルーバーは，西日の日除け，目隠しといったことにはよいかも知れないが，教室より外が見えることが大切だという第一節の見地からいえば満足できない。そして環境的には格子戸の中の教室といった感じになりかねない。ルーバーは室内気流にも関係あるが，このことについては第7節で述べる。

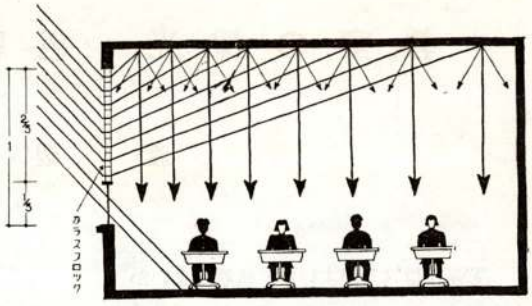
水平ルーバーは窓の外側につけるのが普通であるが，また内側につけることもできる。外側のを Snade，内側のを Baffle と称している。

硝子ブロックはアメリカの学校でさかんに使われていて，普通，窓上部3分の2ぐらいをブロックを積み，下部3分の1ぐらいを透明硝子として開閉できるようにしている。アメリカの学校は鉄骨煉瓦造が多いが，中鴨居に大きな⊔型鋼などを使い，その上にブロックを積んでいる。

硝子ブロックは教室の採光上きわめて都合よくできていて，偏光性の性質を持っているから，空からくる光を室内に透入する際，上方に向って強く屈折反射するから，天井が明るくなり，天井を白くしておくと，室全体が反射で一様に明るくなる。そのうえ直接に下方に入る光が比較的少ないために，窓の方を見上げても大して眩ゆくないのである。（**第1図**）

スリ硝子と比べて格段の相違であるから，日光を受ける側の教室にガラスブロックを用いると大変効果がある。また，これをうまく使うと天井高もいくぶん軽減でき，したがって建築費にも響いてくるということである。

硝子ブロックは恢め殺しであるから，開口面積が少なく熱も逃げないから，保温も経済的になるという利点もあるが，開口部分が小さいから換気の点に支障はないかという疑問があると思うが，暖房に人工換気を併用しているようであるし，かりに夏期の自然換気の場合のみを



第1図 硝子ブロックと照明の関係

考えても，第7節に述べるように風の入口としては，さしつかえないようである。

欧米では教室の採光ということは昔から重要視されてきた。それは，わが国の「螢の光，窓の雪」と対照的であった。ウイリヤム・カウデルの Space For Teaching によれば，1882年フランスの学校法令に，教室の採光面積は床面積の5分の1以上たるべきこと，また窓の前面の建物との距離は，その建物の高さの2倍以上とすべきこと，教室のあらゆる位置から空が見えなければならぬ，などの項があるという。また窓高と天井高および室の奥行にスタンダードがあって，教室の奥行は窓の高さの2倍を超えてはならない。窓の上端と天井面との距離は6吋以下にすべきこと，窓下端と床面との距離は3呎6吋とすべきこと，など規定され，条令にもなっていたようである。いま天井高を12呎とすると，有効窓高は11呎半となり，有効室幅は23呎となる。壁真にして24呎が限度ということになるが，このようにして，幅24呎，長さ30呎のスタンダードの教室が生れたのではないかと思う。そしてこれを輸入して，いわゆる4間に5間型の標準型の教室となったのではあるまいか。20坪の教室は50人収容にちょうど適当の大きさと思われているが，この形の起りは生徒数からきたものではなく，採光，反響，視野などの関係から次第にそうなっていったと思うのである。

わが国の学校は一般に片廊下式で，光線は廊下側からも入るから，天井高も12尺より減じて10尺にできる。欧米の学校は一般に中廊下式が多かったから，教室としては片面採光となるので，天井高を低くしようと思えばいろいろ工夫が要る。ガラスブロックもその一つである。また窓から奥に向って天井を低くして傾斜をつけ，窓から入った光が傾斜天井で反射して床に落ちるように考えたもの，また中廊下との境の壁の上部に外光を入れる高窓をつくり二面採光としたり，あるいは断面を工夫して三面採光としたり，螢光灯などの人工照明で補ったりして天井を低くしているところもある。それから平面計画で教室が二面採光になるよう，鋸型や凸型にしたのもある。

要するに，ルーバーも硝子ブロックも，従来の採光上のスタンダードを改善して，よりよき照明効果をねらうさまざまの新工夫の一環にほかならない。そしてまた次に述べる教室の色彩計画も，また第1節で述べた屋外環境も同じく教室照明の一環として考えるのである。

3. 照明の表わしかた

照明の表わしかたに照度と輝度があり，また色彩の明るさを表わす尺度に明度がある。大変まぎらわしいので，その関係を要点だけ述べてみよう。

照度とは，ある単位面積の受ける明るさを表わすもので，通例ルクスが単位である。アメリカでは呎燭である。教室の適正照度は300ルクス，製図室，裁縫室などは500ルクスといわれている。照度はまたなるべく均等照度を得るように計画せねばならぬ。

輝度とは，ある単位面積の発散する明るさを表わすもので，スリ硝子のごとく透過した面で乱反射して発散するものと，壁面のごとく照明を受けて発散するものとがある。輝度は方向によって値が変ってくる。輝度の単位はランベルトであるが，一般に，照明を受けた面の反射率に比例するので，反射率で表わすほうが便利である。たとえば，プラスター壁の反射率70%〜85%，黒板7%〜12%といったぐあいである。

明度とは，色相，彩度とともに色彩の三属性の一つで，マンセル記号では純白を10，純黒を0とし，その間を感覚的に十等分し，さらにその間を等分すると，灰色の段階ができるが，これを基準とし，この各々に等しい反射率を持つような各色相の明るさや濁りぐあいを定める尺度である。それで明度は見かけ上，輝度に比例するように見える。

教室照明は，視的環境から照度よりも輝度に重点をおかれるようになってきているが，したがって，この見地から色彩の面でも明度が最も大切な要素と考える。

4. 教室の自然照明

教室照明のよりどころは，従来は照度のみにたよりすぎていた感があった。たとえば最も暗いところの机の上でも100ルクス以上はなければならぬとか，どれだけ電灯をつければ適当なルクスが得られるかということなどが主な項目であった。照度はもとより，最も大きな要素に違いないが，これだけにたよると，いろいろ不つごうなことが生じる。たとえば，いま机上照度が300ルクスあるとする。これは，もちろん書物を読むのに十分な明るさである。しかしながら，もし前のほうに裸電球がぶら下がっておれば，目にちらついて読みづらくなるのは誰しも経験するところである。また家庭科教室で，黒い布に白い糸でミシンをかける場合，生徒たちは100ルクスもあれば満足するであろう。しかし黒い布に黒い糸でミシンをかける場合は，生徒たちは500ルクスも欲しいというであろう。このように単にルクスだけでは照明は解決しない。

また，夜，机に向かって書物を読む場合であるが，机の上にスタンドを置いて読むのと，天井照明として室全体を明るくして読むのとを比べると，明らかに読み疲れの違うのがわかる。この二つの場合，机上照度は同様の強さであるが，周囲を見渡した明るさが著しく違うのがわかる。スタンド照明では，本を読みながら，ふと目を壁のほうに向けると，そこは暗いから眼の瞳孔が拡大して，おのずから暗いところに調応するようになる。それから，また書物のほうに眼を移すと一瞬まぶしさを感じるが，また机上の明るさに調応するようになる。これを繰り返すと眼筋肉の伸縮を激しく促がして読書疲れを早めるわけである。これに対し，天井照明の場合は壁も相当明るいから，この作用は比較的少ない。したがってスタンドの場合よりも楽に本が読めるわけである。しかし，この場合でも，壁に黒いカーテンでも張りつめてあればスタンド照明と同様になる。

このように考えると，室内照明は照度だけではなく輝度もきわめて大切な要素であることがわかるであろう。今あげた例は夜間照明であったが，これを昼光照明におきかえても同様のことがいえる。

いま正面黒板（反射率10%）の周囲に白壁（反射率80%）がある場合，生徒たちは黒板を見るときに周囲の白い壁が眼にちらついて邪魔になるのである。この場合，黒板を緑色（反射率20%）に替え，バックに薄グリーンの艶消しペンキ（反射率60%）をかけると，視的環境はグッとよくなってくる。

ところで，こうすると，また一つ問題が生じてくる。それは黒板に白チョークで書いたのよりも，緑板に白チョークで書いたほうが識別度（Visibility）が落ちるということだ。ちょうど白い紙に黒い印刷がしてある本よりも，白い紙に灰色の字で書いてある本のほうが読みづらいのと同様である。黒板とバックの壁との間では輝度対比が少ないほうがよいが，黒板内では，反対に輝度対比がある程度大きくないと鮮明さが落ちるのである。これは教室内の視野と色彩調節に関係する。

5. 視　野

教室で，生徒机からの見える範囲すなわち視野を大別して次のごときものとする。

A. 焦点　（視角1度内外で，黒板上の一字から数字まで）

B. 中心視野　（見るべきものがある範囲，たとえば

黒板，掲示板，教壇上の教師の姿など，焦点視野を取り巻く部分）

C. **周囲視野**　（焦点を中心として視角60度の範囲）

D. **外囲視野**　（上下120度，左右160度の範囲，この中には窓の一部，天井の一部などが入る。）

視野は机の位置によって状況が異ってくるが，黒板が中心視野になることは変りない。

中心視野では，輝度対比が大きいほうがよい。

中心視野と近接部分の周囲視野との間は，対度対比が3～5程度とする。

中心視野と近接部分以外の周囲視野との間は，中心視野の輝度の10倍以下，5分の1以上とする。

中心視野と外囲視野との間は，中心視野の輝度の50倍以下，5分の1以上とする。

もちろん，以上は黒板が輝度の低いものであることを考慮したうえでの輝度計画であるが，視的環境が非常に改善されるという。

ところで，話はもとに戻るが，黒板を綠にすると周囲との関係は改善されるが，白チョークとの関係ではかえって悪くなる。そこで白チョークのかわりに黄色いチョークを用いると，はっきりするようになる。つまり識別度を色相対比で補うわけである。

6. 教室の色彩

教室の環境に，輝度が非常に重要な役割を持っていることがわかったが，色彩の明度が反射率のフアクターである以上，教室塗装においても明度をきわめて重要視しなければならぬ。

教室をどのように塗装すべきか。何といっても教室は黒板が中心であるから，黒板を基準として色彩を割り出さねばならぬ。ところが黒板の反射率は7％～12％程度であり，明度にして1～2ぐらいである。近接視野の輝度対比は3～5とするのが適当であるからバックの壁は反射率35～60％となり，明度にして6.5～8ということになるが，上方の壁を明るくして，下方の腰を暗くする。

また黒板の枠などのボーダー類は，なるべく両者の中間の明度と色相のものを選ぶほうがよい。両者よりも明るい枠は目につき過ぎてよくないようである。

外側に面した窓の建具，額縁，枠などは明るい色を用いるほうがよい。窓格子は実際よりも黒く見えがちである。これは窓面の輝度が大であるから，そのように感じるので，明るい色を塗ると，この感じは柔らげられる。また窓はなるべく一連として，間に壁をおかないようにする。いわゆる城のように，ぽつりぽつりと開けた窓は採光上効果が悪い。止むを得ないときは，この部分をできるだけ明るくする。

また窓下端は机の天端ぐらいにすべきで，床まで下げるのは宜しくないといわれる。これは地面の明るい反射が眼を射るからである。それゆえ，もし窓が低ければ，その部分の地面は芝生等で蔽う要がある。

廊下側に面した窓建具，額縁などは，いくぶん濃くしてもさしつかえない。

天井は一番明るくする。廻縁なども明るい色のほうがよい。天井面の反射率を高くすると，教室全体がたいへん明るくなるからである。暗い教室を明るくしたい場合，天井に螢光灯をつけるよりも，天井を白ペンキで塗り替えるほうが効果がある。天井は全体を明るくすべきで，梁の部分などを濃く塗りわけるのは教室としては感心しない。また壁の色より暗い色の天井は曇天のごとく重苦しいが，壁より明るい天井は晴天のように晴々しい気持を起させる。

天井を白くすると，黒板との間の輝度対比が大となりすぎはしないかという懸念があるかも知れぬが，生徒が正面黒板を見る場合，天井面が視線とだいたい平行しているので，眼の方向に対する輝度は小さくなるので，さしつかえない。

巾木は床に近く，汚れやすいところであるから暗い色とする。

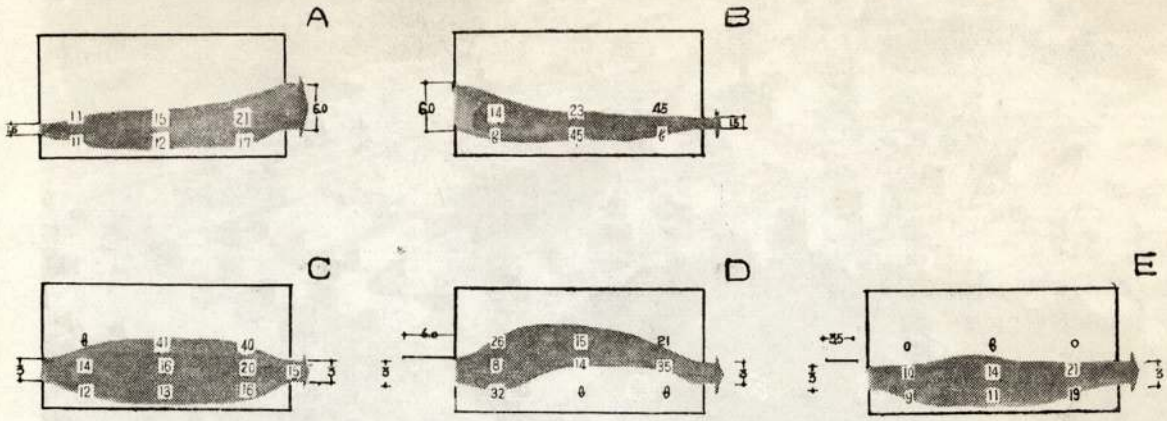
出入口の扉，わくなどは窓枠の色あるいは腰の色と同じでもよいが，また，ここから出て行けるのだということを一目でわかるように若干変えてもかまわない。ただし明度を著しく変えるのはよくない。

掲示板は，腰と壁の中間の明度のもの，または腰と同程度の明度のものがよい。色相は調和色，反対色，中性色といろいろあるが，彩度は高くないほうがよい。掲示板は展示物をはって効果あるようにすべきであるから，掲示板の色だけがあまり飛び出てはよくない。ただし廊下等の掲示板はアクセントをつけるために，彩度の高い原色を用いてもよい。ついでながら，掲示板が正面，側面，背面とある場合は，正面の掲示板はその授業に必要な掛図とか表とかを，そのつど掲げるものとし，側面掲示板は参考品の展示，背面のは成績品を主とし，一部告知板とする。したがって，頻繁に展示物を取りかえるもの，しばらく放置しておくもの等があるが，それぞれの目的によって質を定める。

側面や背面の壁は正面の壁よりも若干明度を高くするほうがよいと思う。

机の色は，反射率40％，明度6.5～7程度とする。机の色は書物よりも，いくぶん暗い程度のものがよいとされる。机の色が黒いと，ちょうど黒板とバックの白壁との間のように輝度対比が大きくなっていけない。

彩度は全体として，あまり高くないほうがよい。というのは原色よりも濁った色のほうが落着きやすいからである。最近，建物の一部に彩度の高い原色を塗ることが



第 2 図　窓と通風との関係

流行しており，たとえば扉などを真赤に塗ったりして，斬新性を誇示しようとしたものもあるが，少なくとも教室内では，こんなのは邪道であるといってさしつかえないと思う。

ともあれ，教室は色彩で美しく飾ろうと心がけて塗装するならば失敗することが多い。教室は美しくある前に，視的環境をよりよくするということに心がけるならば，美しさというものは自然ににじみ出てくるものである。

ウイリヤム・カウデルによれば，教室内の視的環境は，屋外の晴れやかな昼の環境を模すべきだという。

今われわれが，そのような地面に立って周囲を見渡すと，まず地面の芝生，花壇，遠くへ連なる路，水の流れ，少し向うの木立，森，人家，遠方の山々，その上の白い雲，青天井といったぐあいで，これを輝度の面からみると，下から上を向くにしたがって輝度が高くなってゆくのに気づく。同様に教室内も，床から腰，壁，天井と次第に反射率を高めてゆくというのである。

7. 窓と通風との関係

あたえられた紙面も尽きたので，窓と通風との関係については，要点だけ簡単に述べる。

普通，風の入口に当る窓の開口部が大きいほど風がたくさん入ると考えられているが，実験の結果によれば，むしろ風は出口の大きさに関係する。**第 2 図**は，私が教室の 8 分の 1 の模型をつくって通風実験したものの一部である。実験は深夜，電流の最も安定しているときを選んで行なった。送風は扇風機であるが，風洞を通して整流した。測定はアネモメーターを用いた。そして20回転に要する時間をストップウオッチで測った。図の室内の数字はその時間（秒）を示す。数字の小さいほど風が強いわけである。b は Breath でアネモメーターの羽が揺れる程度，0 は無風である。

A は 1 寸 5 分の高さの開口から，6 寸の高さの開口へ流れる風の動き，B はその反対に 6 寸の窓から 1 寸 5 分の窓に流れる風の動きである。通風状態は A の方が大分よいようである。

C，D，E は 3 寸高の開口から，同じく 3 寸高の開口へ流れる気流の動きであるが，風の入口の部分の状態を少し変えて測定したものの比較である。C は庇もルーバーもつけない場合の気流の型，D は 6 寸の庇をつけた場合の気流の型，E は 3 寸 5 分の ルーバーをつけたときの気流の型である。この三つを比べてみると大変面白いことが読みとれる。

教室内の通風は，主として夏期学習している子供たちに爽快感を与えることが大切であって，風の流線が頭上の上方を通れば，この感じは少なくなる。つまり微風は肌に感じるほうがよいのであるが，庇をつけると風が押されて下降すると一般に考えられており，またそのように説明した書物もある。しかし，カウデルのレポートによれば，庇によって気流は上昇している。まさに反対である。これは，おかしいと思って，模型をつくって何べんも試みてみたが，庇をつけると，やはり上昇するようだ。気流の動きの変化は微風計を移動すれば，すぐわかる。ところが庇のかわりにルーバーにすると気流は下降するようである。これは何故かというと，風の入口のところの壁が風圧を受けるとき，窓が下方にあるから，窓のあたりではルーバーの穴を通して下降気流を生じている。そこで，その影響を受けて，その合力の方向に室内に入った気流は進むと考えられる。ところが庇の場合は，下降気流は庇によって遮断せられ，上昇気流だけが残ると考えられるから，その合力の方向に向う傾向があるのではないかと考えられるのである。

一連の実験を通じて感じたことを簡単に述べると，

1. 窓は縦長窓よりも横長窓のほうがよい。
2. 通風上からは上げ下げ窓が最もよい。
3. 風の出口を十分大きくとること。
4. 長い庇はつけないほうがよい。
5. 水平ルーバーは通風の点からも効果がある。

（筆者　岡山県教育庁総務課課長補佐）

住宅団地の建設と学校施設について

簸　内　幸　雄



香里団地：写真中央右手寄りの公園の北側（上）が小学校である。

団地内では，鉄筋コンクリート造のスマートなアパート生活を営む居住者の子女達が，古びた木造校舎ですし詰の授業されているのは，現代の矛盾であるとしてすましてはおけない。

1. はじめに

住む人の側からいっても，住宅の住みよさはもちろん，日常生活，社会生活がスムースに行われるようなコミュニィティに住むことを切望するだろうし，それを計画し建設する側も，そのような環境を与えようと絶えず努力をつづけている。

これまでは住宅の建設に伴なって，公共施設はその必要性を認められながらも，住宅建設機関の手がとどかず実現しにくかったが，最近，大住宅団地の建設や，大規模な住宅地開発が次々と行なわれるようになって，公共施設の充実したコミュニィティの建設ということが慎重に考えられ，アパート居住者の集団の性格が検討されるとともに，これによって公共施設の建設も進められている。

しかし，住宅供給機関のみで与え得るようなものはともかく，地方公共団体である市町村によらなければ与えることのできない教育施設，すなわち小，中学校施設には，まだまだ多くの問題が残されている。

学校施設の不足，住宅建設と学校施設建設のタイミングのずれ，都市計画上の配慮の欠けた校区決定等々，それらはすべて，すし詰め教室や遠距離通学となって児童の上にシワ寄せられている。

このような問題をかかえたまま，住宅団地をどんどん建設することは，児童の教育上からいっても，社会的見地からみても香んばしいことではなく，住宅建設と同時に教育施設の問題を解決しておくことが肝要であり，また住宅経営の面からいっても，人々をひきつけるだけの教育施設およびその他の公共施設を充実しておく必要がある。

このように，住宅団地の建設と，小，中学校施設をどう対応させてゆけばよいかについて，私が公団住宅の建設に当って，これまでに経験してきたことをもとにして考えてみたい。

2. 都市の学校事情

現在，住宅団地の多くが建設されている大都市周辺および大都市周辺の都市で，文教施設，とくに小・中学校施設の充足しているところは皆無といってよいほどで，現状ですでに飽和状態で，収容余力なく，新しく住宅団地が建設されて児童数が急増しても，直ちにそれに応じて対処できるような市町村はほとんどない。

ひとたび住宅団地が建設されて，その周辺が住宅地として発展し始めると，急増する児童を収容するために，都市計画的な配慮もなしに，児童収容の面からのみ考えて便宜的に校区が変更され，遠距離通学をさせられたり，また交通のはげしい道路を横断して通学させられたりする。市町村に学校施設を増築できる財政的な裏付けができて，増築する場合も場当り的で，増築に次ぐ増築で運動場がなくなってしまったり，校舎のブロック・プランが極端に歪んだ形となっているところも少なくない。

これらの市町村は赤字再建団体がほとんどで，財政的な窮乏が著しく，一方，学校施設建設に対する国庫補助は，校舎の不足している現状に応じてつけられ，（国庫補

助の予算は毎年5月1日一ただし，集団住宅の建設によって5月2日以降9月30日迄に新たに小・中学校の校舎に不足を生じた場合は文部大臣の指定する日一に行われる文部省指定統計，学校基本調査によって不足に応じてつけられる。)また国庫補助獲得には政治的なかけひきも多いので，これにたよらなければならない市町村では，住宅建設にタイミングを合わせて学校施設を充足さすことは困難な状態である。

表1

年令別	0～5才	6～11才	12～14才	備考
全人口に対する%	12%	7.7%	2%	平均家族数 3.08人
1戸当り子女数	0.366	0.235	0.062	住宅規模 2寝室型 12～13坪

表2

種別		小学校児童率	中学校生徒率	備考
公団住宅	入居時	7～8%	2～3%	昭和33年3月現在の公団住宅居住者の入居申込時における世帯構成調査（註2）
	定着時	8～10	4～5	(推定)
公営住宅		10～12	5～6	昭和30年度公団委託研究「団地における共同施設の種類，規模及び経営についての研究」（建研）より
協会住宅		8～10	4～5	
一般住宅地	一般	16	7	
	都市	13～14		昭和24年文部省案として示された大都市における値

3. 住宅建設と学校施設

i) 就学児童率，就学生徒率

最近のアパート団地，ことに公団アパートの入居者の平均家族数は一般住宅地の場合と比較して少なく，したがって就学児童数および生徒数は非常に少ない。昭和31年から32年に入居した公団住宅居住者の申込み時における年令別分布（京阪神における賃貸住宅8,000戸の平均）は**表1**のごとくである。

入居時における小・中学校の児童数および生徒数は上述のように非常に少ないけれども，**図1**の子女年令別分布にみられるとおり，5才以下の子女数が年令の低下に伴なって急激に増えていること，入居者の世帯主年令が非常に若く，またほとんどの世帯は，将来2人の子供を持ちたいと希望(註1)していることから，児童，生徒数は入居後数年間は増加をつづけ，ある時期でピークとなり，その後減少して定着するのではないかと推定される（**図2**）。この間，アパート居住者はサラリーマン階層がほとんどで（90%），転勤等による移動が比較的多い（年平均5～6%）ため予測しにくいが，公団住宅と規模その他で類似している協会アパートを参考にすれば，だいたい児童率8～10%，生徒率4～5%程度で定着するのではないかと考えられる。

学校施設計画の基準になる就学児童率および生徒率を公団住宅入居者のものと，他の住宅との比較表を作ると**表2**のようになる。

ii) 住宅戸数と学校規模

住宅建設戸数と，それに応じて必要となる小学校施設の規模は**図3**に見られるとおりで，公団住宅の場合だと相当戸数の団地とならない限り，その団地のための小学校を新設する必要はなく，多くの場合，周辺地域とあわせて小学校を考えればよい。以下，公団住宅団地だけで小学校を必要とするような大団地と，それ以外の中・小団地のそれぞれの場合について考えてみる。

（イ）**大団地における場合**

現在，学校規模についてはクラス数が多く，学校規模が大きくなりすぎると学校運営がうまくゆかず，校舎のブロック・プランが歪んできたりし，また反対に小さく

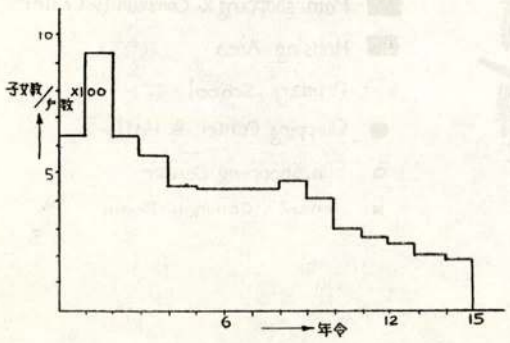


図1 子女年令別分布

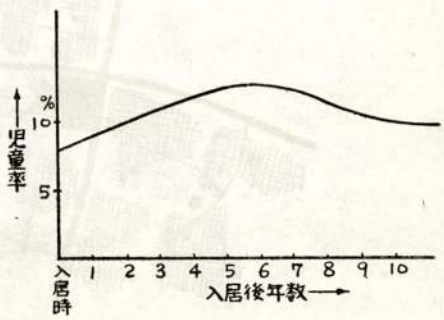


図2 児童数の変化

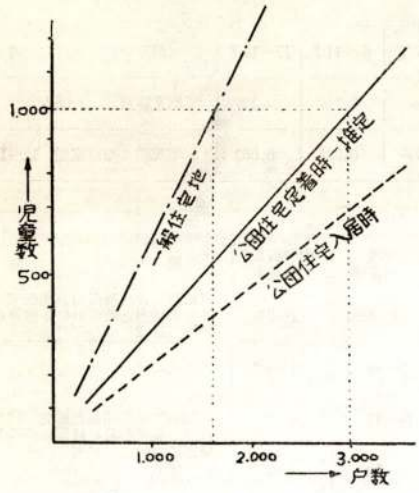


図3　住宅戸数と児童数

なりすぎると体育館や特別教室が設けられないとか，よい先生が集まらないという問題があり，現在の教育行政の下では財政的な含みもあって，小学校では20クラス程度が一応妥当とされている。

20クラス程度の学校が必要とされる住宅戸数は，公団住宅の場合だと約3,000戸である。このような大団地は大規模な住宅開発地における以外，用地取得の面から考えて実現し得る場合はごく少ない。

3,000戸の住宅団地を建設する場合は，少なくとも2～3年の建設期間が必要であり，さらに図2に見られるような過程を経て児童数の定着までに数年かかり，相当長期間にわたって過渡的な現象に対処せねばならず，このために学校施設は相当 flexible なものとして計画される必要がある。

一方，コミュニィティ構成から考えると，コミュニィティは近隣住区集団がコミュニィティ・センターを中心としてまとまって構成され，近隣住区は小学校を核とする日常生活圏と考えられるから，大規模な住宅地を開発してコミュニィティを建設する場合，その進め方として近隣住区を建設単位として考えるのが妥当であろう。

近隣住区集団の建設から始まって，コミュニィティの完成までには相当長期間の年月が必要とされるが，その建設途上においても先住者たちに安寧と秩序を与え豊かな日常生活を営み，かつ，スムースに社会生活を営むためには，文教施設，日常購売施設をもった近隣住区集団ができるだけ早くまとめられることが必要である。とすれば，近隣住区集団は小さくまとめられる方が望ましいし，またそれに応じて学校規模も小さく計画されることも望まれてくる。

集合住宅による大規模な住宅開発地の場合は，一般住宅地と比較して戸数密度は相当高くなるけれども，地域によっては相当広範囲になる場合もあり，校区を決定する際には交通のはげしい，または将来はげしくなるような幹線道路を横断しないという原則は守られるべきで，都市計画上どうしても避けられない場合は立体交叉等の措置を講じておく必要がある。

校区または通学時間からいっても，学校規模は小さい方が望ましいといえるし，日常のショッピングのことも考え合わせれば，近隣住区は小学校の設けられる範囲で小さくとる方がよいと考えられる。

学校の位置については児童および主婦の生活圏および動線は強いて一致さす必要はないから，とくにショッピング施設と学校とを結びつけて考える必要はない。校区の中央に位置することは望ましいが，土地の状況によっては，むしろ中央部を離れても，環境のよい，静かな日当りのよい敷地を選定すべきであろう。

さらに，人口が2～3万以上のコミュニィティにおける小学校では，コミュニィティの中央運動場と関連させて考えてゆきたい。ほとんどの小学校では，年に1～2回しか行なわないような運動場のために100米の直線コースをとったり，広い運動場を設けたりしているが，小学校における体育教科から考えても大運動場は必要なく，むしろ毎日の生活を考慮して，低学年の遊び場と高

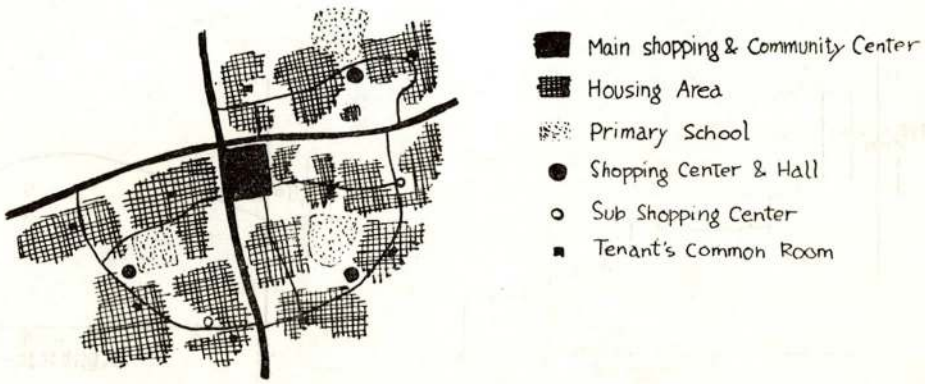


図4　Diagrammatic Plau of Neibonrhoods (Harlow)

学年の小運動場を分離して小学校のブロック・プランを考えるようにしたい。

学校敷地の選定，学校の造形等について，住宅開発地のマスター・プランの作成にあたって，当初に住宅開発当局と地方公共団体および学校設計者は慎重に話し合っておくことが肝要である。

（ロ）中・小規模団地の場合

公団住宅では1,700～1,800戸以下では，それだけで近隣住区を構成し，学校を新設することは不可能である。実際には住宅団地のほとんどは，この程度の規模のものであり，「都市の学校事情」の項で述べたように，いろいろな問題に悩まされている。とくに住宅建設と学校施設建設のタイミングを合わすため，団地の建設の際には早くから住宅建設機関と市町村の打合せおよび協力が必要であり，また校区の決定もおざなり的でなく，慎重な都市計画的な配慮が望まれる。

現在のように市町村が財政的に窮乏している場合には，政府の強力な文教政策がないかぎり根本的に解決できないにしても，住宅建設用地確保の際，あわせて学校用地をも確保し，分校計画から出発して徐々に学校施設を充実してゆく方法も考えられる。しかし住宅建設機関と教育行政機関が異なる機構に属している場合は実現困難で，よほどの協力がないかぎり不可能である。

大阪市内で，団地内に団地専用の学校としてだけでなく，その周辺の住宅地を含めて学校用地を確保し，学校を建設したものに市営古市団地がある（**図5**）。これは付近の小学校がすでに飽和点に達して収容力なく，またこの周辺地域に公営，公団および民間の住宅が次々と建てられ，住宅地化している地域で，このような事情を考え合わせて計画されたもので，住宅建設および学校建設ともに大阪市によって企画されたため，うまくいった例である。

iii）住宅建設と学校経営

住宅を建設することは市の発展のために望ましいことであるけれども，そのため学校施設の新増築，道路，上下水道等の都市施設の整備が必要で，現在の市町村の財

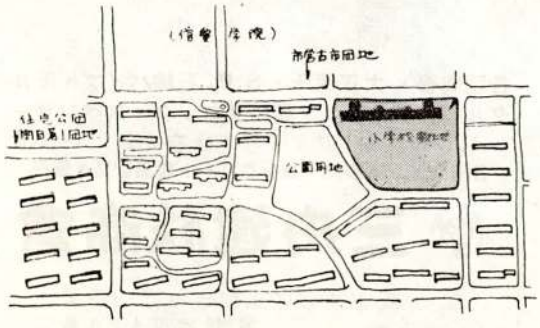
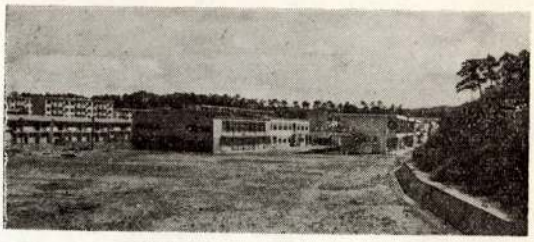


図5　大阪古市団地と小学校



香里団地における小学校

政から考えれば，かなりな負担になる。しかし住宅建設に伴う市税収入の増加，すなわち住民税，固定資産税の収入，さらにその他の間接的な税収入の増加が考えられ，集団住宅の戸数が相当数ある場合は，学校の新増築および経営は，そう困難なことではないように考えられる。石原氏の研究[註3]によれば，人口3万の住宅都市に対しては小学校3校，中学校2校の新設，経営が可能であろうと述べられている。

4．住宅公団による学校建設

i）住宅公団の建設する団地がだんだん大規模化してくるにつれ，児童急増に対する対策として，昭和31年以来，自治庁，大蔵省，文部省及び建設省の4者協定によって原則として1,000戸以上の集団住宅を建設する場合で，かつこの団地の所在する市町村の財政が窮乏している場合に，公団が関係地方公共団体の同意を得て学校施設の建設ができるようになっている。

公団が建設した学校施設は市町村に賃貸し，賃貸した日から3年以内に譲渡するもので，さらにこの場合，政府が市町村に対して学校施設買収に対する国庫補助金を交付し，また地方起債が許可される。

すでに公団大阪支所でも，千里山団地（1,061戸），中宮第1および第2団地（956戸），旭ケ丘団地（1,605戸），中百舌鳥団地（908戸），香里団地（約2,000戸）に対し住宅建設とタイミングをあわせて，それぞれ学校施設を新増築している。

ii）香里団地の学校計画

香里開発地区は，公団住宅および宅地分譲による一般住宅を主体とした大規模な住宅開発地で，総敷地面積150ha，想定人口22,000人，住宅戸数にして約5,000戸のコミュニィティである。

地区内の学校計画は小学校3校（うち1校は隣接する既存小学校の増改築），中学校1校でこの計画基礎は**表3**のとおりである。

すなわち小学校想定児童数2,470人に対して，18クラス900人の規模の小学校2校，および残余の児童に対して隣接する既存小学校の増築で処理し，中学校は1校新設し，さらに隣接する既存中学校が1校あるので，一部これに収容するという方針をとっている。

表 3

	計画戸数	小学校 1戸当り児童数	小学校 想定児童数	中学校 1戸当り生徒数	中学校 想定生徒数
公団住宅	3,400戸	0.45*	1,530人	0.15*	510人
公務員住宅	400	0.45	180	0.15	60
一般住宅地	1,200	0.63**	760	0.315**	250
計	5,000		2,470		820

* 当初公団住宅に対して想定された基準　** 文部省基準

この場合，前述した数値と少々のずれが見られるが，これは地区外周辺の発展状況をにらみ合わせて今後，検討修正してゆきたい。

すでに1,000戸余り入居し，また1,500戸が工事中で竣工間近かであるが，すでに小学校1校が新設された。鉄筋コンクリート造，2階建で，規模は**表4**のとおりである。

この小学校の敷地は，住宅公団により造成され，3年据置，7年償却で枚方市に譲渡され，また校舎および体育館は，同じく住宅公団によって建設され，枚方市に賃貸，3年以内に譲渡されるものである。

これは住宅公団で学校建設ができるように，措置もさることながら，枚方市の積極的な協力があって実現し得たものである。

5. おわりに

以上，住宅団地の建設とそれに伴なう学校施設について住宅建設，および都市計画面から考えてきたが，今後さらに，くわしい検討が必要であるとともに，とくに学校教育の面からの研究が必要である。

表 4

	規模	算出根拠	
敷地面積	15,000m²	日本建築規格（TES 1302,1303）により 900人×15m²/人＝13,500m²	
校舎	2,876.76m²	計	教育上必要な生徒1人当りの校舎面積の基準（昭和24年）より 適正基準面積
体育館	599.87	3,550.63m²	教室 1.0坪/人 900人×1.0＝900坪 ＝3,000m²
附属渡廊下	74		体育館 0.2坪/人 900人×0.2＝180坪 ＝600m²

（校舎は，普通教室18，特別教室4（図工，理科，音楽，図書）給食室，管理室である。）

本年度の政府重点政策のなかに学校施設の補充，整備が大きくうたわれて，すし詰め教室や2部授業の解消が本格的に取上げられている。学校施設の改善は，現在の地方公共団体の財政から考えて，独りその力のみでは解決不可能で，国家政策として推進されないかぎり実現の見通しはない。都市計画および住宅対策が大きい問題であればあるほど，これに歩調を合わせた学校対策が積極的に考えられなければならないし，住宅建設の伸展と，大規模な住宅地開発の気運が向いている今日，住宅建設と学校施設建設の協調がとくに望まれる。

（註 1）　学会論文報告集 No.60号 S.33.10月 京大細谷氏

（註 2）　昭和33年度公団委託研究「団地内中心施設と共同生活に関する研究」のうち「公団住宅入居者の世帯構成」京大細谷氏他5名

（註 3）　学会論文報告 No.60号 S.33.10月 東工大石原氏

（筆者　日本住宅公団大阪支所計画部）

特許　防火シヤッター全般
小俣式
電動式～箱型・ウオーム・スパー
手動式～自動・鎖
オートマチック
株式会社 小俣製作所大阪支店
（旧田中シヤッター）
大阪市北区若松町30　TEL ㊾9016
本社及工場・埼玉県与野町
東京事務所及工場・東京都北区田端町

各種陶管・大正便所・S.P.石綿パイプ・モルタル製敷ブロック・腰掛ブロック・スペンサー
セメント煉瓦・流司洗濯槽・塵芥箱・空気抜・ヒューム管
各種セメント製品・コンクリート製品製造・販売
三舟建材商會
大阪市住吉区上住吉町三一番地
電話 ㊲2420番

小学校の配置形式とその動向

大阪市大・鈴木研究室*

§1. まえがき

どこの地方都市へ行っても，どこの農村へ行っても，小学校の建物は一見してそれとわかる姿をしている。そして，その校庭に立てば，教員室の位置・便所の位置まで，おおよその見当がつく。このおどろくほどの画一性，しかも，これが前世紀の末から実に数十年間にわたって，さしたる進歩もなく相変らずの形をくり返し伝えているのは，それなりの理由があったに違いない。5間4間の教室，それをただ並べて片廊下で結ぶ建物，コの字型に運動場をとりまく配置。「このような慣習がなぜでき上ったか」「これが今日の教育に対し，どんな矛盾をはらんでいるか」「これを変えてゆく力はどこにあり，また何がこの発展をはばんでいるか」これが，われわれの研究課題である。

§2. 大阪近辺の小学校の配置形式

われわれの研究室では，大阪近辺13都市（大阪，堺，八尾，布施，守口，吹田，尼崎，豊中，池田，伊丹，西宮，芦屋，神戸）の小学校の配置形式について調査をしたので，これを中心に話をすすめよう。

1. 学校規模と校地面積　これらの都市の小学校を眺めて，まず気のつく点は（1）規模（クラス数）の大きいこと，（2）校地面積の小さいこと，であり，いずれも大都市の学校の特徴点である。われわれの調査は統計的数値を示すのが目的ではなかったから現状を正しくうつしてはいないが，参考までに全国の小学校とその規模の分布をくらべてみよう（図1）。

全国的には6クラス以下の学校，そこでは必然的に1教室内に2学年以上を混合する小規模校の存在が問題であり，これには教室も当然異なった形が要求されよう。一方，大都市では，むしろ30クラス，40クラス，ときには50クラスを超える過大校が問題だ。児童のつくる社会としては，あまりに大きすぎる。もはや建築計画の問題

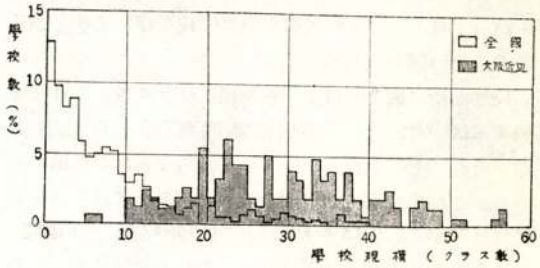


図1 学校規模（クラス数）の分布
（全国的には小規模校が，大都市では過大校が問題である）

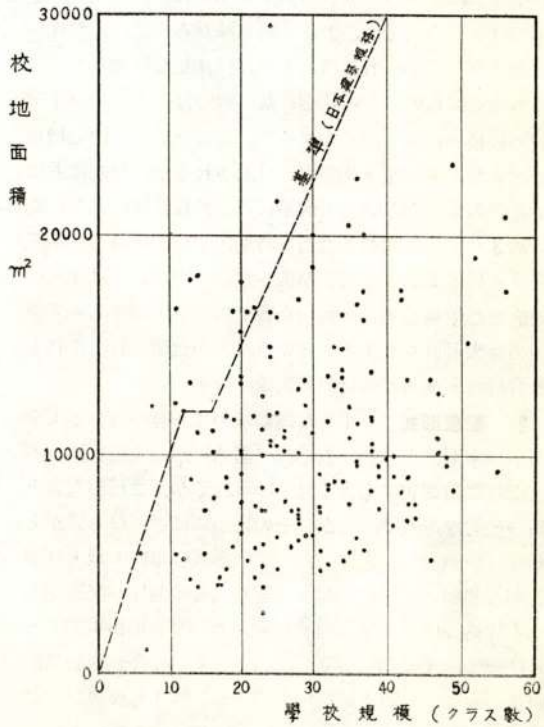


図2 学校規模（クラス数）と敷地面積との関係
（点はでたらめに分布している）

* 鈴木成文・池田有隣・内藤徹男
多胡 進・井本正子

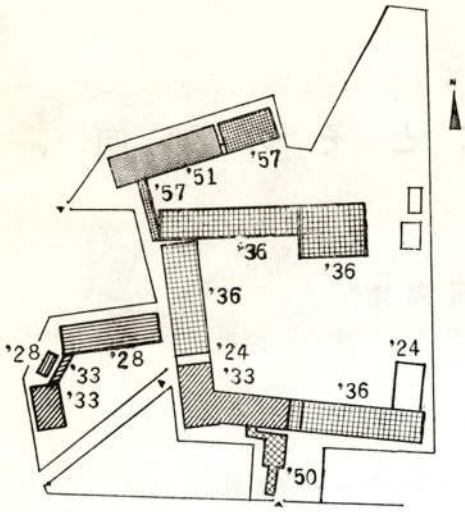


図 3　次々と建増して大きくなる（数字は建設年次）

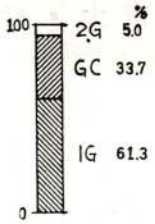


図 4　運動場の数

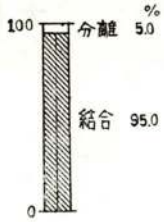


図 5　運動場と校舎との関係

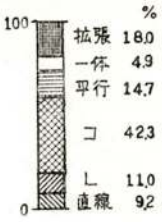


図 6　校舎の形

というよりも，いかに校区を分け学校を建てるかという教育行政の問題であろう。

校地面積（**図 2**）は，学校規模（クラス数）にほぼ比例するはづだ，というのが常識的な考えだろう。しかし，それにしても何とデタラメにばらまかれた数値だろうか。これを文部省の以前の基準（12クラス以下の小学校では20m²/人，13クラス以上では15m²/人，この**図 2**では 1 クラスを50人として算定した）と比べると，いちぢるしく下まわった値である。一昨年に改められた新しい基準では，さらに立派な数字が示されてはいるが，数字だけこしらえても，およそ無意味だろう。こんな狭い敷地に押しこめられては，とうてい満足な計画などできるものではない。この状態になったのは，おそらく小学校の規模の拡大と関係があろう。街の発展，人口の増加にともなって増築・増築がくり返されるが，校地はもはや拡張の余地がないので次第にみじめな状態におちいる（**図 3**）。この場合も適当な時期に学校を新設し校区を分ける措置を講ずる必要があるが，このためには住区に対応した学校を考え，街の発展に対する予測をもって学校の将来計画をたてる，ということが要請され，これも教育行政・都市計画行政の問題に帰する。

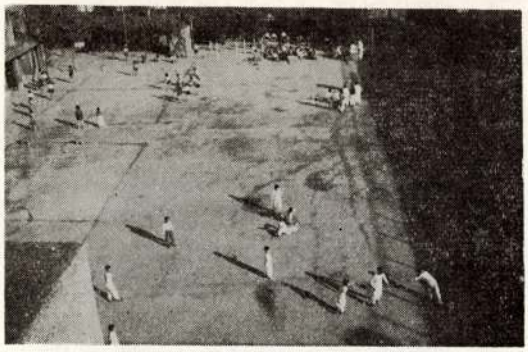
2．配置形式　小さな運動場のまわりを校舎がL字型やコ字型にとりかこむ形式（**図 A**）が，大阪市内はもとより周辺都市にもよく見かけられるが，これがもっとも一般的な形式かどうか，そのほかにはどんな形式があるか，を調べたいと思った。この形式は単にL型・コ型という建物の形だけでなく，運動場との関係が配置を大きく性格づけている。つまり，（1）運動場が1つあるだけで他に小運動場も庭もない。（2）校舎が運動場に直接に面し，これと結びついている。（3）校舎がコ型に伸びた形をしている。このように運動場の数，運動場と校舎との関係，校舎の形，という3つの面から見ると配置の性格が浮かび上がるだろう。これによって分類してみた。

（1）**運動場の数（図 4）**　1G型（運動場を1つしか持たぬ型）・GC型（運動場と中庭をもつ型）・2G型（運動場を2つもつ型）の3種に分類してみると，やはり1G型が多い。校地面積がとにかく小さいので中庭や第2の運動場をもつ余地がないということもいえるが，そればかりではない。広い運動場のまわりを長々と伸びたコ字型校舎でとりまく例（**図 B**）もある。

（2）**運動場と校舎との関係（図 5）**　結合型（校舎が運動場に面し互に結びついている型）と分離型（校舎と運動場とが離れている型）とに分類してみると，圧倒的に結合型の多いことがわかる。

（3）**校舎の形（図 6）**　直線型・L型・コ型・平行型・一体型・拡張型に分類してみる。クラス数の増加にともなって直線型からL型・コ型へと成長してゆくものと考えられ，この系列に属するものが過半数に達する。平行型は校舎を平行に並べ渡廊下でつなぐ，いわゆるフィンガープランと称される型で，周辺部の校地面積の豊かなところに見られる。昔からよくあった型で，戦後には文部省がさかんに推奨しモデルプランなどが作られたが，広い面積を要するためか数は多くない。一体型はコンパクトにまとめて建てられた型で，運動場は分離する。建設が一時に計画的に行なわれて初めてできる型なので数は少ない。これらの型から増築の結果，枝が出て複雑な形になったものを拡張型と名づけた。あまり不規則なプランはサンプルをとるとき除いたので，ここではさして多くないが，実際にはもっと多いと思われる。

このように通観すると，**1G結合直線型**からL型，コ型へと伸びる一連の型が大勢を占め，これがさらに進んで**GC結合拡張型**になる。また運動場もひろげて**2G結合コ型**とか**2G結合拡張型**になる例もある。すべて増築



せまい運動場に面しとり囲んで校舎がたつ。
(北中道小学校—2G 結合コ型)



ひろびろとした運動場をのんびりとコの字型にとりかこむ
(大仙小学校—1G 結合コ型)

につぐ増築の結果，自然にできる配置形式であるといえよう。一方これと異なった系列の型として指摘できるのがGC結合平行型とGC分離一体型とである。平行型は周辺部に，一体型は都心部にみられ，一方はひろがり，他方はまとまった型で性格は全く異るが，ともに何らかの計画性を感じさせる。意識的に作られた型とみることができよう。

§3. なぜ，このような型ができ上ったか

このような慣習化された形ができ上がったのには，それ相応の理由があるはづだ。われわれは，この問題にとりくんだばかりで，まだ推測の域を出ないが，考えられる点を指摘しよう。

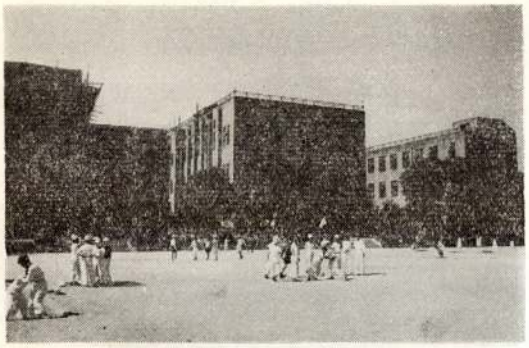
日本に初めて学制がしかれたのは1872年（明治5年）で，これ以後，日本人民は男女・身分の差なく義務教育がうけられるようになった。とはいうものの，天皇制をこしらえ上げた明治政府の権力がようやく固まった1880年の「教育令」，翌年の「小学校教員心得」によれば「教育の目的はもっぱら尊王愛国の志気を振起せしむるにあり」として，人々の能力をのばすというよりは忠君愛国の型のはめる教育へと進んだのである。文部官僚田中不二麿がその中心人物で，1873年に欧米留学から帰国し，以来，文部省の実権をにぎり，教育令の制定をはじめ日本の教育を過激国家主義・軍国主義に統一整備して行った。まず全国を大学区・中学区・小学区と段階的に細分して中央集権的に構成し，各中・小学区に一つづつの中学校・小学校を整備して行ったのである。このように一挙に大量の学校建設が，どのような指令で，またどのような設計で行なわれたかは興味のある問題であるが，最初の出発がすでに強く統制されたものであったことは注目すべきだ。国民皆兵にともなう青少年の体育向上の要請は，変化に富む庭よりは単なる運動場を必要としたろう。上からの与える知識の教育には，ただ黒板に向かって行儀よく並ぶ教室でさえあれば十分だったろう。また，ひとつの型にはめる道徳には，学校全体を校長の一望の下におくことが要求されたろう。こうした条件に支えられて1G結合型が形づくられたと考えるのは強引だろうか。この根本の理念が変らなかったから，いや，ますます拍車がかけられた以上，学校建築が通風や採光の工夫は見られても大筋では1945年まで何らの進歩が見られなかったのも，全く当然であった。

もうひとつ副次的な要因と考えられるものは，学校の規模拡大に対する明確な対策のなかったことだろう。どの学校を調べてみても，はじめに今日の規模の建物ができているのは稀で，10年・20年・30年と次第に大きくなり，次々と増築が行なわれている。児童数の増加に応じて教室数をふやすことのみが配置計画の主題となり，はじめに建てられた全体計画に沿って建設が行なわれるという様子が見られない。だから建物は同じ形の教室の連続であり，配置は次々に伸びてL型・コ型になってゆく。また仮りに全体計画があった場合でも，それを超えてさらに増築が進むに違いない。

配置形式に年代別の特色があるかどうか，これは，いま調べようとしている課題だが，推測ではこれという明確な形はなかったと思う。常に増築の過程にあるのが大部分の学校だったと思われるからだ。

§4. 今日の教育に対して，どんな矛盾をもっているか

1945年を境として日本の教育は大きく変った。単なる知識の集積でなく問題解決の力を得させる教育に，型にはまった服従的な人間でなく自主的に考え行動する人間を創る教育に変った。つまり理想とする人間像が変ったのだから，教育の世界における，まさに革命である。当然，昔ながらの学校建築との間に数々の矛盾をはらんでくるはづである。これを学習・遊び・運営・管理の諸面から調べてみたので，それを配置形式別に紹介しよう。



建物はコンパクトに建ち運動場は分離する
(真田山小学校—GL分離一体型)

1. 校庭について——1G型・GC型・2G型——

児童の生活を管理する上では，中庭や別の運動場のない 1G 型が最もやりやすいということは，常に聞くところである。また運動会のために広いまとまった運動場を要求する気持は強く，このため校地面積の乏しいときは 1G 型になりやすい。

しかし日常の生活はどうか。高学年と低学年の生活圏を分けるべきことが，どこの学校でも主張され，その境は 2 年と 3 年の間あたりがよいという。3 年生になると遊びも急に集団的・活動的になるが，これは児童心理学上でも裏づけされる。在来の 1G 型では，たとえ面積が広くても遊び場の分離はできない。GC 型・2G 型では，各々その中庭・小運動場が低学年教室とつながるとき，低学年用遊び場として使われて高低分離できる。中庭があっても，それが観賞用の庭園として作られているときは利用価値が低い。遊具（ブランコ，スベリ台，ジャングル，鉄棒など）は主に低学年および女子が使うが，1G 型では運動場の周囲に分散して配置され，低学年と結びつきにくい。GC型，2G 型では中庭，小運動場にまとめて設置できる。また学習の面でも，最近ますます重視される戸外教室や観察園などは 1G型，2G 型では設けにくく，運動場の周囲に作っても荒されやすいが，GC 型では中庭が利用できる。つまり運動場とは分離し教室と直結した庭が必要である。したがって，平坦な運動場は最小限にとどめ，できる限り低学年用の小運動場や種々の用途の庭を設ける努力をすべきである。

これらを実現するためには，前提として，まず適当な広さの敷地を確保すべきであり，少なくとも日本建築規格（13学級以上の小学校では児童 1 人あたり15m²）程度があれば，2 つの運動場と庭を設けることができよう。

なお高・低学年の分離では，たとえば香里や北大阪の開発のごとく居住者層の一定した地区などは，ほとんど全幼児が幼稚園へ行くことが予想されるので 5 才児と小

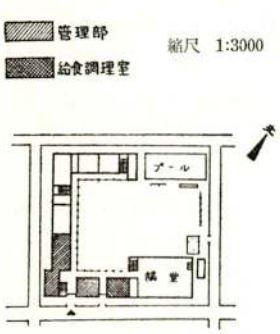


図 A 大阪・北・菅北小学校
(1G結合コ型)

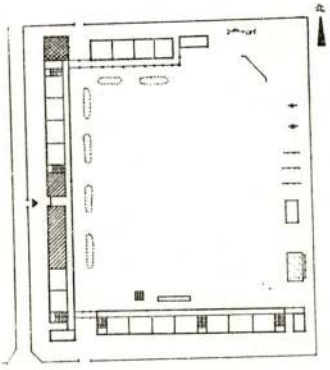


図 B 堺・大仙小学校
(1G結合コ型)

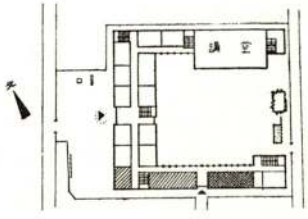


図 C 大阪・東成・北中道小学校
(2G結合コ型)

学校の1・2年を一団とし，3年以上と分ける，という案も考えられるが，学制の問題ともからむので，ここでは省略する。

2. 校庭と校舎との関係——結合型と分離型——

児童の生活の管理・緊急時の避難・朝礼後の移動・施設の管理などの点では結合型がやはり便利である。とくに学校全体を指導・管理する責任のある校長などには，この意見が強い。また休み時間には，なるべく戸外で遊ぶよう指導している例が多いが，この場合も結合型では出やすいが，分離型では距離的にも心理的にも抵抗がある。しかし一方，日常の学習の点では，結合型では運動場からの騒音によって教室の雰囲気が乱されやすく，したがって遊びや体育も制約され，遊具も校舎から離れた位置におかれやすい。その点，分離型では遊びも体育ものびのびとやることができる。

分離型での生活管理や移動のための難点は，職員室の位置や昇降口の位置にとくに留意することで解決できよう。従来の玄関わき，1階のよい場所を占める職員室はやや疑問で，2階でもよいから見通しの効く場所がよかろう。教室と遊び場との連絡も校庭の作り方によるので，運動場だけ（1G）でなく，変化のある庭を設けて，それを教室の附近に配置すればよく，必ずしも運動場そのものとの結合は必要としまい。

ただ現在では，校地面積の狭小と，こまぎれ増築の結果，やむを得ず結合型に陥りやすい。分離型をとるためには建設当初に全体計画をたてうる条件が与えられねばならない。

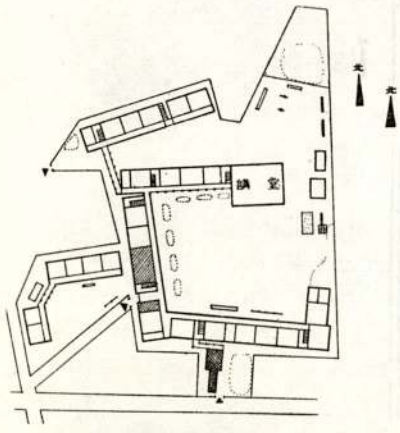
3. 校舎の形——直線型・L型・コ型・平行型・一体型・拡張型——

校舎の形のいかによって，もっとも規制されるのは，教室の配置，とくにその学年配置であろう。各学年ごとにまとめること，学年の順に配置すること，1年生を優遇し，また6年生を優遇すること，などの条件が要求されている。このためには，教室をあらかじめ，ここは何年用と決め，一学年は一団として，それに応じた設計をすべきであろう。しかし，学校規模の過大がこれを困難にしているし，そのうえ児童数の増加にともなう無計画的な膨脹は学年配置の固定化を妨げている。また毎年の児童数の変動（したがって年度により学年によってクラス数が変る）が，学年配置を不安定なものにしている。

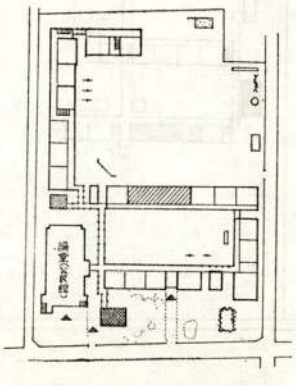
こういう条件に対して，直線型・L型・コ型の配置は学年順に端から並べて行くことができるので，一応無難な型だといえる。ただ学年毎のまとまりに欠けるし，また実際には1階の中央部のよいところを職員室などで断ち切られることが多い。さらに枝の伸びた拡張型では配置は当然乱れる。

一方，一体型はコンパクトに固まっているので，まとまりもつながりもよいが，1階や隅部に自然条件の悪い室ができやすい。平行型は1棟の教室数が1学年のクラス数と一致するときには，きわめて好ましいまとまりが得られる。しかし，年度によるクラス数の増減によって乱され，かえって悪い状態になることが，むしろ一般的である。したがって，学年ごとに分けて計画するという原理は，学校規模やその将来計画に対して高度の計画性のある場合に初めて可能になる，ということもいえよう。最近，英国や米国では，もう当り前になったクラスタープランやフインガープランも，このような計画性ある教育行政に支えられているのだろう。

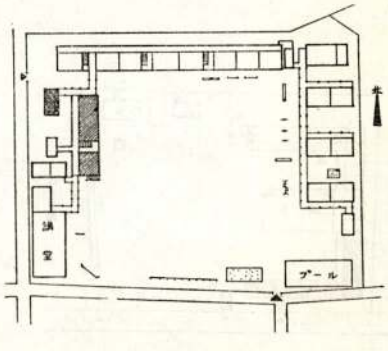
学年配置以外の点では，教室の自然条件は，L型・コ型・一体型・拡張型では方位や騒音などに難点が多く，平行型はその点もっともよいが，校地面積や通路面積を大きく必要とする。また戸外教室や遊び場とのつながりの点でも平行型はすぐれ，この場合とくに低学年は独立して直接庭へ出られるような形をとるべきであろう。



図D 大阪・住吉・住吉小学校本校
(GC結合拡張型)



図E 豊中・豊南小学校
(2G結合拡張型)



図F 豊中・原田小学校
(GC結合拡張型)

今日の多彩な教育形態を考えれば，片廊下の画一的な教室型そのものが，すでに時代おくれであり，これをぶちこわして新しいタイプを創って行くことが，われわれの務めだろう。

§5. 今後のみとおし

1945年以来，教育の方針，したがってその内容が大きく変ったことは事実である。しかし，それが建物に対する要求となり変化をおよぼし始めたのは，ようやくここ2，3年来である。

戦災の復興，6・3制実施にともなう校舎の大量需要は，間に合わせのバラック校舎でしのいでしまったし，またその時期は新教育の要求が現われるには早すぎた。新しいタイプの校舎が現われるのは，その建て替えが問題となるときであり，その時期がいまや始まろうとしている。そして新教育の経験も，またそれに対応する学校建築の研究も，ようやくある段階に達した。

しかし，これがなかなか円滑に進むとは思われない。まず教師自身がすべて新しい教育を身につけて登場しているとは，いい切れない。また，仮りにその理念は身につけても，それが建物に対する要求となって出てくることは，むつかしい。あまりに長い間，片廊下型の単純な配置がこの国で幅を効かせていたためだろうか，教師たちの要求も自由にその枠を離れて出ることが困難である。それにもかかわらず教室を中心にした学習指導の形態は大いに進歩したし，建築家の努力もその辺に見られる。

この号に載っている，すみれ小学校（設計：久米建築事務所）や，鉄骨造の豊里小学校（基本設計：大阪市建築局学校建設課）は，明らかに新しいタイプのものである。デザインそのものには批判も多かろうが，その計画の主題は個々の教室の独立性を高めることにおかれており，片廊下型を捨てたその意図は高く評価されてよい。これらの実例が，教師たちの頭も慣習的な型から解放してゆくだろう。

一方，学校全体の配置計画の面では，まだ，さほどはっきりした方向をもったものは現われていない。これは，おそらく新しい教育の理念が，教師対児童の個々の問題に多く集中され，学校全体の問題としては薄い，という現状に対応したものであかるも知れない。しかし，さらに大きな障害は教育行政のあり方の中に見られよう。

都市においては，学校規模の無制限の膨脹を防ぐことが大きな課題になっている。しかし，現実の建設は各校の毎年の不足数だけの教室を次の年度に増築することにとどまっており，その結果，毎年の相当量の建設はほとんどこまぎれ増築に使われている。大阪市でも年間約650教室の建設が何と110校にばらまかれるありさまで，根本的な計画や将来への見通しをたてることが，きわめて困難な状態に追いこまれている。

これは単に地方行政の問題でなく，勤務評定や道徳教育の問題にみられるように文部行政そのものが反動化している現在では，ますます見通しは暗い。あるいは皇太子結婚のお祭さわぎに見られるような国の政治全体の逆コースの中で，批判の精神をもった自由な教育をそだてることが，いかに困難な仕事であるかが察せられる。それと同時に，その精神にもとずく建物の創造を単なる建築家の徒労に終らせないためには，良心的建築家が良心的教師と組んで，新しい教育の意味するものを研究し，建築の可能性を追求し，着実な努力を積み上げて行くよりほかになかろう。（以上）

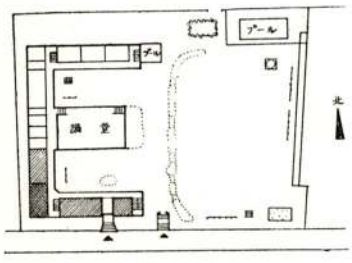


図 G 大阪・天王寺・真田山小学校
（BC分離一体型）

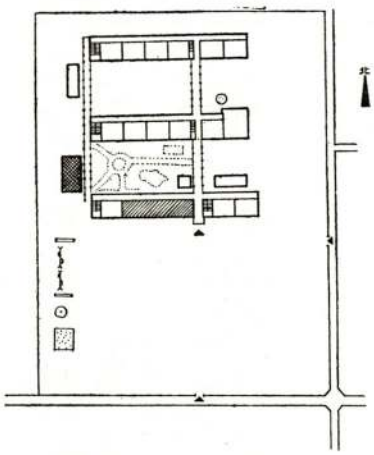


図 H 八尾・龍華小学校
（GC結合平行型）

戸締りは
これで安心

火も！
風も！



キレクスパルグシヤッター

（御一報　カタログ進呈、近くの店より係員参上します）

大阪　**東洋シヤッター株式会社**　東京

本社・工場　大阪市西淀川区佃町4－33
電話㊼2812～3・3116
東京支店　東京都大田区新井宿5－547
電話㊻2947
名古屋支店　名古屋市中区正木町2－27
電話㉜0388
京都支店　京都市左京区東大路三条上ル東門前町
電話⑦3581
神戸支店　神戸市生田区加納町4－1
電話葺合②8843

マルエス印

床の色彩調節は

ビニエスタイル

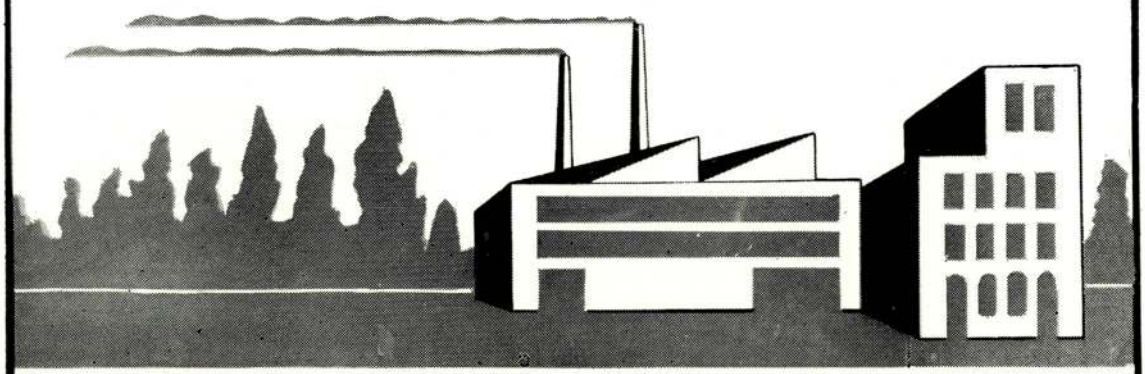
エスタイル

屋根材

ルーフィング

完全な防水工事をするためには

マルエス印石綿ウエルドルーフィング
マルエス印石綿エアーフリーフエルト
マルエス印石綿ノーコルーフィング（特許31408）
マルエス印ガラス網状ルーフィング



日新工業株式會社大阪支店

大阪市西区新町北通一丁目四〇番地　電話(53) 5281 5282 5283

モスクワのテレビ塔

エヌ・ニキーチン

（「モスクワの建築と建設」誌　1958年8月号より要訳）

テレビを遠距離まで放送するためには，アンテナ用の非常に高い塔が必要である。高さ 500m にアンテナを置けば，120km の距離まで判然とした映像が放送できる。このようなテレビ塔をモスクワに建てることが決定した。

諸外国では高い塔は，一般に鉄骨で格子状のマスト形式の構造で作られているが，モスクワでも当初はパイプで格子状に組み立てた塔を作る予定であった。

しかし技術的には，この形式によらなければ塔が建たないわけでもないので，若干の他の構造案も提出された。その結果，鉄筋コンクリートで作られた支柱でやろうということに決った。

ただ，普通の鉄筋コンクリート造で計画しては今までの塔と競争できない。建築家でもある発起人デー・ブウルディヌィとエリ・パタラフィは，プレストレスを入れた鉄筋コンクリートの塔を提案した。そしてプレストレスの大きさが塔の構造を可能ならしめる指数であることもわかった。

塔の柱に亀裂の発生を避けるためには，少しでも引張応力を許してはならない。鉄筋コンクリートにあらかじめ圧縮力を存在させることによって建物の強さは改良できるし，セメントの節約を可能にし，高強度の鋼線も利用できることは知られている。そこで専門家の鑑定と他の方法との比較対照の後，プレストレスを入れた鉄筋コンクリート造の塔の実現が決定した。

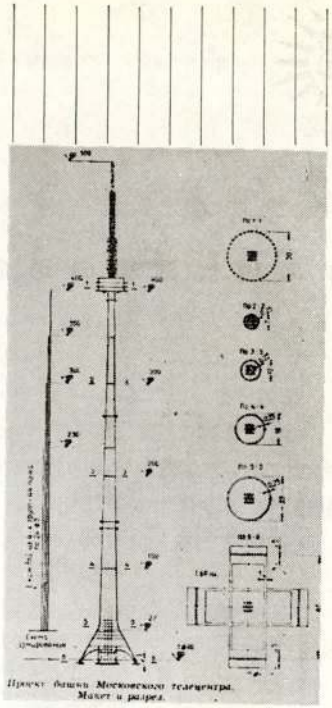
この塔身の内部には，一度に56人乗れるエレベーターが4台予定されており，高速度で運転されるため客を塔の上まで80秒で送り届けることができる。

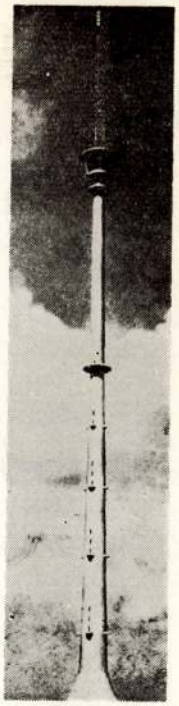
また高さ400～416m のところに約1000人収容できる展望台を設立する予定で，そこからはモスクワとその近郊の素晴らしいパノラマが眺められる。そして高さ 400m のところには，また簡単なレストランも作らねばならないだろう。なお，塔の見物客から徴収する料金で数年間のうちに塔の費用は回収する見込みである。

この塔は台風時には撓みが 4m にも達するが，普通程度の風でも上部では巾 20～30cm で揺れるだろう。この鉄筋コンクリート造の塔は12～13秒の大きな振動周期を持つから，塔の頂上の一端部から一端まで揺れるのに 6 秒かかる。この程度の周期だと人はおそらく塔の振動を感じないであろう。

今まで世界の人々に愛されてきた鉄骨造の塔の前にこの塔が実現したが，この塔は放送に関係する技術の部屋を柱身内部に設立することも可能である。

建築家がこのような塔を建てようとした意欲は尊いものである。塔の風格は塔の中にある緊張と，不要な飾り





や付加物を何もつけないことによって，表現力に富んだ自由なものを見せてくれる。

塔の柱身は厚さ 25cm の剛壁からなっており，直径は上部で 7m，下部で 20m，基礎の通径は65m である。プレストレスは壁とは別に柱の内側に配置した鋼線によって与えており，この鋼線を固定するために，塔の上部（高さ400，350，300，230m）に水平材が必要である。これらの鋼線はすべて下部では柱の拡がった部分の上面の屋根で固定される。すなわち下部では約 4000 本の鋼線に 9000 トン近くの引張力がかけられる。

引張力を与えられた鋼線を，そのまま保護せずに 1～2 年間放置しておけば，その期間にコンクリートの収縮が終り，基礎コンクリートの移動変形等も止み，そして鋼線に与えた引張力にも若干の弛みが出てくる。そこで改めて鋼線を締め直してモルタルを被せて養生すれば，今までの塔のように手入れを怠れば傷がつき，悪くすれば破壊するようなものと違って，恒久的に信用のできる建築が完成する。これは，この塔の重要な特性の一つである。

塔の建設に当っては，コンクリート量は基礎で4000m³ 柱部分で 2000m³ といわれているが，円錐形のコンクリート管を作るように反覆使用可能の型枠で建てる予定であり，支柱の工期は約 1 ヵ年で建築と設備の据付けその他一切の工期は 2 年である。

この高さ 500m におよぶ P.S コンクリートの塔の建設は建築家や建設技術に従事する人たちに対して大きな興味を提出することになるであろう。

（日建設計工務KK　**青柳司** 訳）

投稿歓迎

かいいんの声

「会員の声」欄にどしどし御投稿下さい。自由な討論の場として御利用下さい。内容は自由。

本誌4月号の座談会

「日本の現代建築の形成過程をめぐって」を読んで

青山正義

私達が現在関西においてもっとも期待する良心的な建築家達によってもたれたこの座談会に，次の点を欲深くも注文したい。

1．私はこの座談会を読んで最初に感じたことは，日本の近代建築の形成過程とは，やはり形成とはいえないような不確実な歴史的発展を経てきたものではないかということである。

何故そうなのか？　という疑問に対してこの座談会では，個々の現象としては話し合われてはいても，体系的に答えてはくれない。本来日本の近代建築が，明治の資本主義革命以来一度でも主体的に行動したことがあったかどうか。また資本主義社会においては建築とは運命的にそのようなものなのかどうか。

この点について，もっと充分討論して欲しかったと思う。そして，この討論の裡で私達は現在の日本の正しい方向を，ある程度感知し得たのでないかと思う。

2．現在の建築の様式や技術が，人間性を基盤とすべきだという説は本質的には肯定し得るが，この人間性の把握のしかたに問題があると思う。もし人間的という言葉を抽象的にか，また象徴的に何等かの形で造型化すべきだと考える人がいたら，非常な間違いを冒すこととなる。とくに人間的とか，ヒューマニズムとかいう言葉に魅力を感ずる人達の多い日本では，建築における人間性の問題は充分明確にしておく必要があると思う。

もしもこの言葉が人間の生活的な希望や感情のある部分の表現にすりかえられたとすると，これはむしろ建築の発展にとっては，マイナスとなるのではないか。社会的発展の過程から建築における人間性の問題が，どのように考えらるべきか，ぜひ，もう少し討論していただきたかった。そしてこのことによっていまなお建築家のテーマーとならない日本の大部分の大衆の建築（住宅）もどのように考えるべきか解明されたであろう。

3．建築の発展が現象的には建築家という個人を通してもたらされたということに，私は異論を持たないが，これはあくまで現象的にということである。したがって建築家と社会の関係，明治以来日本の建築家が経てきた歴史的発展過程をもっと充分知りたかったと思う。

4．最後に現在の建築家の目標が「デラックス」か，「アッといわす」ことにあるという発言は正鵠であり，また面白いと思う。そしてまた手本が米国にあるということも肯定し得ることである。

しかし現在の日本の建築がそのような情況の中で創造されているとしても，その造型的正しさにおいて，またそのはなばなしさにおいて私達は驚歎する。日本の建築もようやく世界的になったのではないか，と考える。

これは逆に，戦争という断層を余儀なくされ，過去の模倣が一応反省の機会を得，血肉化したためではないだろうか。そして終戦になって，日本にもたらされた民主主義が過去からの自由な解放によって曲りなりにも，独創的に始動しだしたためではないのか。

これらの疑問について，もう少し日本の社会組織との関連において，解答を与えて貰いたかった。新しい建築家のイメージもこの解答の出し方によって一つの重要な志向を暗示し得たのではないかと残念に思う。

以上思いつくままに，この座談会に対する勝手な注文を出したが，この座談会は私にとって近頃にめずらしく，大きな興味と，そして考えさせるものを与えてくれた。できれば，今後も一つの限定したテーマを会員より募集して，このような良心的グループにより発展的な，読みがいのある討論会を企画していただくことを希望する。　(34.4.21)

(筆者　京都調達事務所)

――貴重な御意見ありがとうございました。できるだけ貴意にそえるよう努めたいと思います。――編集――

彰国社新刊重版案内

新刊 **建設生産の歩み〔上〕**
建築文庫・103
建築経済セミナー編　一般事項・行政・工事・作品を時代を追って一望の基に収めた好著
B6変形　230頁　上製　定価¥ 350　〒40

医院
建築写真文庫・67
彰国社編　医院の新築改装にすぐに役立つ具体的な写真図集として利用価値の高いもの。
B6判80頁総アート上製　定価¥ 300　〒30

重版 **建築施工(I)**
建築学大系・24
建築学大系編集委員会編　施工計画と施工方法各論に分かれ、大林組の永井久雄氏の執筆
A5判518頁特製函入　定価¥ 1,300　〒130

百貨店・商店・ホテル・レストラン
建築学大系・31
建築学大系編集委員会編　塩川旭，吉阪隆正二階堂辰彦，滝浦潤，福永満八，中村登一。
A5判482頁特製函入　定価¥ 1,210　〒130

一般詳細篇(1)
現代建築の詳細・I
中善寺登喜次著　同一縮尺で，メートル寸法を記入したすぐに活用できるデータ・ブック
A4判　98頁　上製函入　定価¥ 900　〒90

特種詳細篇
現代建築の詳細・III
中善寺登喜次著　本篇には，書棚・戸棚・厨房・浴室・便所などを収めた実務家必携の書
A4判　98頁　上製函入　定価¥ 900　〒90

茶室(2)
建築写真文庫・34
彰国社編　わが国伝統建築のうち民間に普及した茶室建築を，写真によって紹介したもの
B6判88頁総アート上製　定価¥ 300　〒30

洋風喫茶店(3)
建築写真文庫・58
彰国社編　新しいデザインの洋風喫茶店を収録紹介した，すぐに役立つ具体的な写真図集
B6判88頁総アート上製　定価¥ 300　〒30

中欧篇
世界の現代住宅・2
小池新二・浜口隆一・阿部公正共編　オランダ・西独・スイスなどの代表的な住宅作品集
A4横判94頁総アート　定価¥1,000　〒100

1級建築士試験問題全集
監修：建設省住宅局建築指導課　編集：日本建築士会連合会　1級建築士問題の集大成版
A5判　364頁　上製　定価¥ 350　〒40

日本の住宅
太田博太郎著　女子専門学校の教材として，具体的に要領よくまとめられたすぐれた手引
B6判　140頁　上製　定価¥ 200　〒20

医院病院建築図集
大沢源之助著　中小病院，診療所の設計図説を主眼として，すぐに活用できるように編集
B5判　78頁　上製　定価¥ 250　〒30

東京都千代田区平河町2-11　電(33)営業-0293・2851　編集-1745・4523　振替東京173401

昭和34年度常設委員会委員氏名

4月8日の理事会において，下記のとおり昭和34年度常設委員会，委員委嘱を決定しましたので，ここに御氏名を掲載いたします。（50音順・敬称略）

事業委員会

◎見学・講演・映画・展示・懇親会などの事業の企画および実施

井上　滉　（大阪建築事務所）
岩崎甚太郎　（大林組）
岩本　尚三　（大阪市建築局）
岡本　弘　（浅沼組）
尾亀清四郎　（三晃商会）
加藤　毅夫　（近畿電通局）
木村　博巳　（大阪郵政局）
駒　日出男　（大阪市立大学）
坂内　幾男　（坂内建築事務所）
佐久間　宏　（大成建設大阪支店）
清水　民雄　（清水建設大阪支店）
鈴木　洋也　（東畑建築事務所）
内藤　一真　（大阪府建築部）
中村　信夫　（大阪市交通局）
平田作太郎　（平田タイル）
松村　慶三　（倉敷レイヨン）
政岡　基次　（松村組）
村上　秀夫　（住宅公団大阪支所）
森田　孝雄　（大阪鉄道管理局）
八十島健二　（竹中工務店）
矢野　豊作　（藤木工務店）
山瀬　暁平　（三機工業大阪支店）
山本　茂　（大日本土木大阪支店）
山本　義樹　（銭高組）
若林　季雄　（鹿島建設大阪支店）
奥島　正一　（阪大）
諫早　信夫　（公団）
銭高　輝之　（銭高組）
竹中　錬一　（竹中工務店）
佐藤　太　（近畿電気）
知見　義夫　（斉藤省三商店）
青木　友一　（東洋洋瓦）
佐々木米太郎　（京都市住宅営繕）
白石　博三　（京工芸繊維大）
川上　貢　（京都大）
日置興一郎　（大阪市大）
島田　勝次　（神戸大）
伊藤　克三　（大阪市大）
喜多村義雄　（別子建設）
橋本　良介　（大林組）
高橋　誠義　（大林組）
笹川　季男　（大成建設）
村尾　栄　（竹中工務店）
木村　康彦　（清水建設）
佐々木　保　（東畑建築事務所）
富家　宏泰　（富家建築設計事務所）
木村　喬夫　（大阪建築事務所）
室井　豊　（日建設計工務）
松本　宇一　（大阪市学校建設）
山田　勝成　（兵庫県庁営繕課）
森　堅　（大阪府指導課）
片山　光生　（近畿地建）
泉　資一郎　（兵庫県庁）
越智　隆晴　（兵庫県教育委員会）
恩田　一則　（大阪市消防局）
大津　敏晴　（大阪府建政課）
海上　静一　（海上事務所）
小林　得志　（小林事務所）
駒　敬三　（駒事務所）
竹内　博文　（大阪市建築課）
恒岡　俊行　（大阪府指導課）
七尾　健三　（銭高組）
西島　勇　（大阪市建築課）
福田　勇雄　（大林組）
真宮　透　（大阪府指導課）
前田　善介　（前田組）
森　忠一　（村野森建築事務所）
森川喜代之助　（森川建築事務所）
山田　忠顕　（大阪市計画課）
山下　暢雄　（大成建設）
吉村　卯　（府土木部計画課）

編集委員会　（順不同）

◎会誌「建築と社会」の企画編集

塚本　猛次　（日建設計工務）
深尾　実郎　（府住宅建設）

法規委員会

◎建築に関する法規の研究ならびに普及

石川　俊一　（大阪府指導課）
上田　光雄　（大阪市大）

住宅委員会　（順不同）

◎住宅に関する研究ならびにこれが改善についての一般啓蒙

近藤　春海　（日本住宅公団）
片山　金市　（仝　上）
前田　勇　（府住宅建設課）
渡辺　禎已　（市住宅建設課）
光安　義光　（兵庫県営繕課）
西嶋徳太郎　（大阪建築事務所）
石中　達夫　（仝　上）
吉村　康雄　（竹中工務店設計部）
足立　孝　（大阪大学工学部）
楢崎　正也　（仝　上）
扇田　信　（奈良女子大住居）

天井・間仕切には軽量鉄骨を・軽量鉄骨は日進式を御採用下さい・
耐震・耐火・軽量・堅牢
防錆完全・中空防音
合理的工法・責任施工
株式会社　奥村重兵衛商店
大阪市北区木幡町五六番地
電話北㉞四一三一～四

杭
株式会社　武智工務所
取締役社長　福留並喜
大阪市東区瓦町3ノ11(井池筋)旭洋ビル3階
電話㉖3606・4089

住田　昌二　(京大工学部)
鈴木　成文　(市大工学部)
下河内信子　(市大家政学部)
蜷川　智造　(大阪装飾KK)

出版委員会

◎建築に関する出版物の刊行

伊藤　幸一　(清水建設)
大井弘治郎　(日建設計工務)
北山二十三　(竹中工務店)
小泉　勝也　(大成建設)
斎藤　四郎　(内外木材工業)
後川　春雄　(大阪建築事務所)
高橋　慶夫　(大阪建築事務所)
竹内　孝　(近畿日本鉄道)
谷口　尚武　(大林組)
西島　勇　(市建築課)

災害委員会

◎建築に関する構造・地震・風・水・火・工事現場の災害の調査研究をなし，災害の予防対策について普及宣伝をおこなう。

伊木　周作　(近畿地建営繕部)
石崎　潑雄　(京都大)
乾　亮三　(今宮工高)
斧出　正隆　(府建築部)
貝戸　俊一　(市建築局)
小泉　昇　(竹中工務店)
越田　正勝　(市建築局)
陶浪　貞彦　(清水建設大阪支店)
竹内　博文　(市建築局)
寺沢　一夫　(大林組)
中島　政清　(大阪鉄道管理局)
中村　綱　(損害保険料率算定会)
長田　正雄　(大阪建築事務所)

馬場　善雄　(大阪大)
増本研太郎　(神戸市建設局)
宮川　達郎　(日建設計工務)
椋代　仁朗　(神戸大)
山肩　邦男　(京工芸繊維大)

教育委員会

◎建築教育についての調査研究ならびに講座などの企画実施

相沢喜久太郎　(大阪建設業協会)
岩下　久哉　(鹿島建設大阪支店)
宇治村　樸　(府建築部)
奥島　正一　(大阪大)
奥山清治郎　(都島工高)
田沢　昭一　(今宮工高)
寺岡　真　(府建政課)
中原　茂　(近畿地方建設局)
西村　忠二　(鍵仲建設)
彦谷　邦一　(彦谷建築事務所)
藤本　憲次　(藤本組)
本間　金吉　(大阪郵政局)
増田幸次郎　(市建築局)
山本　末男　(大末組)
吉田　勇　(清水建設大阪支店)

建材審査委員会

◎一般建築資材とくに新材料の審査をして良否を認定し斯界の向上発達を図ることに努める

伊藤　幸一　(清水建設)
置塩　章　(置塩事務所)
奥島　正一　(大阪大)
岡本　弘　(浅沼組)
香取　礼三　(東畑事務所)
北山二十三　(竹中工務店)
小泉　勝也　(大成建設)
榊　弘美　(日建設計工務)
後川　春雄　(大阪建築事務所)
谷口　尚武　(大林組)
竹内　成夫　(府営繕課)
竹内　孝　(近畿日本鉄道)
地引　友次　(文部省工事々務所)
布施　忠司　(大阪市大)
福知　秀夫　(市交通局)
政岡　基次　(松村組)
森　忠一　(村野森事務所)
元木　貞次　(呉羽紡績)
矢野　豊作　(藤木工務店)
若木望太郎　(倉敷紡績)

特許第一五一三六号

＝特許＝
氣光式通風器　製造販売
開閉式レヂスター



カタログ進呈

大阪市西区江戸堀上通1の5
田辺工業株式会社
電話土佐堀㊹7437—9

建築技術者の照合

建築技術者の採用，就職とも，職安ではほとんど駄目で，先輩や知人に依頼しますが，これはその範囲が狭いので急な間には合いません。それで私は社会奉仕としてこれら双方の照会を，就職希望者は**無料**，採用者側からは郵券・紙代・印刷費などの実費を頂戴して照会することにしましたからご利用下さい。

就職希望者は履歴書と希望条件を郵送下されば，履歴書から氏名を切抜いたものを10枚ほどタイプ印刷しておき採用者側へ郵送しますので，採用決定まで氏名は発表せず極秘に取扱いますから，転職希望者でも利用できます。採用者側は希望条件と待遇条件（例えば永久・臨時，或は一現場だけなど）をご通知下さればよい次第です。なお夜間，自宅で**アルバイト**と研究を兼ねた構造設計の仕事があります。希望者はご通知下さい。

泉大津市助松708　建築士長田 TEL 1105
大阪連絡所　TEL ㊺ 919 長田

会　　合　　（3月分）

定時評議員会

24日　1時――2時半　於会館集会室
出席者　評議員出席22名，委任状38名，計60名
　　尾崎会長，東畑副会長，諫早理事
議　事（1）評議員会議長，副議長互選の件
　　（2）日本建築協会細則一部変更の件
　　（3）昭和34年度収支予算審議の件
　　（4）副会長1名，理事16名選任の件
　　（5）役員重任承認の件
　　（6）常務理事重任承認の件

評議員（技術部門）懇談会

19日　12時――2時　於会館会議室
出席者　滝本前副議長外9名
　次年度評議員会副議長および技術部門選出理事の候補者推せんに関して懇談

理　事　会

11日　3時――5時半　於会館会議室
出席者　尾崎会長，東畑副会長外10理事
議　事（1）定時評議員会開催の件
　　（2）日本建築協会細則一部変更の件
　　（3）昭和34年度収支予算案審議の件
　　（4）受表彰候補者推せん委員会設定の件
　　（5）会館借入金一部返還に関する件
　　（6）次年度理事会え申送り事項の件
　　（7）その他
　　（イ）一級建築士試験委員推せんの件
　　（ロ）会館張り出し看板の件
　　（8）入退会者承認の件
　　（9）報告事項

理事予算打合会

2日　6時――8時半　於会館会議室
出席者　塚本，奥島，岩崎，高橋各理事
　昭和34年度の収支予算に関して協議

教育委員会

4日　3時――5時　於会館会議室
出席者　奥島委員長外6委員
議　事（1）本年度事業に関する報告
　　（2）次年度委員の推せんに関して

事業委員会

9日　6時――7時　於会館集会室
出席者　岩崎，尾亀正副委員長外9委員
議　事（1）4月，5月の事業企画について
　　（2）次年度委員会えの申送り事項について
　　（3）次年度委員の推せんについて

災害委員会

11日　5時半――7時　於会館会議室
出席者　馬場委員長外10名
議　事（1）次年度委員会えの申し送り事項について
　　（2）次年度委員の推せんについて

編集委員会

14日　4時――6時半　於会館会議室
出席者　塚本委員長外7委員
議　事（1）4月「様式・デザイン」特集号経過報告
　　（2）5月「学校建築」特集号経過報告
　　（3）6月「都市計画」特集号経過報告
　　（4）7月「青年建築家」特集号企画
　　（5）次年度委員の推せんについて



（6）明治，大正時代の建物の資料整備について
（7）「建築と社会」の寄贈交換について

法規委員会

27日　3時――5時　於会館会議室
出席者　恒岡委員長外4委員
議　事（1）建築基準法の改正について経過並びに主なる改正点についての報告
（2）次年度委員の推せんについて

説　明　会

最近の基礎工法と新しい建材説明会

25日　1時半――5時　於大阪建設会館
参会者　約80名

1．経済的ペデスタル基礎工法について
昭和基礎工業K.K.取締役大阪支店長
中田　義人氏

1．ダイケン・インシュレーション・ボード
ダイケン・S2S ハード・ボードについて
大建ウオールボード工業K.K.岡山工場
清原　郁夫氏

1．コンポーザ工法による土質安定について
（オート・トーキ・スライド・天然色を映写）
不動建設株式会社常務取締役
溝江　昇氏

午　餐　会

創立記念日午餐会

30日　11時半――2時　於大阪建設会館
参会者　45名

恒例により名誉会員を招待して開催。下記の映画を観賞し，会食後に講演を聴く。
映画「新時代の建築」アメリカ文化センター提供
講演　昭和34年度の事業と予算について
大阪府建築部長　宮脇　晴美氏
日本住宅公団大阪支所次長　諫早　信夫氏
住宅金融公庫大阪支所次長　竹内佐平治氏

工場見学会

東洋リノリューム伊丹工場見学会

20日　1時――5時　参加者　70名

見　学　会

大阪三井ビル見学会

6日　1時半――4時　参加者　230名
建築学会支部，大阪府建築士会と共催

大阪東映会館見学会

18日　1時半――4時　参加者　280名
建築学会支部，大阪府建築士会と共催

日本生命保険相互会社南館見学会

28日　1時半――3時　参加者　65名

「福正宗」伏見工場（伏見の酒蔵）見学会

28日　1時――5時　参加者　55名

後援した会

1．名　称　新建材展示会
1．主　催　株式会社関西原木市場
大阪木材センター協同組合
1．場　所　大阪木材センター
1．期　間　3月16日――4月15日
1．展示品　新建材の内「壁面と床」用材料



社団法人 日本建材協会 3 月分会報

（関西建材協会改）

会館建設懇談会　4日　天心楼
青木副会長外各理事出席
分科委員　金光，村石，笠原，田村，鈴木，室谷，後川各氏，大項協議

展示委員会　10日
新規入れ替へ，中の間展示ケース価格表示委員増など協議

建築講習と説明会　14日　11時～5時　於岡山産業会館
岡山士会と共催，足立博士「デザインと建材」，



講演中の徳永博士

徳永博士「今年の経済見通し」　講演。
建材部，三和，積水，田島応用，能率風呂，松下，参加者約120名。

福岡展示場委員会　6日　正午～3時　於九電地下サロン
山本委員長外，各委員出席，出品会費改正，PR 事業企画等協議。本部より大和外，職員列席。

映写と講演会　19日　2時～5時　於会館4階
大阪建築高橋専務アルゼンチン外，元木氏メキシコ，マニラについて風景と工事状況 16 mm 並説明会約30名

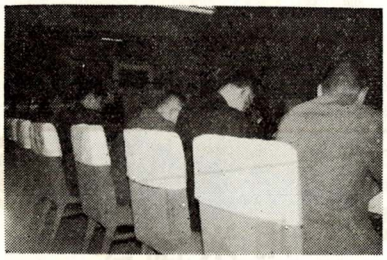
理事会　23日　3時～5.30時　於会館4階
青木副会長外19名出，34年収支予算，会名改正，定款改正，総会，建築協会理事推薦，入退会，時報問題協議

評議員会　26日　3時～4時　於会館4階
横田議長以下出，34年度予算審議決定

会館分科委員会　26日　4時～7時　於会館3階
青木，大和外出席。土地，建坪，経費，所要部室等協議

日　誌

3日　全会員に東京展示場進出反対声名書第一信発す。



7日福岡九電ビル地下にて委員会開く

5日　大和常務理事，養丈雇，福岡展示場委員会出席西下，6日委員会列し，7日広島にて青盛氏外地元有志と広島展示場開設協議，8日朝帰会。

10日　東京展示場大阪分室反対意見の事第2回ハガキを以って全員に通知発す。

10日～15日　岡山天満屋にて第7回建築展開催本会後援本会々員30余社50余小間出品した。

23日　本日より約3カ月を以ってアルバイトとして中本善太郎君を臨時雇とす。積水化学工業KK 野田忠昭氏渡米歓送，室谷理事長，金光，村石理事，大和常務理事会食。彼地展示場視察報告を托す。

27日　室谷理事長，金光理事，大和常務理事，三名午後長堀橋安田レールKK訪問，土地検分す。

30日　松江市飯塚鴻池所長来訪，同地展示場問題につき懇談。

会　員　動　静

◎電話増設

KK小林武雄商店　㊼8348
耐酸化学KK　㉞4957～8

◎本会登録社名変更

クリンタイルKKは佐渡島金属KK建材部に変更

◎事務所移転

KK日本セメント防水剤製造所大阪連絡所は東区船越町2—31（船越ビル）電話㊾7056
旭化工KK大阪営業所は西区靱中通1—109電話㊹1419
有田タイルKK大阪事務所は西区北堀江御池通1—8大京ビル電話㊺5885—9
竹林塗装工業KKは北区葉屋町76電話㉞6431～3

◎電話変更

KK淀川製鋼所は㉕代0351～5，6191～7，6371～3に変更
KK新興建材工業所は㊺5756～9に変更
塩見電気KKは㉞7551～6に変更

◎本会理事　大島応用化学工業KK専務取締役田中政二氏はこのほど取締役社長に就任されました。

会　名　変　更

4月13日の通常総会において社団法人関西建材協会を社団法人日本建材協会に変更いたしました。

新　入　会　員　紹　介

社名・代表者	取扱品	住所	電話	紹介者
三井金属工業KK　大阪支店 取締役支店長　小野潔	パーライト・研削砥石・ダイカスト合金	大阪市北区中之島3の5 （三井ビル）	㊹ 3731 3751	新興建材

大阪展示場　大阪市東区北浜3丁目　近畿建築会館1階と地階　展示小間 100余あり。
福岡展示場　福岡市万行寺前町14（博多駅より5分　松下ビル横入る櫛田神社正門通）　電②1225～6　出品62社
休祭日除き　9～5時　どなたでも御自由に御立寄り御覧下さい，御用は常駐係員へ御命じ下さい。
広島展示場　広島市鉄砲町……今夏開設目標で進捗中。






万葉すだれ

多くの利点を持つ竹製カーテン!

株式会社 ライト製作所

大阪市城東区野江東3 TEL㉝代1751~4
東京・横浜・和歌山・広島

カタログ贈呈

田中式 スカイライト

スチールサッシュ
スチールシャッター

オペレーター
スチールドアー

ベンチレーター

田中工業㈱大阪出張所

設計施工

大阪出張所 兵庫県尼崎市南竹谷町2ノ89 電話 ㊽0545
本社 東京都墨田区吾嬬町東4ノ122 電話 城東㊽0870・0970
錦糸工場 東京都墨田区錦糸町1ノ25 電話本所㊾0790・5133
小倉工場 小倉市赤坂上の宿37 電話小倉0653・2833
川崎出張所 神奈川県川崎市東渡田3ノ43 電話 川崎②4540
札幌出張所 北海道札幌市北三条東7ノ4 電話 札幌③0515
盛岡出張所 岩手県盛岡市木伏179 電話 盛岡2554
名古屋代理店 名古屋市西区西菊井町2ノ12岡田建材店 電話 西㊾0121

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事

専業大店

株式会社 久保商店

大阪市北区真砂町5番地 電話大阪(34)207~8・4836~7

電気工事設計施工
電気冷蔵庫・電気洗濯機
修理販売

工藤電気株式会社

大阪市北区野崎町八〇
電話・大阪㊱2891—5番
工場　大阪市西淀川区御幣島東一丁目二〇
電話　淀川㊼3477・3478
営業所　東京・名古屋・神戸・岡山・広島

各種電気工事設計施工

淺海電気株式会社

取締役社長　浅海正雄

大阪市東区北浜二丁目六九
電話　北浜㉓5273—5・5451—2
営業所　東京・札幌・沖縄・福岡

電気工事
設計・施工

朝陽電気株式会社

取締役社長　山本博三

本社　大阪市北区中之島三丁目三　朝日ビル7階
電話　大阪局㉓9531（大代表）
営業所　大阪市西区土佐堀通り四丁目十一番地
電話　大阪局㊹5201番(代表)～3
出張所　京都市中京区壬生桧町20
電話　㉞3481

電気工事全般設計施工

中央電気工業株式会社

取締役社長　今村　騰

本社　大阪市北区梅ケ枝町二五番地
電話　大阪㉞8131代表～4　㊱7263
営業所　東京・新宮・御坊

電気工事設計施工
三菱電機・冷凍機工事特約店

株式会社　野上工業所

取締役社長　野上清二郎

本社　大阪市東区北浜三丁目四七　電話北浜㉓770～3
支店　福岡市上東町十五　電話東③5010
支店　松阪市本町　電話2480～2
出張所　東京・名古屋・神戸・直方・田川・大分・四日市

電気工事設計施工

株式会社　**ヤマト電気商会**

取締役社長　山本龍太郎

本社　大阪市北区西堀川町15番地
電話　大阪㉞代3056
東京営業所　東京都中央区銀座東8丁目4番地
全国燃料会館607号室　電話東京㊾7464
出張所　名古屋・四日市・福山・福岡

電気工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長　嘉納傳三

本社　大阪市大淀区浦江北2丁目51
電話㊺5148・6460・6646
分室　大阪市北区絹笠町50（堂ビル3階）
電話㊱3862・1141
支店　東京都千代田区飯田町2—15（飯田橋ビル4階）電話㉝8520・8527～9
出張所　名古屋・光

電気工事全般設計施工

株式会社　**三興社**

取締役社長　坪井大（タケシ）

本社　大阪市北区絹笠町50番地（堂ビル703号室）
電話　大阪㊱2138代表・5018
支店　東京都中央区日本橋箱崎町三丁目二番地
電話　兜町㊼1478・1479・1470番
出張所　大阪堺・名古屋・下関

電気工事設計施工

江東電気株式会社

取締役社長　猪飼幸次郎

本社　大阪市生野区勝山通9丁目72
電話大阪㊸代表4035　㊹3515
支社　東京都新宿区淀橋533
電話　淀橋㊲6203
出張所　金沢・名古屋・高知・広島

電気設備工事・設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長　中本正明

本社　大阪市城東区野江東之町三丁目一五
電話　大阪㉝5143・5373
機器工場　大阪市城東区野江西之町三丁目一一三
資材倉庫　電話　大阪㉝2193・2134

暖・冷房・空気温湿度調整装置

設　計　施　工

高砂熱学工業株式会社大阪支店

大阪市北区中ノ島3丁目3番地（朝日ビル7階）
電　話　大　阪　㉓　7　6　4　1（大　代）
本　社　東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地

空気調和装置、各種冷凍機
設　計・製　作・施　工

東洋キヤリア工業株式会社
大　阪　支　店

大阪市北区堂島船大工町五三番地（毎日大阪会館内）
電　話　大　阪　㉞　局　8　3　5　6（代表）
本　社　東京都中央区日本橋兜町三丁目二四番地
支　店　東　京・名古屋　出張所　九　州
工　場　東京都足立区下沼田町360番地

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工

株式会社 **大阪城口研究所**

代表取締役　城　口　庸　平

大阪市北区高垣町一・電話大阪㊲7575～7
京都市東山区大和大路大仏前・電話京都⑥4945～6
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸④5892

電気・暖冷房・水道・衛生設備
設　計　施　工

株式会社 **大阪電気商会**
会社 **大阪暖房商会**

取締役社長　菅　谷　三　郎

本　店　大阪市西区江戸堀南通一丁目三七番地
電　話　大　阪　㊹　代　表　{5231番 / 8231番}
支　店　東　京・名　古　屋
出張所　京都・神戸・岡山・高松・広島・福岡
熊本・札幌・仙台・新潟・金沢・福井

水道・衛生・煖冷房・其他管工事
設　計　並　施　工
特許ＹＭ式ルーフドレイン製造販売
（旧斎藤久孝事務所）

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市南区順慶町通一丁目四四番地
電話大阪㉖代表4496～8・4993～4番
本　店　東京都千代田区丸ノ内2ノ8仲12号館5号
電　話　28　局　6505～8番
金沢営業所　金沢市高岡町三五　電話金沢本局②2074
福井出張所　福井市城之橋下町一〇　電話　福井2436
高松出張所　高　松　市　二　番　丁　九　電話　高松5195

創　業　暖冷房・換気・空気調和
大正二年　病院諸機械・給排水・衛生

株式会社 **斎藤省三商店**

東　京　店　東京駅前丸ビル6階676区
電話和田倉⑳3761・3762・3763・3764
大　阪　店　大阪市西区土佐堀通大同ビル714号
電話土佐堀㊹1568・1569・2594
札　幌　店　札幌・北四・西四（札幌駅前）
電話　札幌　②　0010・0956　③　4661
名古屋店　名古屋市中区南大津通一丁目千代田ビル522号　電話　中局㉔1766

暖房・冷房・衛生・水道・電気・厨房・築炉
鋼製建具・軽量間仕切・工事設計施工
電縫鋼管・荷役機械・製造販売

三機工業大阪支店

大阪市東区高麗橋三丁目壱番地・電話代表26局　2951 3076

本社　東京都千代田区有楽町壱丁目十番地
支店・出張所　名古屋・福岡・札幌・広島
工　場　川崎・鶴見・中津・六郷

暖房・冷房・水道・衛生工業設備
設　計　施　工

須賀工業株式会社

大阪市西区土佐堀通1丁目14番地
電　話　㊹　代　表　5171番
東京支店　東京都港区芝田村町6丁目　電話㊸代表7121
名古屋支店　名古屋市中区材木町1丁目　電話㉓代表7856
京都支店　京都市下京区烏丸通松原下ル電話⑤1989・2255
神戸支店　神戸市生田区北長狭通2丁目　電話③代表5101
福岡支店　福岡市千代栄町　電話②代表4735

給水・排水・衛生設備・暖房設備
汚水浄化装置・都市廃物処理装置

株式会社

西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津南通二丁目五一番地
電　話　福　島　㊺　3　4　1　5（代）
東京事務所　東京都港区西芝浦三丁目一番地
電　話　三　田　㊺　5281（代）

空気調和装置・設計施工

株式会社 **建　材　社**

大　阪　支　店

大阪市北区中ノ島二丁目（新朝日ビル5階）
電話北浜㉓6041（代）
本社及東京支店　東京都中央区八重洲三丁目七
営　業　所　名古屋市中区西万町二丁目一

暖冷房・水道・衛生設備
設計施工
山田工業株式会社
取締役社長　山田文次
本社　大阪市西区京町堀上通1丁目7
電㊹代2613・2061
営業所　神戸市生田区北長狭通7丁目1の1
電④1778・4386
出張所　名古屋市中区梅ケ枝町2の3　電⑨1765
〃　東京都北区上十条1の10　電⑨1⑨2346
〃　広島市西魚屋町31　電②1375

暖房・冷房・水道・衛生設備
設計施工
株式会社 **三晃商会**
本社　大阪市北区堂島北町一四　㉞代表7031
出張所　東京都港区芝琴平町四〇　⑤⓪9278
名古屋市中区新栄町二丁目一　⑨1820
福井市宝永上町一〇五　1596
広島市石見屋町五五　②1938
福岡市養巴町二二　④1158

煖冷房・水道衛生工事
設計施工
株式会社 **栄興商会**
取締役社長　中山俊人
本社　大阪市福島区上福島北二丁目一番地
電話福島㊺3391～5番
支店　東京都新宿区荒木町一九番地
電話㉟2177～8番
出張所　神戸市生田区下山手通八丁目三三
電話元町④3035番

煖房・冷房水道・衛生
温湿度調整装置
設計施工
株式会社 **朝日工業社**
大阪市北区中之島4－39　電㊹6671～5
東京支店　東京都港区芝浜松町2－7　電㊸7341～5
北海道出張所　札幌市北四条西15丁目　電②2203・③5374・5969
仙台出張所　仙台市元寺小路(五城ビル)　電②8061・③9261
名古屋出張所　名古屋市中区東陽町6－5　電㉔1270・1484
広島出張所　広島市中町3　電③7949
福岡出張所　福岡市薬研町3　電④0788・⑤0296

温湿度調整装置、煖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工
第一工業株式会社大阪支店
大阪市北区富田町30　電話大阪㉞(代表)0977 / 0978～9・0970
本社　東京都千代田区丸ノ内2－10
電話㉘2631－5
仙台支店　仙台市新伝馬町60
電話7332
名古屋出張所　名古屋市東区東門前町3－6
電話⑨2893

温湿度調整・煖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工
日本管工業株式会社
代表取締役　市川進男
本社　京都市中京区両替町通リ姉小路上ル
電話②2290・5532・6945
大阪営業所　大阪市北区天満橋筋1－37(天満橋北詰)
電話㉟8829
四日市営業所　四日市市浜田西末広町　電話7503・3665
津営業所　津市栄町2－111　電話3610

暖・冷房・空気温湿度調整装置　設計施工
各種送排風機・エロヒンヒーター・キャビネットヒーター
冷却塔・各種レヂスター・アネモスタット類製作
藤本鉄工株式会社
本社並工場　大阪市旭区赤川町三丁目二八　電話㉟1264－6
梅田営業所　大阪市北区神明町五〇　電話㉞1144－5
名古屋出張所　名古屋市東区駿河町一丁目三　電話⑨4594・5118
寝屋川工場　寝屋川市大字太間一九五　電話(寝屋川)0404

煖房・冷房・温湿度調整・衛生設備
設計施工
大嘉熱工業株式会社
取締役社長　嘉幡政四郎
本社　大阪市北区高垣町二三　電話大阪㊱2085・5725
東京営業所　東京都千代田区神田司町2の10船木ビル二階
電話㉙5038
四国出張所　愛媛県川之江市川之江町古町
電話川之江603

工業用及建築用各種石灰製造販売
小野田セメント特約販売店
樫野石灰工業株式会社
大阪支店
大阪市北区曽根崎新地三丁目五十三ノ一
(市電桜橋停留所前)　電話大阪㉞1274～6
支店・徳島・神戸・姫路・東京

アーマーコート西日本代理店
近畿建材工業株式会社
防水美装塗料……アーマーコート
特殊防水パテ……タイガー印コーキング・ハイドロシール
床面美装仕上材料……フアルベトン
美装吸音材料……ラテックス，ボード
本社　大阪市北区茶屋町33　TEL大阪㉝3003番
九州出張所　久留米市原古賀町北134の1　TEL久留米7065番
北陸出張所　石川県松任町字布市町50　TEL松任672番

鈴木式防火シャタア

鈴木シャタア工業株式会社大阪出張所

株式会社 **鈴木シャタア商会**

大阪市北区茶屋町33　電話㊲0098・5837・8729

PAINTING CONTRACTOR

塗装工事請負

株式会社 **林塗装店**

TEL. 大阪㉕1756—7・東京㉙1335

軽量鉄骨
設計・施工

新鋼建設工業株式会社

取締役社長 吉田信武

本社 大阪市西区新町通2丁目25
電話 ㊸609・6575
工場 神戸市東灘区本庄町青木古堂町53
電話 神戸 ⑧616
広島県御調郡向島町立花3010
電話尾道2868　向島西19

コペンハーゲンリブ

商月報無料送呈

井田ペンキ **井田商事株式会社**

大阪市浪速区西円手町一〇一七番地 湊町駅貨物八号門前
電話 (53) 4890・(54) 0808~9

リグノイド床・床材料

製造・販売・施工

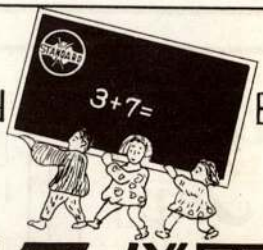
福屋工業株式会社

本店 大阪市西区南堀江上通一丁目三一
電話 新町㊸3426～7

標準セメント防水材・特許ニッポン
特許ニッポン防水液・急結液一号（噴水急止）
二号（湧水防止）・姉妹品粉末ニッポン
施工指導並ニ責任模範施工

黒川化学工業所

（国立大阪工業試験所創製）セメント防水材特許権実施工場
（大阪営業所）北区芝田町六八　電話北㉞7916
（本社・工場）神戸市灘区住吉町反高林1876・
御影 ⑧2723



Standard Board&Slate

フタバ黒板

大阪市東住吉区桑津町三丁目101番地　電話天王寺(74)4692番

NA式軽便シャッター

防火、盗難予防用　軽快にして堅固なり

NAKA **中谷シャッター製作所**

営業所　大阪市福島区上福島北三丁目137　TEL (45) 7389
出張所　岡山・広島・宇部・福岡

風雨に強く
和瓦より安い
大和洋瓦（だいわ）

發売元
大仏組　大仏瓦・各種和洋瓦 工事請負一式
本店　京都市東山区今熊野池田町九　⑥3555
大阪営業所　大阪市東区内淡路町一丁目　㉔975

耐酸ツボ各種
天窓瓦福林産地直売
建築陶器の百貨店
株式会社 吉田芳雄商店
大阪市北区南森町交叉点
電話堀川㉟3402・9034

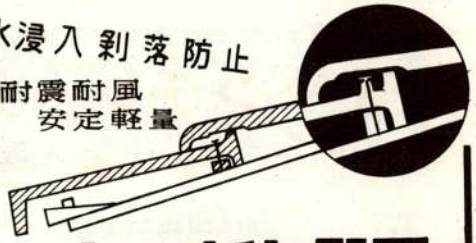


タイル 衛生陶器
販売と施工
奉仕感謝の店
株式会社 川岸窯業
大阪市西区靱南通二の二五（市電靱南通電停前）
電話㊹ 2571・2764 番

株式会社 矢橋大理石商店
大阪出張所
大阪市東区高麗橋二丁目九　野村ビル五階
電話北浜㉓4257－8番

特許植物性　型枠離剥塗料
サンヒット
関西代理店　株式会社 金剛商會
大阪市西淀川区野里町1231　阪神国道電車　野里電停前
製造元 東京 坂巻サンヒット商会　電 淀川㊼0417・4091

雨水浸入剥落防止
耐震耐風
安定軽量
ナニワ瓦株式会社
大阪市浪速区元町二丁目七番二（電話(64)五六五
ナニワ緩勾配瓦
3寸緩勾配最適軽量 水止付（空葺）瓦



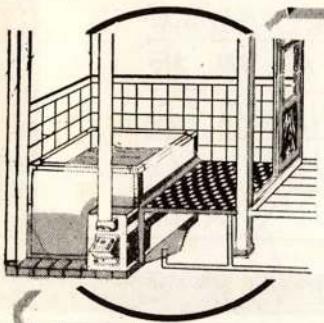
Acoustic Tex
吸音テックス
株式会社 室谷商店
本社　神戸市生田区長狭通四ノ一地産ビル
TEL 三宮③0881～3
支店　大阪市北区堺筋町五〇　堂ビル5階
TEL大阪㊱2021・3486・1141

燃えない建築資材
耐火ボード
タイガー印
石膏デスボード
タイガートーン
絶対に亀裂を生じない劃期的下塗壁材
Y.N石膏プラスター
キーンスセメント
各種焼石膏
吉野石膏大阪支店
大阪支店　大阪市西区土佐堀通1－1（大同ビル）
電話（44）3694・0131
本社　東京都丸ノ内・三菱東九号館四号
電話 東京（28）2391（代表）
九州営業所　福岡市相生町1－1　電話西（2）7420

アルミニウム
ステンレス
サッシュ・ドアー
スチールシヤッター

東京鋼板工業株式会社

本社及工場　東京都荒川区尾久町5ノ1000
電話 ㊾ 8131～6
大阪支店　大阪市北区絹笠町18番地（紫嘯ビル3階）
電話 ㉞ 0621・0628
名古屋支店　名古屋市中区大池町24（丸菱ビル）㉔3048・4593
代理店　広島・福岡・富山・札幌



田中のガス風呂

各種銅鉄風呂釜一式
箱風呂・ボイラー・
ガス風呂

大阪ガス会社指定

田中風呂鞴作所

大阪市浪速区元町1丁目742　但シ賑橋電停前　電話㊹5313・8128

陶管・ベンチレーター

株式会社 三幸商会
大阪市北区曽根崎上一ノ四一
電話 大阪 ㉞ 3145

ヒューム管

特許白蟻

松平式白蟻殺滅予防所
奈良市南城戸南方町28　電話奈良4098
（近日移転先）
奈良市登大路二番町（博物館前）電話奈良4098
出張所　奈良市春日町尾田組内　電話6011・6012
本部　高知県宿毛市宿毛町2639

FUTABAYA DECORATORS, LTD.

建築物船舶等造作工事
家具・建具・室内装飾工事　設計施工
内外織物・敷物類一式
（創業大正7年）

二葉屋装備工業株式会社

取締役社長　若林繁吉
大阪市大淀区本庄川崎町2の6
（天六電停西北2丁）
電話・豊崎㊲3321～3・3630

リブ付塗装合板
美装パネル
吸音多孔合板
ベニヤトーン
日楽の繊維板
ヤマハボード
二重色調浮出柄
カラーボード
織物の壁貼材料
オーツカクロース
線条塗装合板
ラインボード
ビニール合板
ビニライト
立体塗装合板
カーベライト
九つの特長を誇る
九徳天井板



モデルルームへどうぞ

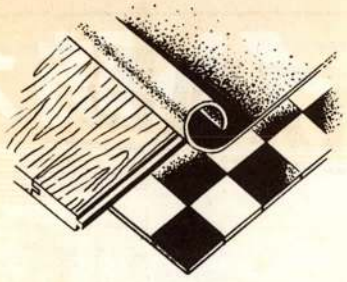
一歩でも時代感覚に先駆しようと努力しています

大阪市浪速区幸町通3丁目20
浪速合板
電話 新町(53) 2201-3番

工場　大阪市住吉区西加賀屋町4丁目81・電話 住吉(67)5109

タムラ 最高の品質・新しい建築資材

床　　材



フローリング さくら・なら・ぶな
ブロック さくら・なら・ぶな
パーケット・寄木 さくら・なら・ぶな
アピトン・桧床板
三星印アスファルトタイル
東洋リノリューム
田村式コンベス床

創業明治24年
貿易・木材・建材

田村商會 建材部

本　店・神戸市生田区栄町通二丁目三九(安田火災ビル)　電話神戸③局0591—3・5092—3・0498
支　店　東京都中央区八重洲一丁目一 西河岸橋西詰　電話東京㉗局6181・6182

ボッシュ電動式ハンマー



カタログ本誌名記入
お申越次第進呈

強力・堅牢・高能率

穿孔・削切兼用・(電灯線使用)

コンクリートの穿孔，削切
目粗しに高性能を発揮します。

独乙ロバート・ボッシュ会社製
日本総代理店

株式会社 峰岸商店

大阪出張所
大阪市西区江戸堀上通1丁目8番地
電話土佐堀㊹0842・2181

日本で初めての **年限仕様**

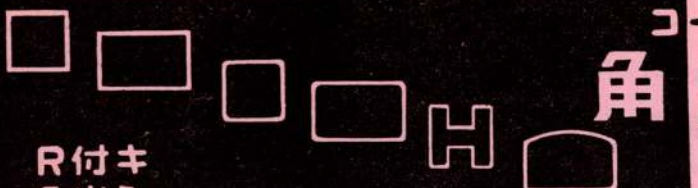
Ⓐ アスタイト防水

地区	組合員名	住所	電話
近畿（順不同）	(株)久保商店	大阪市北区真砂町5	北 ㉚0207～8・4836～7
	(株)木下謹三商店	大阪市西区江戸堀南通5ノ35	土佐堀⑭5408・5486
	(株)明正社	大阪市北区樋ノ上町45	北 ㉙8157～9
	(株)井上浄夫商店	大阪市西区江戸堀下通1ノ7	土佐堀⑪8531
	(株)大和商会	大阪市南区高津町4番丁73	戎 ㉞1588・1905・6687
	(株)石田建材店	大阪市東淀川区元今里北通り1ノ31	豊崎㉗3340・3505
	石井建材有限会社	神戸市兵庫区荒田町1丁目	湊川⑤2140・2697
	タテバヤシ商店	京都市下京区四条大宮南入学校前	壬生㉔4468
	田島応用化工㈱大阪出張所	大阪市西区京町堀上通1ノ14	土佐堀㊹1773～5・809～10
東海	(資)岡田建材店	名古屋市西区西菊井町2ノ12	西 ㊽2057・0121
	(株)名建商会	名古屋市中区宮出町41ノ2	中 ㉙1329・2817・2106
	高橋建材店	名古屋市中区村木町1ノ12	本局 ㉓3295
北陸	北川工業株式会社	金沢市西側町8	金沢②4552～3
	北川工業㈱富山営業所	富山市奥田新町28	富山②2218 ③1014
	小島工務店	高岡市大坪旭町2丁目32ノ3	高岡 2463
	小島工務店富山営業所	富山市神通町3区1003	富山 8221
中国	青盛建材株式会社	広島市鉄砲町108	中 ②2281～4
	青盛建材㈱岡山営業所	岡山市東田町3	岡山②7911・8169
	(有)小野甚商店	岡山市内山下30ノ10	岡山②4272
	(株)浜原豊商店	尾道市若宮町	尾道 2760
	(株)浜原豊商店 防府支店	防府市大林寺	防府 1037
四国	古市断熱工業株式会社	高松市天神前220	高松③4239
	正和商事株式会社	松山市1番町21	松山 525・1159・2159
九州	青盛建材㈱福岡営業所	福岡市万行寺前町14	東 ③1225～6
	暁建材工業株式会社	福岡市薬院町65	中 ④4326
	高稲工業株式会社	長崎市大黒町45	長崎②9228

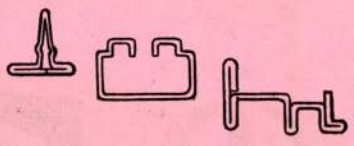
建設省阪建22号認可　　出資金510万

三星 西日本アスファルト事業協同組合

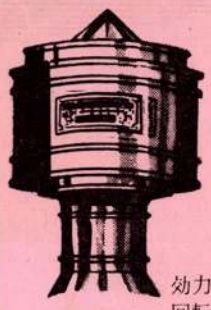
大阪市西区京町堀上通一の一四　TEL ㊹代表1773
東京連絡所　東京都足立区小台町六三三（田島応用内）　TEL ㊶代表1181
北陸・東海・近畿・中国・四国・九州

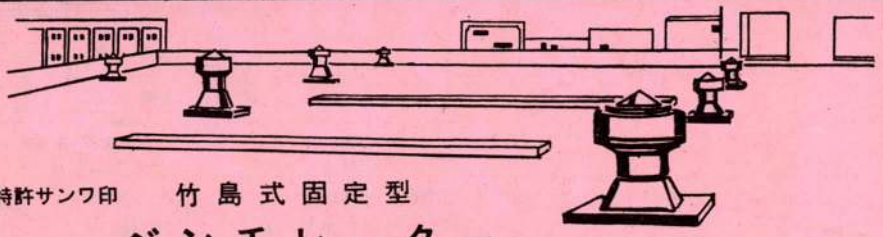


コールドロールによる
特殊軽量形鋼



呈カタログ　　日本特殊形鋼株式会社
発売元　**大日鋼業株式会社**
大阪市西区立売堀北通七丁目二一
電　話(54)1721・1722・1723





特許サンワ印　竹島式固定型
ベンチレーター
全国各地有名金物店に有り
効力絶対責任付
回転式の三倍強
カタログ送呈
製造元発売　**三和金物株式会社**
大阪市南区南綿屋町
電話(27)4755—7

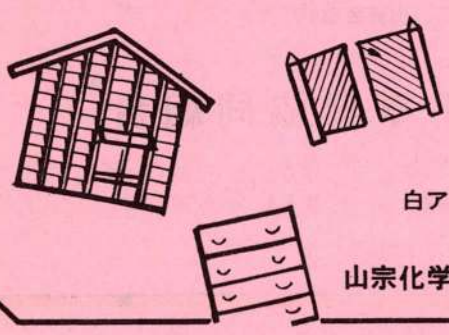
● リーフレットの用意があります　ご請求下さい　● 模造品が一部市場に出ていますからご注意下さい

特許C型カーテンレール

A—10

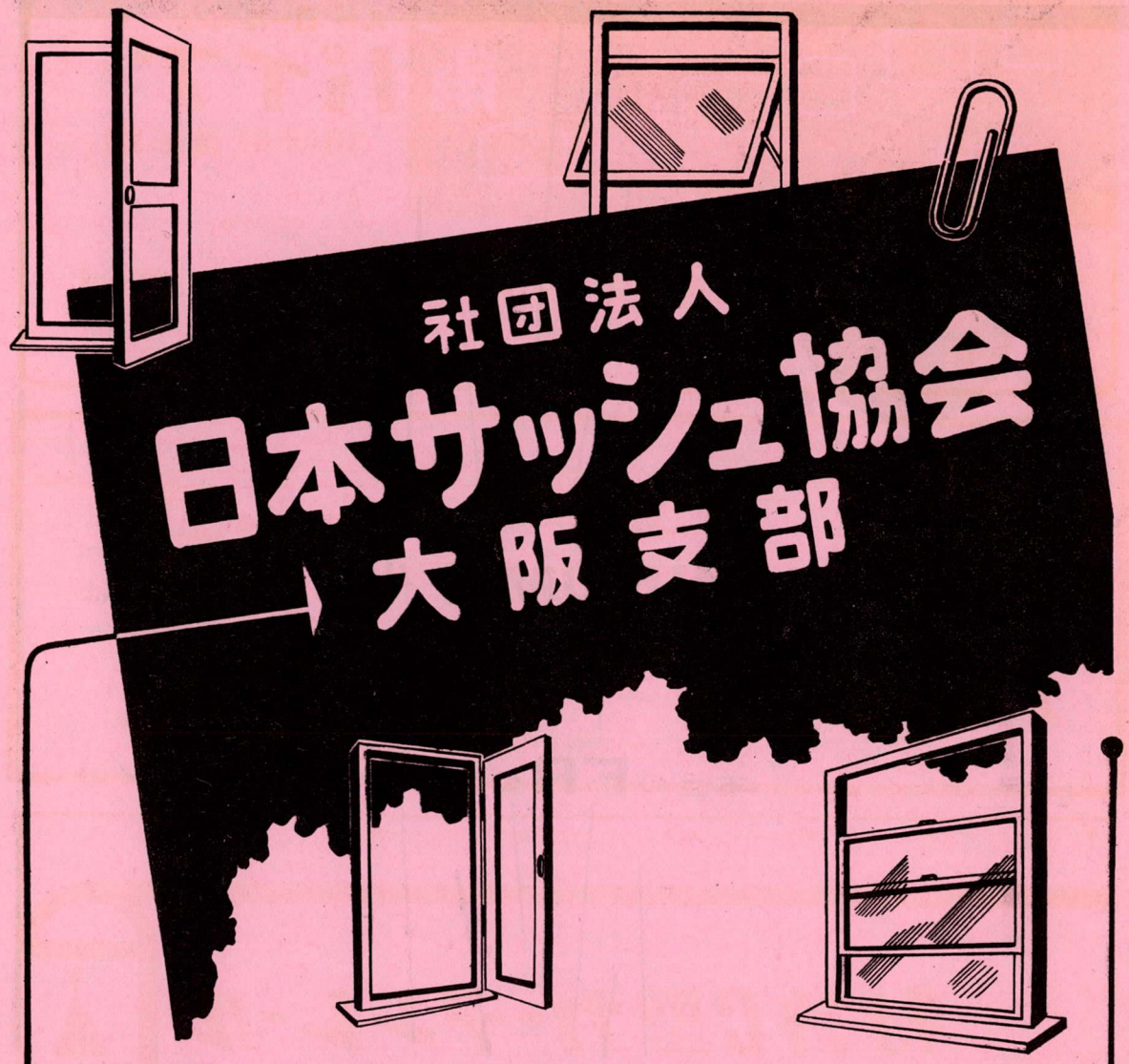
東京装備工業株式会社　東京都中央区新川1-6 TEL 55|0771-5

住宅や家具につく白アリや害虫を退治します、その上「アリノン」は
くされ・かびにも特効があります。



白アリに　**アリノン**

山宗化学株式会社　東京都中央区八丁堀2丁目3番地 電話(55)5292・3634・0729
大阪市西区江戸堀下通2～38西船場ビル 電話土佐堀(44)7715・2803



社団法人 日本サッシュ協会 大阪支部

大阪支部　大阪市北区神山町26（富国信用ビル2階）　電話 ㊱ 6501～2番

支部長　福田好雄

西日本規格サッシ株式会社
朝日建材工業株式会社
旭鋼鈑工業株式会社
麻村サッシュ工業株式会社
尼崎建材株式会社
株式会社岩住鉄工所
栄進鋼業株式会社
栄進社大阪営業所
大阪機工株式会社
大阪建材工業株式会社
株式会社大阪鉄工所
大阪理研工業株式会社
加地シャッター工業株式会社
川鉄商事株式会社魚崎工場
合資会社関西鋼業製作所
三機工業（株）大阪支店
昭和鋼機（株）大阪支店
谷山鋼機株式会社
中国理研サッシュ株式会社
東京鋼板工業（株）大阪支店
中本鉄工所
浪速建材工業株式会社
日東建鉄株式会社
日本建鉄（株）大阪営業所
株式会社汎建製作所
不二製作所大阪支店
理研鋼機（株）大阪営業所



新しいALUMINUM時代をむかえるには

不二のレディメードFR型アルミサッシで

アルミサッシ・アルミドア・アルミスパンドレル・アルミサッシ・アルミドア・アルミスパンドレル

営業品目
アルミサッシ
アルミドア
アルミスパンドレル
スチールサッシ
スチールドア
スチールシャッター

株式会社 不二サッシ 不二製作所

本　　社：川崎市中丸子135番地　電　話　72—4261(代)
東京事務所：東京都中央区銀座西6～5　電　話　57—5526(代)
大阪支店：大阪市西淀川区御幣島町中3～4　電　話　47—1454
営　業　所：福岡・名古屋・金沢・仙台・札幌　工場：川崎・大阪

広告目次 (50音順)

ア 青山鋼材kk ……23
浅海電気kk …… 2
麻村サッシュ工業kk ……21
kk 朝日工業社…… 4
朝日石綿工業kk ……表紙 4
伊奈製陶kk ……中挟
泉石綿工業kk ……17
井田商事kk …… 5
kk 岩住鉄工所……中挟
岩元工業kk ……15
宇部スレート工業kk ……69
kk ＡＢＣ商会……中挟
kk 栄興商会…… 4
栄進鋼業kk ……16
オリエンタルメタル製造kk 中挟
大阪建材工業kk ……24
大阪コンベス建材社 ……16
kk 大阪城口研究所…… 3
kk 大阪電気暖房商会…… 3
大阪耐酸工業所 ……15
大島応用化学工業kk ……16
kk 奥村重兵衛商店……66
奥山化工業kk ……21
織本特殊構造研究所 ……18
カ 樫野石灰工業kk …… 4
kk 桂商会……目次対抗面裏
kk 川岸窯業…… 6
川口ゴム工業kk ……前付
河津装飾kk ……前付
亀井kk ……16
kk 関西機械建材社……23
関西三星タイル会 ……表紙 4
近畿建材工業kk …… 4
工藤電気kk …… 2
kk 久保商店…… 1
黒川化学工業所 …… 5
kk ケントク……24
kk 建材社…… 3
江東電気kk …… 2
kk 小俣製作所……56
kk 金剛商会…… 6
サ サンエス石膏kk ……前付
斎久工業kk …… 3
kk 斎藤省三商店…… 3
三機工業kk …… 3
kk 三幸商会…… 7
kk 三興社…… 2
kk 三晃商会…… 4
三宝電機kk …… 2
kk 三和シヤッター製作所…前付
敷島金物kk ……目次対抗面裏
彰 国 社 ……65
昭和アルミニウム kk……14
新鋼建設工業kk …… 5
kk 新興建材工業所……22
須賀工業kk …… 3
鈴木シヤタア商会 …… 5
住友ベークライトkk ……20
タ 田島応用化工kk ……表紙 2
耐酸化学工業kk ……14
田中工業kk …… 1
kk 田中風呂製作所…… 7
田辺工業kk ……67
田村商会建材部 …… 8
kk 谷山製作所……17
第一工業kk …… 4
大嘉熱工業kk …… 4
大建ウォールボード工業kk …前付
大日本硝子工業kk ……15
大日鋼業kk ……10
大 仏 組 …… 6
高砂熱学工業kk …… 3
kk 武智工務所……66
中央電気工業kk …… 2
朝陽電気kk …… 2
東京鋼板工業kk …… 7
東京装備工業kk ……10
東洋キヤリア工業kk …… 3
東洋シヤッターkk ……中挟
東洋陶器kk ……前付
東洋リノリュームkk ……前付
東洋レーヨンkk ……目次対抗面
ナ ナニワ瓦kk …… 6
内外工業kk ……17
内外土木建材社 ……14
中谷シヤッター製作所 …… 5
中本電気kk …… 2
浪速合板 …… 7
浪速建材工業kk ……23
日本管工業kk …… 4
kk 日本金具製作所……中挟
日本サッシュ協会大阪支部 …11
kk 日本シヤッター製作所 …表紙 3
日本セメント防水剤製造所 ……表紙 3
日本ドアーチエツク製造KK ……中挟
日本ドアーチエック製作所 …19
日本ハードボード工業kk ……20
日宝蛭石kk ……15
日本ペイントkk ……19
日新工業kk ……中挟
日瀝化学工業kk ……前付
西日本アスファルト事業協同組合…… 9
kk 西原衛生工業所…… 3
kk 野上工業所…… 2
ハ 八保鋳鉄工業kk ……16
kk 林塗装店…… 5
kk 汎建製作所……18
パラマウント硝学工業kk …前付
kk 日立製作所……前付
kk 平川鉄工所……前付
フタバ黒板 …… 5
藤本鉄工kk …… 4
福屋工業kk …… 5
藤森建材kk ……前付
二葉屋装備工業kk …… 7
kk 不二製作所……12
kk 平和シヤッター製作所……17
豊国セメントkk ……14
マ 松平式白蟻殺滅予防所 …… 7
水谷ペイントkk ……68
kk 水島商店……19
kk 三高製作所……18
kk 三谷製作所……前付
三井金属工業kk ……目次対抗面
kk 峰岸商店…… 8
三舟建材商会 ……56
kk 室谷商店……6, 10
明正社 ……17
ヤ kk 矢橋大理石商店…… 6
山田工業kk …… 4
山宗化学kk ……10
kk ヤマト電気商会…… 2
kk 油脂化工社……表紙 3
kk 吉田芳雄商店…… 6
吉野石膏kk …… 6
ラ kk ライト製作所…… 1

特別広告関係 (順不同)

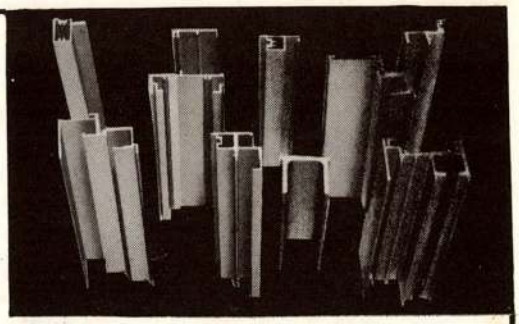
清水建設kk …… 6
大阪建材工業kk …… 7, 13, 16
日本セメントkk …… 7
大阪市北区梅田町47 新阪神ビル6階
アサノ生コンクリートkk …… 7
大阪市北区梅田町47 新阪神ビル6階
高砂熱学工業kk…… 8
西原衛生工業所大阪店 …… 8
鳥居金属興業kk …… 9
大阪市南区鰻谷東ノ町37 電㊎3375～7
kk 奥村組……10
田島応用化工kk ……11
kk 栄興商会……12
旭化建工業kk ……12
大阪市北区茶屋町38 電㊍6555～7(代)
江東電気kk ……12
第一建材kk ……13
大阪市西区江戸堀下通4—13—1
電㊍3212・4151
kk 藤田組……14
kk 大末組……15
日本熱学工業kk ……16
大阪市東区唐物町5丁目10 電㊋5171(代)
竹林塗装工業kk ……16
大阪市北区茶屋町78 電㊍6431～3

豊国セメント株式会社

本　社　福岡県苅田町
事務所　小倉・大阪・東京

昭和アルミの
押出型材

アルミニウムの押出型材は複雑な型状のものが容易に作れ製品コストを下げ、軽く、美しく、錆びず、合金によって鉄鋼に匹敵する強度を持ちます。最近極めて広範囲に使用されています。
アルミニウム工業に於て伝統を誇る当社は最新式押出機により管、棒、線、その他各種の型材を生産しています。



昭和アルミニウム株式会社

本　社　堺市海山町6の224
TEL　堺3－1181(大代表)　大阪(67)3522(代表)
東京営業所　東京都中央区日本橋堀留町1の12
TEL　東京(66)0087，0715，1776

40年の伝統と経験を誇る

内外式
バーチカル(電動式)ベンチレーター

自然換気の15倍・従来のものより5割も効率大

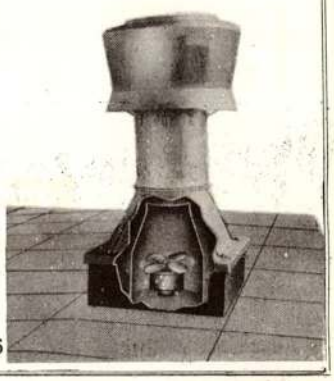
工場・発電所・病院・ボイラー室・倉庫・料理店等
特に熱及び臭気の発生する所に最適です

内外式スカイライト・波型硝子完全葺
内外式ベンチレーターコンチニアス並ニ筒型

設　計　施　工

株式会社 **内外土木建材社**

大阪市西区土佐堀船町23（大阪商工ビル）　TEL(44)3983・4396



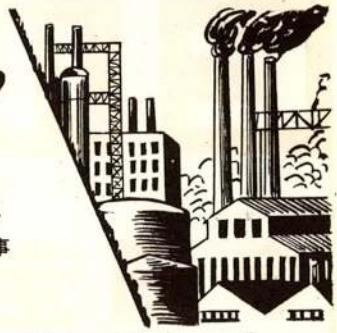


化学工場の建物を酸蝕から守れ！

耐酸　耐油　耐アルカリ

最新式　耐酸　レヂンライニング
ポリエステル系レヂンライニング
特殊アスファルト耐酸工事
現場責任施工

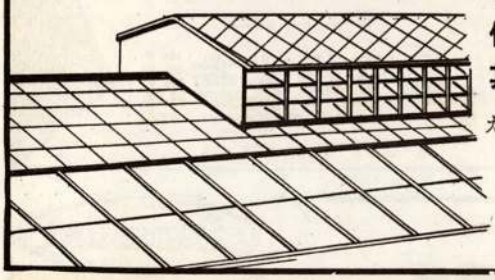
設計・施工には是非弊社に御相談願います



耐酸化学工業株式会社

大阪市北区高垣町80　電話大阪(34)4957・4958

岩元式 スカイライト 並 固定筒型 コンチニアス ベンチレーター



サッシュ、ドアー、シヤッター
伸縮扉、オペレーター、門扉鉄柵
其他金物一式製作施工

カタログ進呈



岩元工業株式会社
本社 大阪市東成区東今里町4の40
電話 ㊾ 0616・0617

光り 波型ガラス （網入及網ナシ）
ダイニチライト
ポリエステル樹脂
硝子繊維強化板



製造元 大日本硝子工業株式会社
大阪支店 大阪市北区玉江町2—4（三菱倉庫ビル）電話土佐堀㊹3389・1389
本 社 東京都中央区京橋3—6 電話 ㉘ 6926～8

冷蔵庫防熱工事
耐酸モルタル工事
アスファルト専門工事
アスファルト防水工事
アスファルトタイル工事
各種床工事

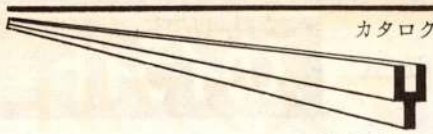
大阪耐酸工業所
大阪市北区浮田町82番地 電話豊崎㊲1333番

ヒルコン
耐火 断熱 保温 保冷 防音
吸音 結露 防止に
焼成蛭石
㊝ 日宝蛭石株式会社
大阪市東区高麗橋3～7 TEL(23)1601.1704.5627.5628.淀川工場・大阪市東淀川区豊里菅原町119 TEL(38)3101

（ＪＩＳ）製作工場

スチール.サッシュ
スチール.ドア
スチール.シャッター


NS型


LS型

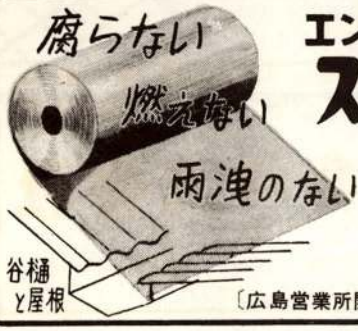
カタログ進呈

パテ切リ不要ノ　〝サッシュバー〟

榮進鋼業株式會社

本社及工場　大阪市城東区野江西之町2丁目2
電話城東㉝.8261～3

出張所 福岡 連絡所 名古屋 広島 長崎 富山



エンドレス（長尺もの）
スタンダードメタル
谷樋.屋根に 是非どうぞ

PATENT Standard

スタンダードーメタルの大島化学
エバーブライトの大島化学（アルミ箔ルーフイング）
オーシマライトの大島化学（ポリエステル樹脂積層板）

大島応用化学工業㈱

本社工場　大阪市城東区野江東ノ町4丁目　電話城東㉝ 3679・4481・8471
第二工場　大阪市城東区古市中通2丁目　電話城東㉝ 8813
支店　新居浜市西原町　電話2327・2938・3255
営業所　名古屋市 電(中)7025・広島市 電㉓7582 出張所 四日市市 電2065

〔広島営業所開設〕

窓掛、緞帳、日除、壁紙 **室内装飾** 絨毯、舗床材一般

東洋レーヨンの**ナイロン**緞通と絨毯 発売元

亀井株式會社

大阪市東区南久宝寺町四丁目(心斎橋筋)
電話船場（25）1353～5番

経験と技術

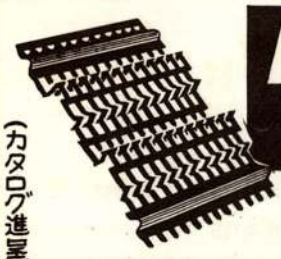
Y.C.コンベス（リグソイド）

ゴムタイル
プラスチックタイル
スポンヂシート
アスファルトタイル

大阪コンベス建材社

大阪市北区浪花町三五　電話豊崎㉗6760・7063

近代建築の花形.**ライトゲージ建築**にはぜひ!


（カタログ進呈）

ハッポーラス　新案特許

優良ラスとして日本建築協会が証明する

寸法
1820㎜×610㎜

断面図



剥落絶無・亀裂防止
塗着完全・裏板不用

八保鋳鉄工業株式会社

大阪市東住吉区加美福井戸町3－58　電話東住吉㊼907

良心的な工事と材料

アスファルト
防水工事．耐酸工事．

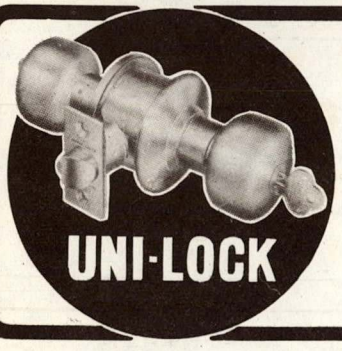
ブリヂストンの
エバーソフト
最も進んだゴムのクッション

志垣の 明正社
大阪市北区樋上町45
TEL (34) 8157・8158・8159

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト
モルタル工事

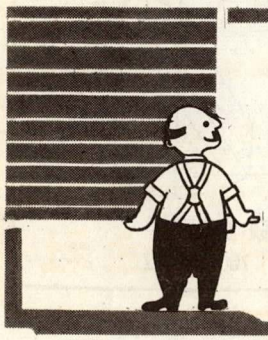
N.G.C式
メタリヤンメッシュD.M38番責任施工
米国パブコ.コンパウンドアスファルト販売
内外工業株式会社
脇山静夫
本社 大阪市阿倍野区旭町一ノ五一 電話㊸3434～6
工場 大阪市阿倍野区旭町二ノ六六

N.G.インシュライト断熱材製造発売元



建築界待望の新扉錠……！
ゴールユニロック
GOAL
日本住宅公団・公営住宅御指定
株式会社 谷山製作所
大阪市東淀川区三津屋北通四丁目 電話(37)3117．5871．7724
シリンダーレバーハンドル錠
押ボタン式シリンダー錠
アンチ式シリンダー錠
シリンダーナイトラッチ
シリンダー袖 斗 錠
各種高級彫込錠

石綿セメント製品の最高水準を行く!!
アスベストバリヤ（硬質石綿板）
Asbesto. Barrier
建物内外壁、間仕切、天井扉
電気室、発電所、配電室、製鋼
ガラス工場の壁、製糖、製油
製薬工場の床スカート壁など
に最適
呈カタログ
泉石綿工業株式会社
大阪市北区北同心町1丁目11
電話堀川㉟3442・4078



平和式
親切.丁寧
ご御照会
軽量シヤッター
株式会社 平和シヤッター製作所
大阪工場 大阪市浪速区河原町2丁目 電㉞5750・8444
東京工場 東京都太田区糀谷町4丁目 電㉔0160・1733

三高式 サッシュ.ドアー.シャッター
オペレーター
ドアーハンガー
TRADE MARK
M.T.K.S
株式会社 三高製作所
本社工場 大阪市東淀川区西中島町7－69
電話 大阪 37—1 7 5 4(代表)

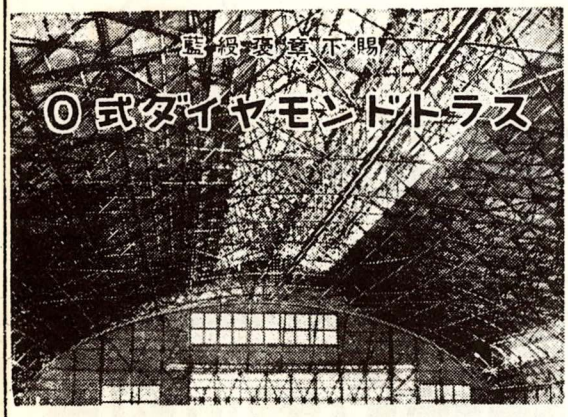
伝統に輝く
優秀な製品

スチール サッシュ
スチール シャッター
スチール ドアー

新規製品
完全密閉片引き窓
気密度極めて高く
開閉軽快・堅牢・低価

株式会社 汎建製作所
大阪市此花区恩貴島北之町11 電話 此花 ㊻ 2903・4461

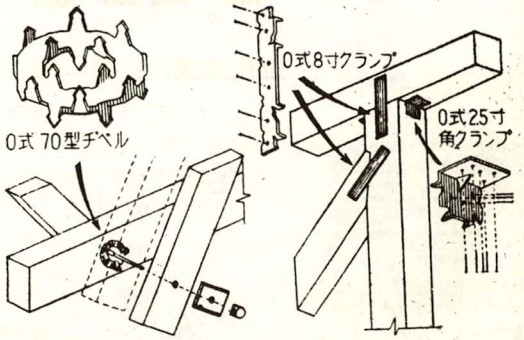
鉄材が少くてすみ施工簡易な格納庫・工場・体育館の建築には
"ORIMOTO" DIAMOND TRUSS



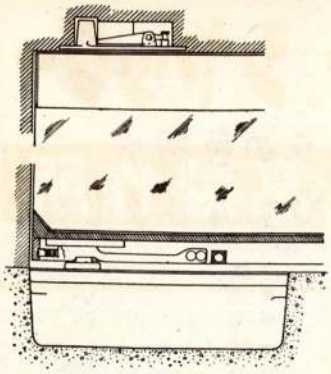
設計の御依頼に応じます（施工は御自由です）
カタログ及び設計参考資料贈呈

考案 織本建築設計計算事務所

官公庁御採用 耐震耐風木材接合金具
住宅、工場、学校、集会場、体育館にまた2階梁に
PAT O式ヂベル
PAT O式クランプ

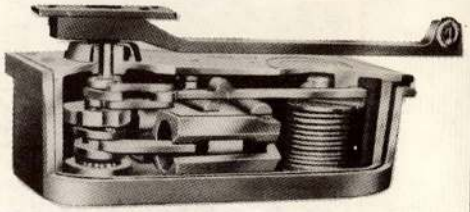


販売 織本特殊構造研究所
東京都中央区日本橋蠣殻町3〜2（水天宮交叉点角）TPL（67）6443・7007・7062



登録 NEWS 商標

ニュース印フロアーヒンヂ



営業品目
ニュース印 ドアーチェック
〃 フロアーヒンヂ
〃 ピボットヒンヂ
〃 ラバトリーヒンヂ
カタログ進呈

株式会社 日本ドアーチェック製作所

尼崎市金楽寺2丁目24番地・電話 大阪（48）5855・7273番

ビニール壁塗料

ビニレックス

5000 (エマルジョン)
6000 (溶剤型)

乾燥が早く、密着性が優れ、のびが良く、経済的である

日本ペイント
大阪・東京

MIZUSHIMA

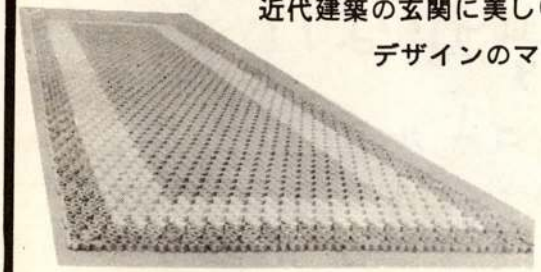
MOP MAT WAX
モップ マット ワックス

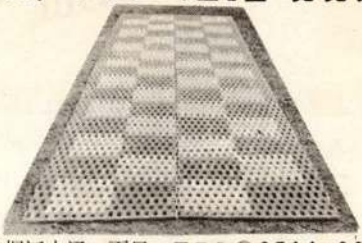
近代的おそうじ百貨
信用と品質を誇る店

OSAKA ミツシア KYOTO

ユービ金属マット・ユービゴムマット
ユービ鉄マット・ラインゴムマット
カラーラインマット・ニューラインマット
ホーム・ソフト・モップ
ダスト パック 1型2型 発売元

近代建築の玄関に美しい
デザインのマット





株式会社
水島商店

大阪店 大阪市西区北堀江上通一丁目・TEL㊾3514・8246
京都店 京都市中京区蛸薬師烏丸西入・TEL②5363・0214
工作所 京都市右京区西院松井町八・TEL㊽1697

住友のマークが保証する…



デコラがふんだんに使用されている
特急こだま号ビュフェ内部
（カウンター・パネル・壁面）

★デコラの色柄が
70になりました！

●美しい
●強いい
●汚れないい
●熱につよい
●衛生的

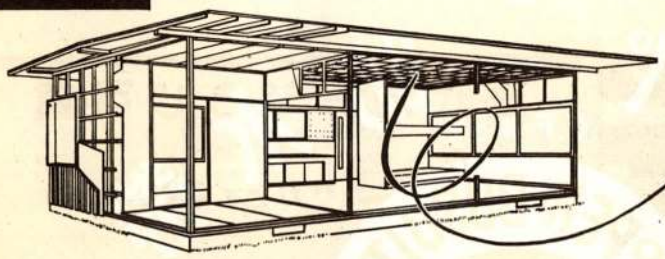
デコラは登録商標です

メラミンプラスチック化粧板
デコラ
特許191060　登録商標

住友ベークライト株式会社
東京・大阪・名古屋・福岡・札幌
カタログ進呈　東京日本橋北海ビル　住友ベークAA係
▲デコラセンター・東京・有楽町・日活国際ビル東隣

Goldon BOARD
第3の材質

騒音を吸う！



ゴールデン
アコース

吸音率は60～70%もあり美しい上
に優れた断熱性を持っています

いつも適温・しずかな住まい..

ゴールデン
保温・断熱・防音にすぐれた　インシュレーション
建物から家具まで用途が広い　ハードボード
間仕切り用に効用大　サンドウイッチボード

日本ハードボード工業株式會社
本社　名古屋市中区広小路通6の3
東京　東京都中央区京橋2の4
大阪　大阪市西区南堀江上通り1の35(三友ビル)
工場　名古屋市港区汐止町

代理店　伊藤忠商事株式会社　安宅産業株式会社　三菱商事株式会社　住友商事株式会社

優秀技術を誇る！

麻村の

スチール
サッシュ
ドアー
シャッター

責任・設計・製作

麻村サッシュ工業株式会社

本社　大阪市城東区野江東之町1－12　電話大阪㉝0342・1859・2854・5272・8016番
第一工場　大阪市城東区野江東之町1－11　第三工場　大阪市城東区古市大通2－28
第二工場　大阪市城東区野江西之町1－15　第四工場　大阪市城東区天王田町1－171
営業所　名古屋市中区下日置町2－25(日置ビル内)　電話名古屋㉜4006
出張所　金沢・広島・松山

黄綬褒章受賞

特許 奥山式 熱工法 冷工法 綜合防水層

カッパー防水

C.F #38

COPPER-BOSUITAI
OAM
TRADE・MARK

カッパーメッシュ
コーパータイト

耐酸耐油工事
アスファルト工事一般

製造元 奥山化工業株式會社

東京都中央区銀座西8丁目3番地・電話 銀座 57 2703 4・2370・4064・0264

SK

特殊壁材製造と左官材料専門卸

★セメント防水剤は世界的水準のJIS合格品のご使用を！

シンケン
防水剤・急結剤



★劇場・洋室・学校講堂・公会堂の内壁に防音・保温の

いすゞかべ

★近代建築の和洋室内壁に防音・保温・落ちぬ塗壁材

チエリーウオール

★純日本趣味の塗り良い優雅な壁……

錦上壁

★セメント・石灰・プラスターの着色に純鉱物性不変色の…

チエリーカラー

★セメントの（アク）でお困りの場合に

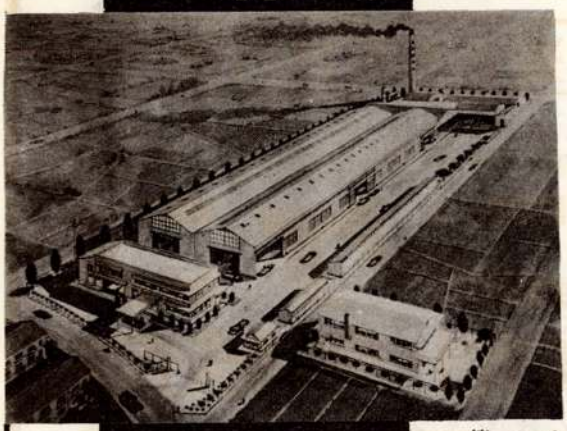
シンケン セメント(アク)止剤

水溶性特殊接着剤〝シンケン糊〟桜印酸化黄
ラスヒゲコ・末広布連其の他特殊材料製造発売

（カタログを各地有名建材店にお申込み下さい）

株式会社 新興建材工業所

本　社　大阪市西区四ツ橋　電話（53）1988・9720（54）1988
工　場　大阪市住吉区東長居町36　電話　住吉（67）　212



浪建式
スチールサッシュ・ドアー
シャッター・オペレーター
パーカライジングの処理工場完成
— 製造販売 —

NANIWA
大正十四年
創業

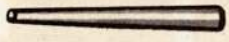
日満ゴムタイル
全國總代理店
責任施工

第二工場
浪速建材工業株式会社

本社・工場・大阪市城東区野江中之町一丁目九番地　電話城東㉛1171～3番
第二工場・大阪市城東区茨田横堤町四一番地　電話城東㉛6153・6824番
東京営業所・東京都中央区銀座東六丁目木挽館ビル六号館607号室　電話東京㉔4611番
福岡営業所・福岡市天神町三番地（サンビル内）　電話福岡④8462番
出張所・大分市栄町下市三一七番地　電話大分1366番

段付テーパー
テーパーパイプ





アラヤの新製品
異形特殊パイプ

異形直線パイプ



建築・家具・電気のデラックス　デザインに
アラヤ特殊パイプは本邦唯一の製法による電縫管で（ステンレス軽合金・引抜鋼管も製作可能）下記の様な特長をもっております
1. 長尺にても真直ぐな製品が出来ます
2. 表面地肌が非常に美しい
3. 従ってメッキ及び塗装が非常に楽に行われます
4. 製品価格が非常に安い

カタログ・値段表送呈。見本御希望の方は（8本1組）¥370—要

製造元　新家工業株式会社
発売元　**青山鋼材株式会社** パイプ課
大阪市西淀川区野里町1239ノ8
電話大阪（47）0012・0013・0014・3760

KKK

- 伝統の技術
- 製品の優美
- 工事の確実
- 工期の正確
- 価格の適正

（カタログ進呈乞御一報）

全国各地の会社、商店・
ガレージ等の戸締に使用される
關西シャッター



スチールシャッター
ライトシャッター
軽便シャッター
特殊機械扉

押上式
捲上式
横引式

株式会社 關西機械建材社

本社及第一工場　大阪市東淀川区野中北通二丁目三五　電話三　国(09)1864 2397
第二工場　大阪市城東区野江西之町二丁目二　電話城　東(33)8263
名古屋出張所　名古屋市中区東陽町十一丁目十六　電話名古屋(24)0372
広島出張所　広島市小網町三九　電話広　島(3)1250
福岡出張所　福岡市上州崎町二五　電話福　岡(3)6326



家を建てたら・・
ツヤ出しケントク

——板の間・廊下に——→

新築に

水拭きではすぐに黒ずみニス・ラッカは白木の味をなくし、はげると見苦しくなりますが、すべらぬ白木艶出ケントクを月に一～二回ぬりこめば毎日はカラ拭きで新築そのまゝの美しさを保ちます。



板の間廊下のすべらぬ白木ツヤ出し

ケントク

白木液体ケントク一升罐四九〇円で約十五坪、丸罐半ポンド二九〇円で約五坪みがけます



大阪市東淀川区新高南通 1—14　KKケントク　電話㊴1658・1416
0864～6

スチールサッシ・ドアー

アルミサッシ・ドアー

スチールシヤッター・オペレーター



（弊社堺工場事務所）

大阪建材工業株式會社

営業所	大阪市南区九郎右衛門町二十一番地	電話 ㊻836～839番
工事部	全所	電話 ㊻7127・7047番
本社工場	堺市松屋町一丁目六番地	電話堺②3323～3327番
経理部分室	大阪市南区久左衛門町7番地	電話 ㊻830番
泉尾工場	大阪市大正区泉尾浜通四丁目六番地	電話 ㊺223番
出張所	名古屋・金沢	

特許神田式

あらゆるシヤッターの
専門メーカー

日本シヤッター

株式会社　日本シヤッター製作所

本社・大阪工場	大阪市東淀川区田川通6丁目38	(電) 代37-8565
名古屋支店	名古屋市中区宮出町23	(電) 24-4811
東京工場	川崎市新丸子東3丁目1159	(電) 047-5350
九州工場	福岡市榎田町1268	(電) 2-6708
営業所	高知・岡山・高松・姫路	
代行店	全国主要都市ニアリ	

日本建築協会優良證明

セメント増強防水剤

ウォータイトB号

CEMENT WATER-PROOF WOTAITO

株式会社　日本セメント防水剤製造所

本　社　兵庫県宝塚市高台上の池北28—1　電話宝塚2153
大阪連絡所　大阪市東区船越町2—31(船越ビル)
電話㊤2626・7056(ビル代表)
工　場　尼崎市難波本町1—34　電話大阪㊨8544(代表)
出張所電話　東京(43)0874　仙台(3)0721　名古屋(32)1331
代行店電話　高山工業　東京(25)0161～3・安藤工事　福岡(3)5765・大三工業　高松6710

型仕様書贈呈

紫綬褒章に輝く

JIS合格モルタルコンクリート用

特許特マノール防水剤

特許マノール急結剤　特許マノール接着剤

八幡メタルホームKK推奨品

責任・施工・請負

株式会社　油脂化工社

取締役社長　矢中龍次郎

本　社　東京都品川区二葉町1—441　電話荏原㊦1715
大阪営業所　大阪市東成区西今里町2—48　電話㊥4765・0063

昭和二十四年三月十九日 第三種郵便物認可
昭和三十四年五月二十日印刷
昭和三十四年五月廿五日発行（毎月廿五日発行）

高圧 朝日スレート
米国式 朝日コンクリートブロック

A.S.K.
朝日石綿工業株式会社
大阪営業所　大阪市北区神山町四六　電話 大阪㉞ 7236代表~9 2095夜間専用
本　　社　東京銀座七.営業所-東京.横浜.名古屋.岡山.九州.北海道
工　　場　東京.横浜.山梨.名古屋.大阪.岡山.門司.宮城

三星の床材
プラスタイル"P"
（Pタイル）

株式会社　木下謹三商店　大阪市西区江戸堀南通5ノ35　電話土佐堀㊹5408
株式会社　久保商店　大阪市北区真砂町5　電話北㉞207~8
三友工業株式会社大阪営業所　大阪市西区南堀江上通1ノ35　電話㊾1278
合名会社　利倉幸商店　大阪市南区長堀橋筋2ノ20（道頓堀電停前）電話南㉕471　京都営業所　京都市中京区河原町夷川下ル　電話③3299
和泉産業株式会社　大阪市南区日本橋筋2ノ36　電話戎㊹3286
石井建材有限会社　神戸市兵庫区荒田町1　電話湊川⑤2697
合資会社　岡田建材店　名古屋市西区西菊井町2ノ12　電話㊺0121・2057
株式会社　名建商会　名古屋市中区宮出町41ノ2　電話中㉔1329・2106・2817
日東物産株式会社　本社　名古屋市中区東瓦町39　電話㉔6176~9　岐阜出張所　岐阜市竹屋町27　電話③2201・2360
青盛建材株式会社　本社・広島市鉄砲町108　電話中②2281~4　岡山・岡山市東田町3　電話②7911・8169　福岡・福岡市万行寺前町14　電話東③1225~6
関西三星タイル会員

売価　一部　金百八十円（送料共）

御入会の御申込は……

「建築と社会」発行所　社団法人 日本建築協会 大阪市東区北浜3—37　電話北浜㉓ 9648・9649・9640
振替口座 大阪 39975番